

第4章 公共施設類型分類別の分析

本章では、中分類又は小分類別に、主として利用者数やコスト、延床面積といった情報を基に分析を行っていきます。

このような分析を行うことで、公共施設の現状と今後の課題を明らかにしていきます。

各図表の見方を簡単に解説します。

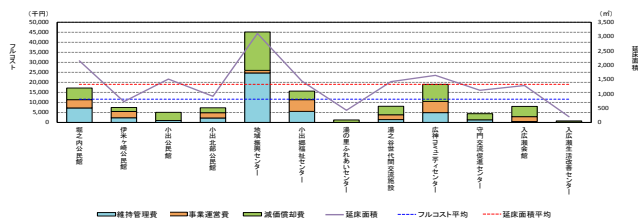
【図・表例とデータの見方】

1. 施設基本情報一覧									
小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	耐用年数 到来年度	未耐震 施設	主要 建物構造
体育館等	堀之内	1	堀之内体育館	指定管理者	4,927	平成8年度	平成35年度		鉄筋コンクリート造
	小出	2	小出第2体育館	直営	1,066	昭和58年度	平成29年度		鉄骨造
	小出	3	小出第3体育館	直営	792	昭和60年度	平成31年度		鉄骨造
	小出	4	小出南郡いきいきスポーツセンター	直営	997	平成5年度	平成39年度		鉄骨造
	湯之谷	5	小出総合体育館	直営	3,626	昭和48年度	平成19年度		鉄骨コンクリート造
	湯之谷	6	トレーニングセンター「ヤツコム」	指定管理者	678	平成05年度	平成32年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	7	大沢ふれあい体育館	直営	1,015	昭和55年度	平成39年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	8	東湯之谷体育館	直営	656	昭和35年度	平成6年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	9	湯之谷トレーニングセンター	指定管理者	958	昭和57年度	平成44年度		鉄骨造
	広神	10	広神体育センター	直営	999	昭和62年度	平成46年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	守門	11	須原第1体育館	直営	1,135	昭和53年度	平成37年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	12	須原第2体育館	直営	936	昭和44年度	平成28年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造
	守門	13	上条体育館	直営	942	昭和55年度	平成39年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造
	守門	14	福山体育館	直営	1,965	昭和60年度	平成44年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	15	入広瀬スポーツセンター	直営	2,654	昭和57年度	平成41年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
		16	大白川体育館	直営	727	昭和51年度	平成35年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造
プール	小出	1	小出北部プール	直営	905	平成3年度	平成53年度		鉄筋コンクリート造
	広神	2	下条プール	直営	57	昭和53年度	平成28年度	※	鉄骨造
	広神	3	広神プール	直営	77	昭和48年度	平成26年度	※	コンクリートブロック造
野球場・運動広場	小出	1	青島野球場	直営	74	昭和61年度	平成36年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	2	須原運動広場	指定管理者	268	平成16年度	平成66年度		鉄筋コンクリート造
	広神	3	広神野球場	指定管理者	481	平成5年度	平成55年度		鉄筋コンクリート造
	守門	4	守門サンスポーツランド	直営	255	平成14年度	平成64年度		鉄筋コンクリート造

- ◆ 公共施設類型分類別の施設の一覧です。所在する地域と施設名称、運営主体、延床面積、建築年度と耐用年数到来年度、耐震化と建物構造の状況を整理しています。
- ◆ 運営主体・・・主として施設の管理・運営をしている団体。本表では魚沼市が運営している場合「直営」、指定管理者制度を導入している場合「指定管理者」と表記しています。
- ◆ 指定管理者制度・・・公の施設の管理を民間事業者を含む自治体外の団体（指定管理者）に委託することができる制度
- ◆ 主要建物建築年度・・・施設内の主たる建物が建築された年度を表記しています。
- ◆ 耐用年数到来年度・・・資産が建築年度から耐用年数（利用に耐えると見積もられる年数）を経過した年度のことを表しています。
- ◆ 未耐震施設・・・施設内の主たる建物が耐震化されていない場合「※」を表記しています。
- ◆ 主要建物構造・・・施設内の主たる建物の建築構造を表記しています。

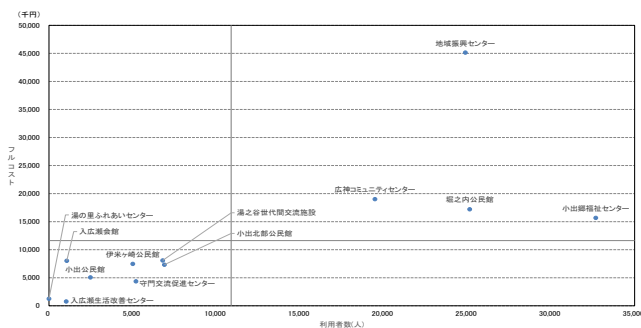
2. 市内施設配置図	
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設類型分類別に該当施設の市内配置状況を地図情報で明らかにしています。 ◆ 地図情報をもとに、公共施設の配置が適切であるかどうかの検討の参考とします。

5. 施設規模



- ◆ 棒グラフでフルコストとその内訳、折れ線で延床面積を示しています。破線にてそれぞれの平均を示しています。
- ◆ グラフ形式で比較分析を行うことで、類型内における各施設の規模や財政的な影響を把握します。

6. 利用度とコスト状況



- ◆ 散布図で利用者数とフルコストを示しています。グラフ内の縦横に引かれたラインはそれぞれの平均を示しています。
- ◆ 2軸で表示することにより、利用度に比して多くのコストがかかっている公共施設の有無などを把握します。

1 集会施設の状況

表 4-1-1 集会施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
地区集会施設	堀之内	1	新道島集落センター「はぐろ」	直営	149	平成17年度	平成41年度		木造
	堀之内	2	下島区集落センター	直営	311	昭和60年度	平成47年度		鉄筋コンクリート造
	堀之内	3	原ふるさと会館	直営	393	昭和54年度	平成41年度	※	鉄筋コンクリート造
	堀之内	4	上稲倉ふれあいセンター	直営	119	平成6年度	平成30年度		木造
	小出	5	県営羽根川住宅集会所	直営	89	昭和56年度	平成40年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	6	原集落開発センター	直営	182	昭和59年度	平成20年度		木造
	湯之谷	7	七日市・七日市新田集落センター	直営	397	昭和52年度	平成39年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	8	吉田集落開発センター	直営	369	平成11年度	平成61年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	9	宇津野地域農業者等健康管理施設	直営	197	平成16年度	平成38年度		木造
	湯之谷	10	下折立農林漁家高齢者センター	直営	384	平成3年度	平成53年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	11	上折立高齢者・婦人活動施設	直営	104	平成11年度	平成61年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	12	大湯温泉集落開発センター	直営	367	昭和62年度	平成49年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	広神	13	金ヶ沢新規作物導入支援センター	直営	217	平成8年度	平成32年度		木造
	広神	14	横瀬多目的集会センター	直営	199	昭和62年度	平成23年度		木造
	広神	15	雁坂下コミュニティセンター	直営	268	平成2年度	平成40年度		鉄骨造
	広神	16	小平尾研修集会センター	直営	680	昭和57年度	平成44年度		鉄筋コンクリート造
	広神	17	滝之又バイタリティセンター	直営	913	平成3年度	平成53年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	広神	18	田尻ふれあいセンター	直営	209	平成9年度	平成33年度		木造
	広神	19	泉沢ふれあいセンター	直営	159	平成5年度	平成29年度		木造
	広神	20	並柳担い手センター	直営	477	昭和53年度	平成40年度	※	鉄筋コンクリート造
	広神	21	小庭名ふれあいセンター	直営	313	平成8年度	平成32年度		木造
	広神	22	吉原ふれあいセンター	直営	212	平成5年度	平成29年度		木造
	広神	23	水沢農事集会センター	直営	159	平成4年度	平成28年度		木造
	広神	24	中島多目的集会センター	直営	378	昭和62年度	平成37年度		鉄骨造
	広神	25	中島新田新規作物導入支援センター	直営	162	平成7年度	平成31年度		木造
	広神	26	今泉構造改善センター	直営	300	昭和60年度	平成35年度		鉄骨造
	広神	27	山田下多目的集会センター	直営	185	平成6年度	平成30年度		木造
	広神	28	山田構造改善センター	直営	194	平成4年度	平成28年度		木造
	広神	29	米沢ふれあいセンター	直営	121	平成13年度	平成37年度		木造
	広神	30	一日市高齢者・婦人生産活動センター	直営	203	平成4年度	平成28年度		木造
	広神	31	三ツ又多目的集会センター	直営	129	平成10年度	平成34年度		木造
	広神	32	広神住宅集会所	直営	64	平成11年度	平成33年度		木造
	守門	33	三瀬沢生活改善センター	直営	169	昭和53年度	平成14年度	※	木造
	守門	34	小須原コミュニティセンター	直営	275	平成8年度	平成32年度		木造
	守門	35	西村コミュニティセンター	直営	406	平成15年度	平成53年度		鉄骨造
	守門	36	守門高齢者コミュニティセンター	直営	301	昭和55年度	平成42年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	37	向松川集落開発センター	直営	194	昭和54年度	平成15年度	※	木造
	守門	38	守門克雪管理センター	直営	434	昭和48年度	平成35年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	39	守門自然休養村センター	直営	848	昭和52年度	平成39年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	40	西名農事集会所	直営	265	昭和61年度	平成22年度		木造
	守門	41	守門農村環境改善センター	直営	498	昭和58年度	平成45年度		鉄筋コンクリート造
	守門	42	二分経営管理所	直営	358	昭和53年度	平成40年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	43	守門細野地区高齢者能力活用センター	直営	445	平成11年度	平成35年度		木造
	入広瀬	44	穴沢原集落開発センター	直営	107	昭和55年度	平成16年度	※	木造
	入広瀬	45	柿ノ木集落集会所	直営	232	平成8年度	平成32年度		木造
	入広瀬	46	大柄山農林会館	直営	444	平成2年度	平成52年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	47	平野又集落センター「睦館」	直営	196	昭和56年度	平成43年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	48	農業者健康管理施設「みずほ会館」	直営	563	昭和54年度	平成41年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	49	芋輪地域バイタリティセンター「あけぼの館」	直営	360	昭和60年度	平成47年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	入広瀬	50	中手原集落開発センター「平成館」	直営	91	平成1年度	平成39年度		鉄骨コンクリート造
	入広瀬	51	克雪管理センター「雪国会館」	直営	612	昭和48年度	平成35年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	52	高齢者等活動促進施設(穴沢ふれあい館)	直営	667	平成14年度	平成52年度		鉄骨造
	入広瀬	53	三世交代交流ホーム	直営	177	平成4年度	平成42年度		鉄骨造

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
公民館等	堀之内	1	堀之内公民館	直営	2,151	昭和57年度	平成44年度		鉄筋コンクリート造
	小出	2	伊米ヶ崎公民館	直営	729	昭和54年度	平成41年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造
	小出	3	小出公民館	直営	1,516	昭和40年度	平成27年度	※	鉄筋コンクリート造
	小出	4	小出北部公民館	直営	914	昭和60年度	平成47年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	5	地域振興センター	直営	3,110	平成6年度	平成53年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	6	小出郷福祉センター	直営	1,445	昭和47年度	平成31年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	7	湯の里ふれあいセンター	直営	426	平成1年度	平成48年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	8	湯之谷世代間交流施設	直営	1,427	平成7年度	平成54年度		鉄筋コンクリート造
	広神	9	広神コミュニティセンター	直営	1,645	平成2年度	平成49年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	守門	10	守門交流促進センター	直営	1,125	平成7年度	平成57年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	入広瀬	11	入広瀬会館	直営	1,291	昭和44年度	平成28年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	12	入広瀬生活改善センター	直営	200	昭和51年度	平成35年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造

地区集会施設は、市内に 53 施設あり、延床面積は合計 16,245 ㎡です。

公民館等は、市内に 12 施設あり、延床面積は合計 15,979 ㎡です。

表 4-1-2 集会施設の利用度とコストの一覧

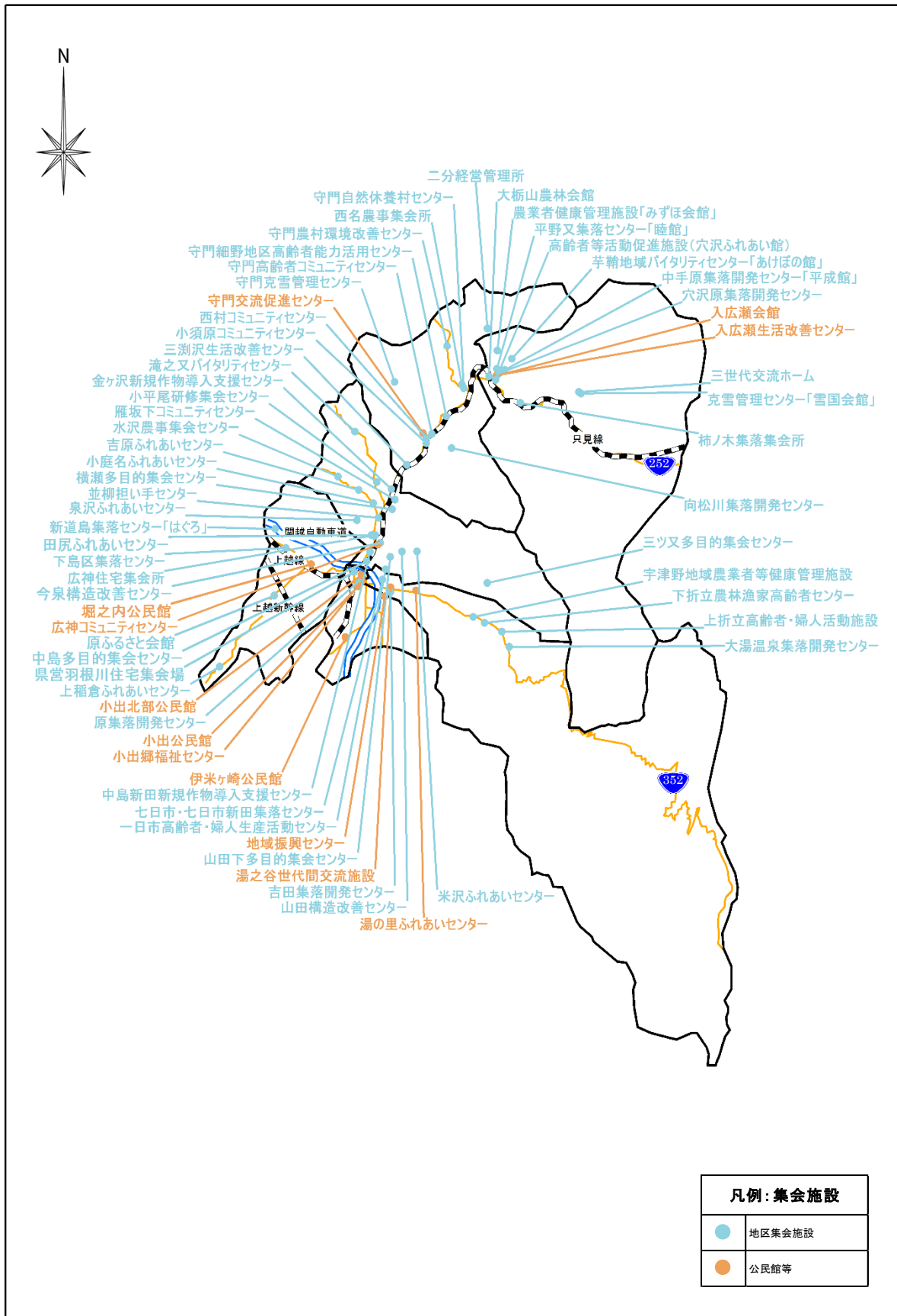
施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
地区集会施設											
新道島集落センター「はぐろ」	0	0	0	—	—	561	561	—	0	561	—
下島集落センター	0	0	0	—	—	839	839	—	0	839	—
原ふるさと会館	0	0	0	—	—	1,061	1,061	—	0	1,061	—
上稲倉ふれあいセンター	0	0	0	—	—	450	450	—	0	450	—
泉宮羽根川住宅集会所	0	234	234	—	—	529	763	—	0	763	—
原集落開発センター	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
七日市・七日市新田集落センター	0	0	0	—	—	1,072	1,072	—	0	1,072	—
吉田集落開発センター	0	0	0	—	—	996	996	—	0	996	—
宇津野地域農業者等健康管理施設	0	0	0	—	—	969	969	—	0	969	—
下折立農林漁家高齢者センター	0	0	0	—	—	1,035	1,035	—	0	1,035	—
上折立高齢者・婦人活動施設	0	0	0	—	—	279	279	—	0	279	—
大湯温泉集落開発センター	0	0	0	—	—	990	990	—	0	990	—
金ヶ沢新規作物導入支援センター	535	0	535	—	—	821	1,356	—	0	1,356	—
横瀬多目的集会所	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
雁坂下コミュニティセンター	0	0	0	—	—	579	579	—	0	579	—
小平尾研修集会所	65	0	65	—	—	1,835	1,900	—	0	1,900	—
滝之又バイタルセンター	0	0	0	—	—	2,464	2,464	—	0	2,464	—
田尻ふれあいセンター	45	0	45	—	—	788	833	—	0	833	—
泉沢ふれあいセンター	0	0	0	—	—	599	599	—	0	599	—
並柳担い手センター	55	0	55	—	—	1,287	1,342	—	0	1,342	—
小庭ふれあいセンター	45	0	45	—	—	1,183	1,228	—	0	1,228	—
吉原ふれあいセンター	0	0	0	—	—	801	801	—	0	801	—
水沢農事集会所	0	0	0	—	—	600	600	—	0	600	—
中島多目的集会所	0	0	0	—	—	816	816	—	0	816	—
中島新田新規作物導入支援センター	0	0	0	—	—	610	610	—	0	610	—
今泉構造改善センター	0	0	0	—	—	647	647	—	0	647	—
山田下多目的集会所	0	0	0	—	—	701	701	—	0	701	—
山田構造改善センター	270	0	270	—	—	732	1,002	—	0	1,002	—
米沢ふれあいセンター	0	0	0	—	—	457	457	—	0	457	—
一日市高齢者・婦人生産活動センター	0	0	0	—	—	766	766	—	0	766	—
三ツ又多目的集会所	0	0	0	—	—	485	485	—	0	485	—
広神住宅集会所	18	234	252	—	—	769	1,022	—	0	1,022	—
三洲沢生活改善センター	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
小須原コミュニティセンター	26	0	26	—	—	1,040	1,067	—	0	1,067	—
西村コミュニティセンター	0	0	0	—	—	876	876	—	0	876	—
守門高齢者コミュニティセンター	0	0	0	—	—	812	812	—	0	812	—
向松川集落開発センター	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
守門克雪管理センター	117	0	117	—	—	1,172	1,289	—	0	1,289	—
守門自然休養村センター	230	0	230	—	—	2,289	2,520	—	0	2,520	—
西名農事集会所	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
守門農村環境改善センター	317	0	317	—	—	1,345	1,662	—	0	1,662	—
二分経管理所	123	0	123	—	—	967	1,090	—	0	1,090	—
守門細野地区高齢者能力活用センター	0	0	0	—	—	1,682	1,682	—	0	1,682	—
穴沢原集落開発センター	18	0	18	—	—	0	18	—	0	18	—

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
柿ノ木集落集会所	43	0	43	—	—	876	919	—	0	919	—
大槌山農林会館	290	0	290	—	—	1,198	1,489	—	0	1,489	—
平野又集落センター「睦館」	156	0	156	—	—	528	685	—	0	685	—
農業者健康管理施設「みずほ会館」	68	0	68	—	—	1,520	1,588	—	0	1,588	—
宇都地域バイタリティセンター「あけぼの館」	302	0	302	—	—	972	1,274	—	0	1,274	—
中手原集落開発センター「平成館」	0	0	0	—	—	195	196	—	0	196	—
克管管理センター「雪国会館」	204	0	204	—	—	991	1,195	—	0	1,195	—
高齢者等活動促進施設(穴沢ふれあい館)	492	0	492	—	—	1,440	1,932	—	0	1,932	—
三世交代交流ホーム	39	0	39	—	—	792	832	—	0	832	—
計	3,466	468	3,934	—	—	44,439	48,374	—	0	48,374	—
公民館等											
堀之内公民館	7,242	4,156	11,398	25,146	453	5,808	17,207	684	775	16,432	—
伊米ヶ崎公民館	2,354	3,158	5,513	5,012	1,100	1,967	7,480	1,492	1,167	6,312	—
小出公民館	980	0	980	2,477	395	4,092	5,073	2,048	1,373	3,699	—
小出北部公民館	2,261	2,602	4,864	6,901	704	2,468	7,332	1,062	343	6,989	—
地域振興センター	24,711	1,295	26,006	24,883	1,045	19,135	45,141	1,814	3,096	42,044	—
小出郷福祉センター	5,536	5,844	11,381	32,681	348	4,291	15,672	479	2,436	13,236	—
湯の里ふれあいセンター	4	0	4	—	—	1,258	1,263	—	0	1,263	—
湯之谷世代間交流施設	1,430	2,425	3,856	6,799	567	4,237	8,094	1,190	79	8,014	—
広神コミュニティセンター	4,902	5,611	10,514	19,480	539	8,506	19,020	976	321	18,699	—
守門交流促進センター	1,324	0	1,324	5,198	254	3,036	4,361	838	0	4,361	—
入広瀬会館	490	2,420	2,910	1,065	2,733	5,113	8,024	7,535	35	7,989	—
入広瀬生活改善センター	177	0	177	1,029	172	594	771	749	0	771	—
計	51,417	27,516	78,933	130,671	—	60,510	139,443	—	9,630	129,813	—

地区集会所の施設にかかるフルコストは 48,374 千円です。

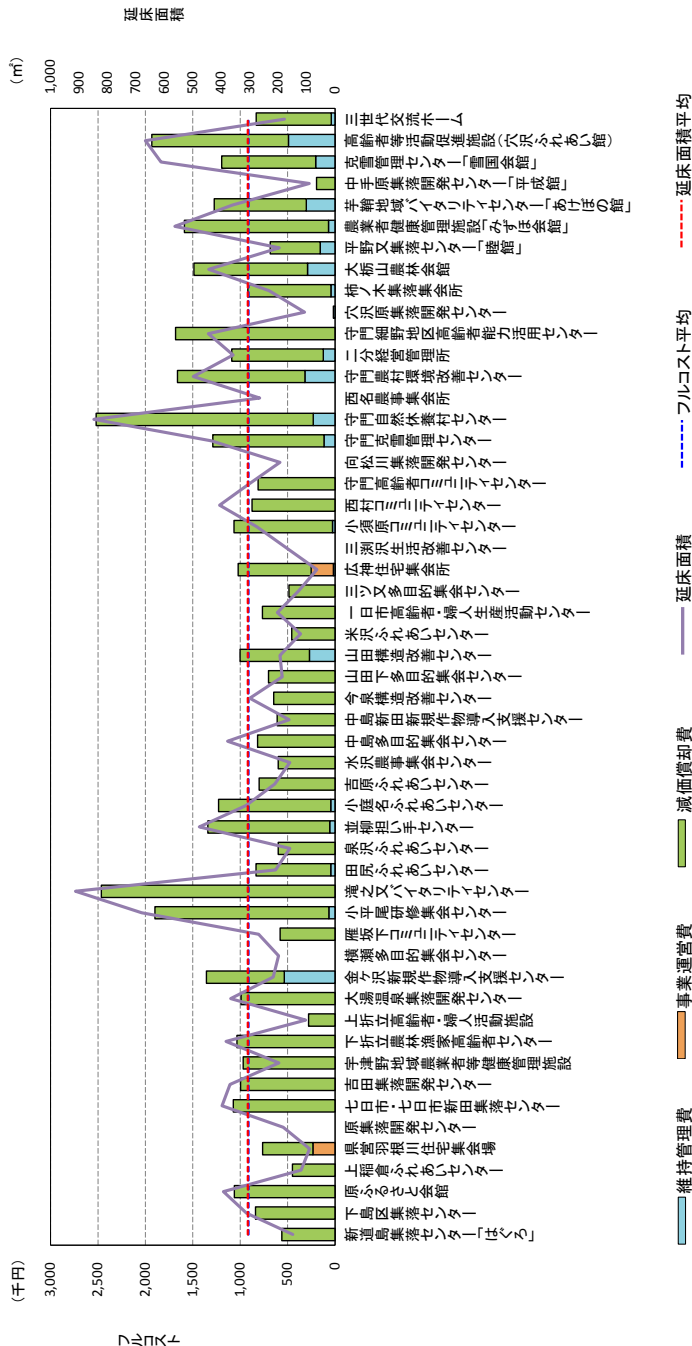
公民館等の延利用者数の合計は 130,671 人です。これらの施設にかかるフルコストは 139,443 千円です。

図 4-1-1 集会施設の配置状況



① 【集会施設】 地区集会施設の状況

図 4-1-2 地区集会施設のフルコストと延床面積

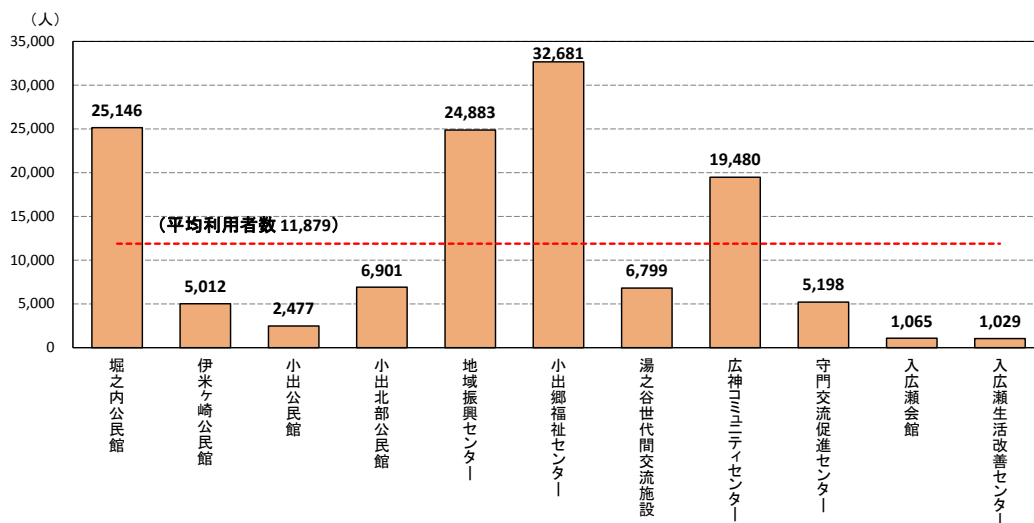


地区集会施設のうち、延床面積が最も広い施設は、滝之又バイタリティセンターの913㎡であり、2番目は守門自然休養村センターの848㎡です。また、地区集会施設のうち、フルコストが最も高い施設は、守門自然休養村センターの2,520千円であり、2番目は滝之又バイタリティセンターの2,464千円です。

地区集会施設は、木造が25施設、鉄骨造が6施設、鉄筋コンクリート造りが14施設、鉄骨コンクリート造りが1施設、鉄骨鉄筋コンクリート造り7施設の計53施設を保有しています。主に特定の市民の方にご利用いただいている施設となっていることから、地区集会施設については地域への譲渡を進めてきていますが、木造の施設に比べ鉄骨造や鉄筋コンクリート造の施設については、地域での管理が困難なことから地域への譲渡が進んでいません。また、53施設中19施設が建設後30年以上経過しており、老朽化による今後の建て替え更新のための負担が課題となります。

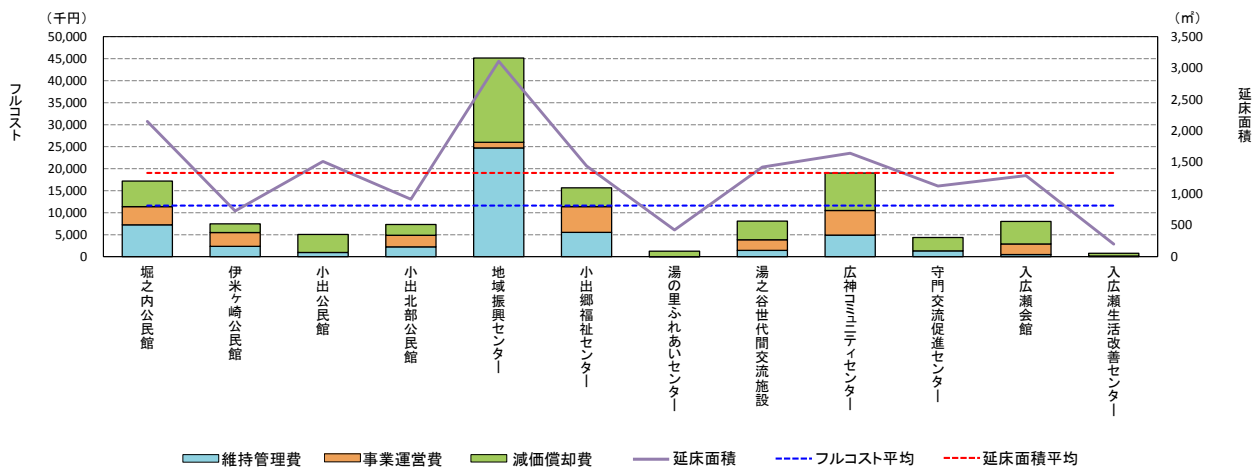
② 〔集会施設〕 公民館等の状況

図 4-1-3 公民館等の利用者数(平成 25 年度)



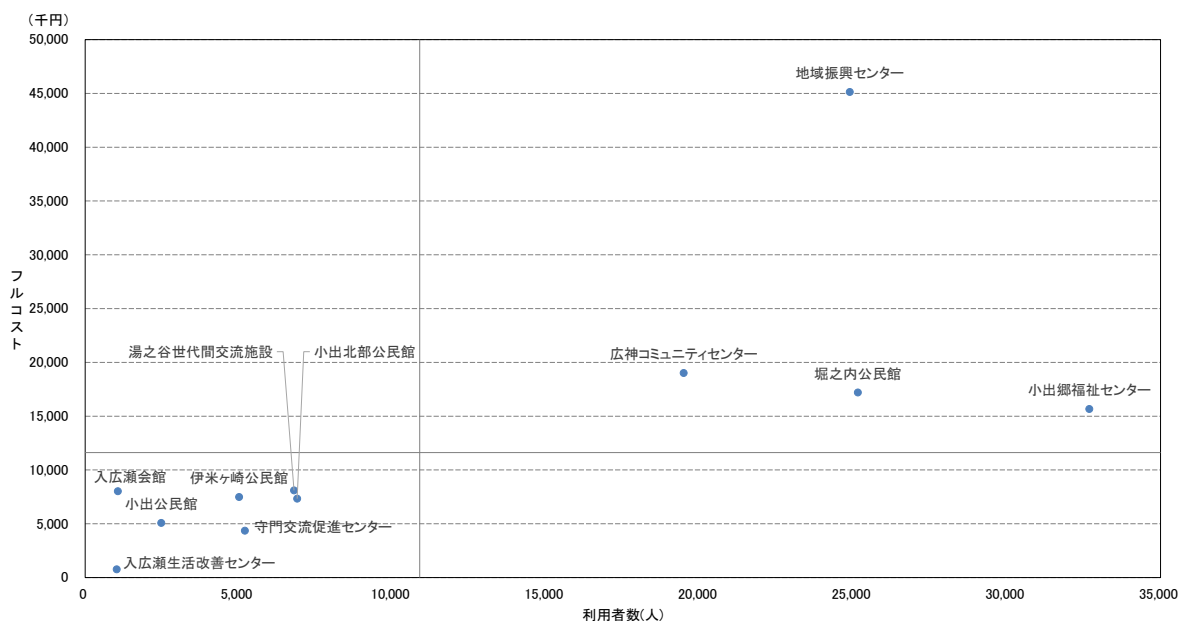
公民館等のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、小出郷福祉センターの 32,681 人であり、2 番目は堀之内公民館の 25,146 人です。最も利用者数が少ない施設は、入広瀬生活改善センターの 1,029 人であり、2 番目は入広瀬会館の 1,065 人です。

図 4-1-4 公民館等のフルコストと延床面積



公民館等のうち、延床面積が最も広い施設は、地域振興センターの 3,110 m²であり、2 番目は堀之内公民館の 2,151 m²です。また、公民館等のうち、フルコストが最も高い施設は、地域振興センターの 45,141 千円であり、2 番目は広神コミュニティセンターの 19,020 千円です。

図 4-1-5 公民館等の利用者数とフルコスト



公民館等は、各地区に複数の施設を有しており、計 12 施設を市で有しています。公民館等は市民活動の拠点として位置づけられる小規模な施設と、比較的大規模で全市的な施設として位置づけられる施設に大別されます。

前者の施設は、今後も市民活動の拠点として維持していく必要があります。一方、後者については、コストが高額となる傾向があり、また、機能が他の公共施設と類似・重複している可能性もあります。これら全市的施設については、機能を精査していくことで、他の公共施設との集約化・複合化などの検討も考えられます。

2 文化施設の状況

表 4-2-1 文化施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	耐用年数 到来年度	未耐震 施設	主要 建物構造
文化会館	小出	1	小出郷文化会館	直営	6,366	平成8年度	平成55年度		鉄筋コンクリート造
文化財	守門	1	旧佐藤家住宅	直営	160	元文3年 (1738年)	—	※	木造
	守門	2	旧目黒家住宅	直営	1,246	寛政9年 (1797年)	—	※	木造

文化会館は、市内に1施設あり、延床面積は6,366㎡です。

文化財は、市内に2施設あり、延床面積は合計1,406㎡です。

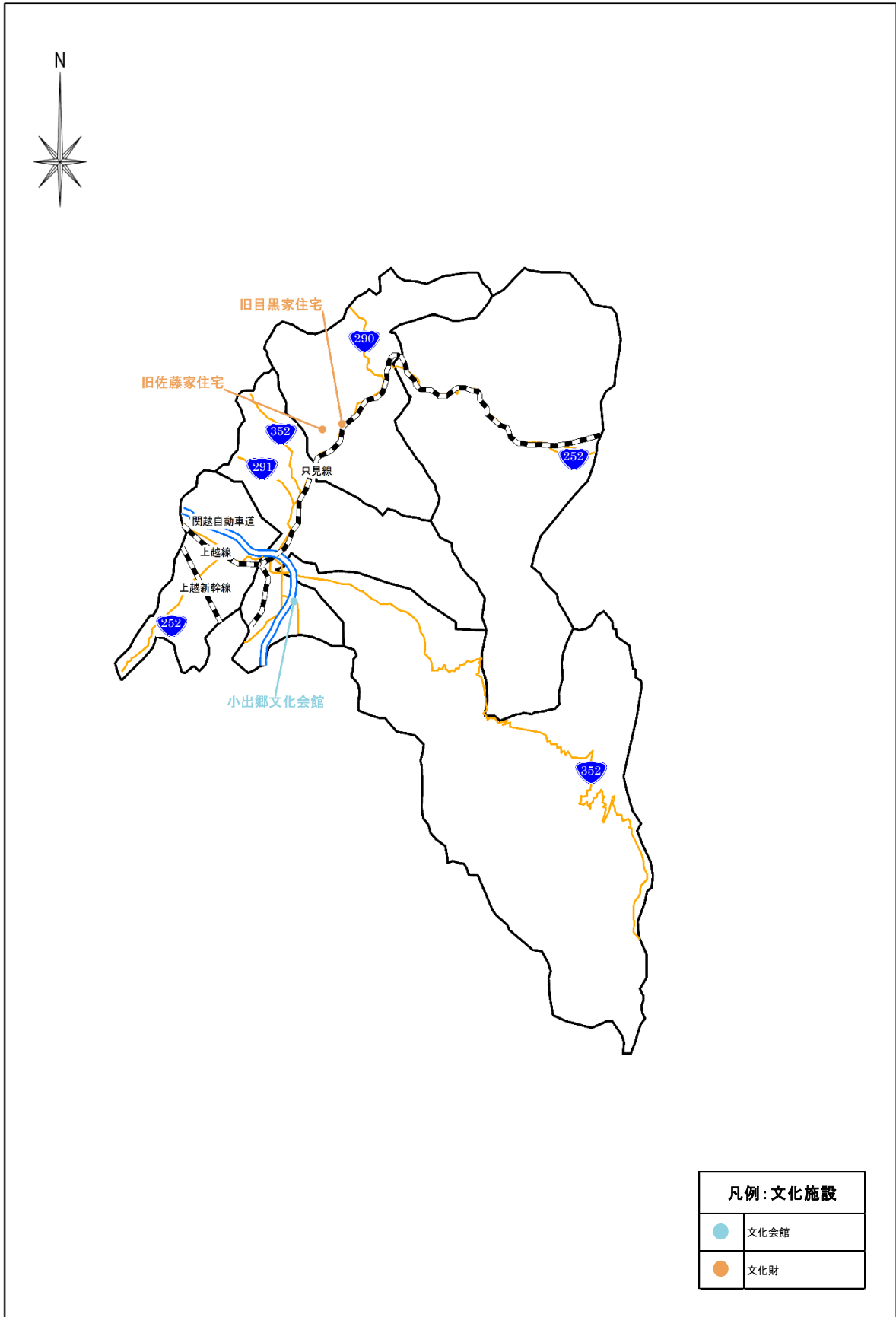
表 4-2-2 文化施設の利用率とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数/ 入場者数 (人)	利用者/ 入場者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者/ 入場者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
文化会館											
小出郷文化会館	36,536	18,746	55,283	90,194	612	25,208	80,491	892	5,856	74,634	—
計	36,536	18,746	55,283	90,194	—	25,208	80,491	—	5,856	74,634	—
文化財											
旧佐藤家住宅	3,084	0	3,084	985	3,131	0	3,084	3,131	98	2,986	—
旧目黒家住宅	5,645	7,317	12,962	13,923	931	0	12,962	931	3,062	9,900	—
計	8,729	7,317	16,047	14,908	—	0	16,047	—	3,161	12,886	—

文化会館の延利用者数は90,194人です。また、フルコストは80,491千円です。

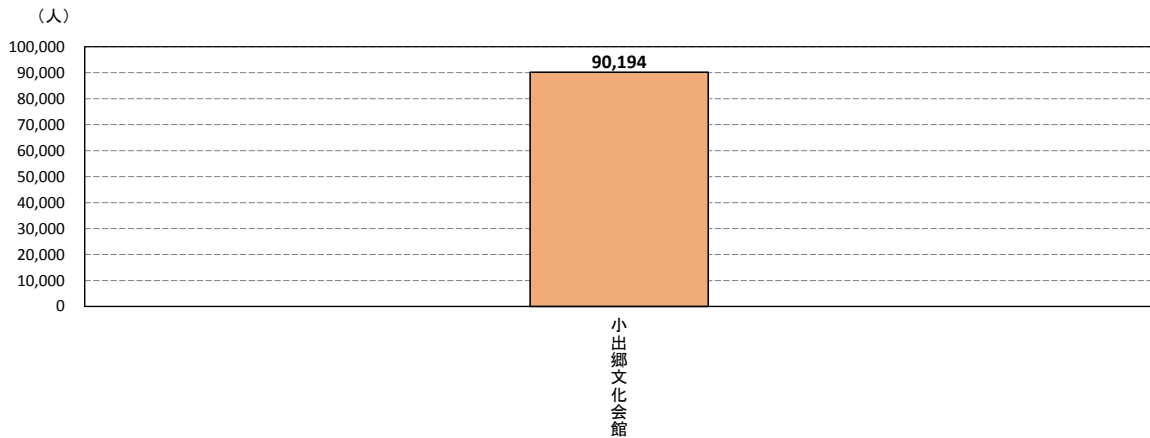
文化財の延入場者数の合計は14,908人です。これらの施設にかかるフルコストは16,047千円です。

図 4-2-1 文化施設の配置状況



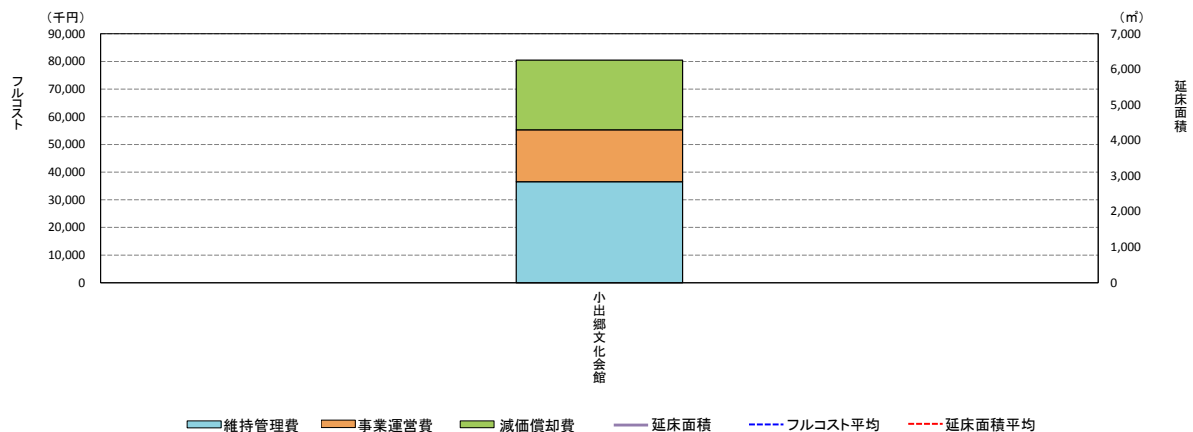
① 【文化施設】文化会館の状況

図 4-2-2 文化会館の利用者数(平成 25 年度)



小出郷文化会館の年間入場者数は、90,194 人です。

図 4-2-3 文化会館のフルコストと延床面積

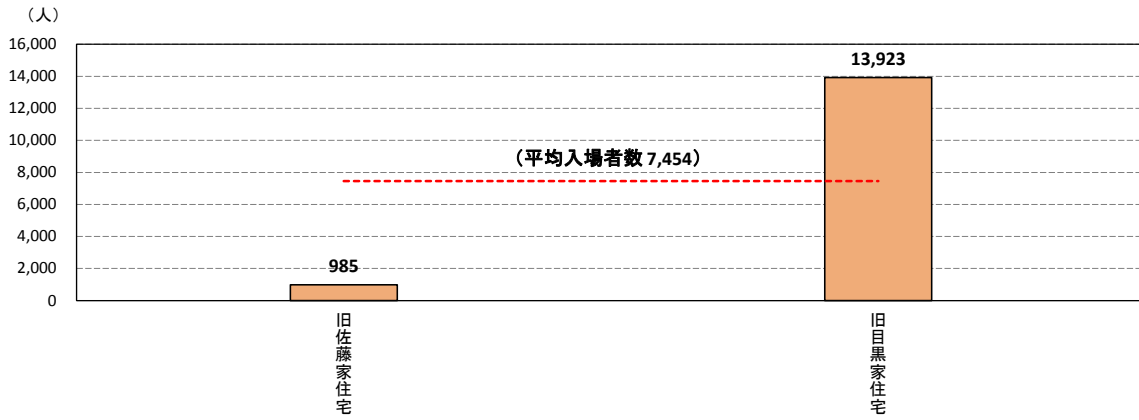


小出郷文化会館の延床面積は、6,366 ㎡です。また、フルコストは 80,491 千円です。

文化会館は小出郷文化会館 1 施設を有しており、市民の文化活動の中核施設として多くの市民に活用されています。一方、維持管理費が高額であるためフルコストが高額となっています。今後のあり方については、最小のコストで必要なサービスを提供できるよう、指定管理者の導入を検討するなど、民間のノウハウの活用を検討することが必要です。

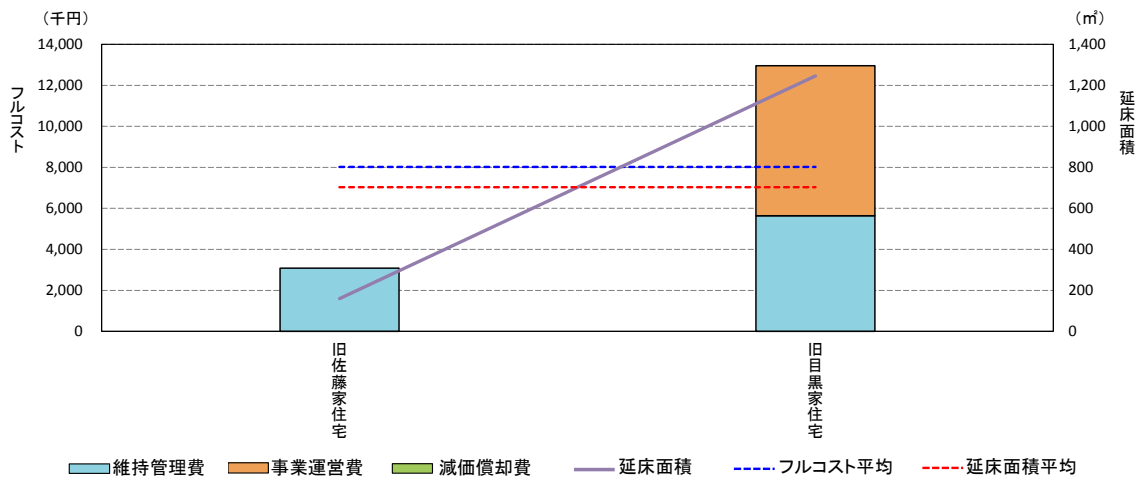
② 【文化施設】文化財の状況

図 4-2-4 文化財の入場者数(平成 25 年度)



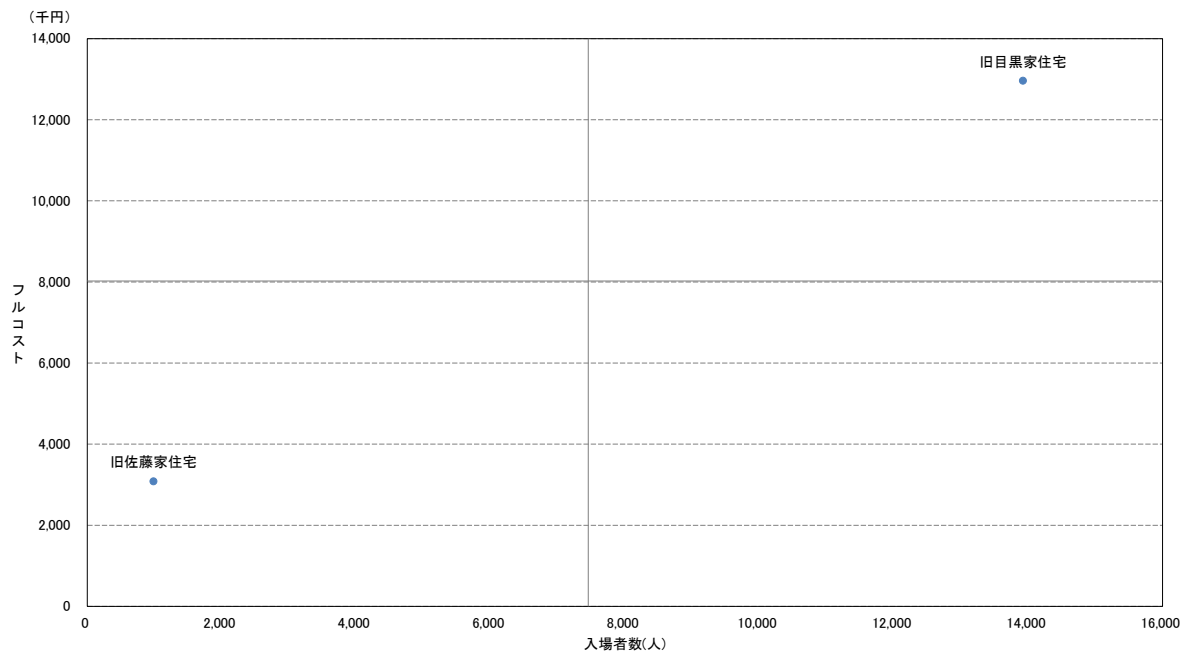
文化財のうち、年間の入場者数が最も多い施設は、旧目黒家住宅の 13,923 人です。

図 4-2-5 文化財のフルコストと延床面積



文化財のうち、延床面積が最も広い施設は、旧目黒家住宅の 1,246 ㎡です。また、文化財のうち、フルコストが最も高い施設は、旧目黒家住宅の 12,962 千円です。

図 4-2-6 文化財の入場者数とフルコスト



文化財施設である旧目黒家住宅、旧佐藤家住宅はともに国の重要文化財であり、市にとっても貴重な文化財施設です。両施設については、今後も適切に管理・保存し、後世に引き継いでいくことが必要です。

3 博物館等の状況

表 4-3-1 博物館等の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
博物館・資料館	堀之内	1	宮柵二記念館	直営	497	平成4年度	平成28年度		木造
	守門	2	守門民俗文化財館	直営	361	昭和49年度	平成36年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	3	目黒邸資料館	直営	667	平成3年度	平成53年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	4	野山の幸資料館	直営	949	平成9年度	平成59年度		鉄筋コンクリート造

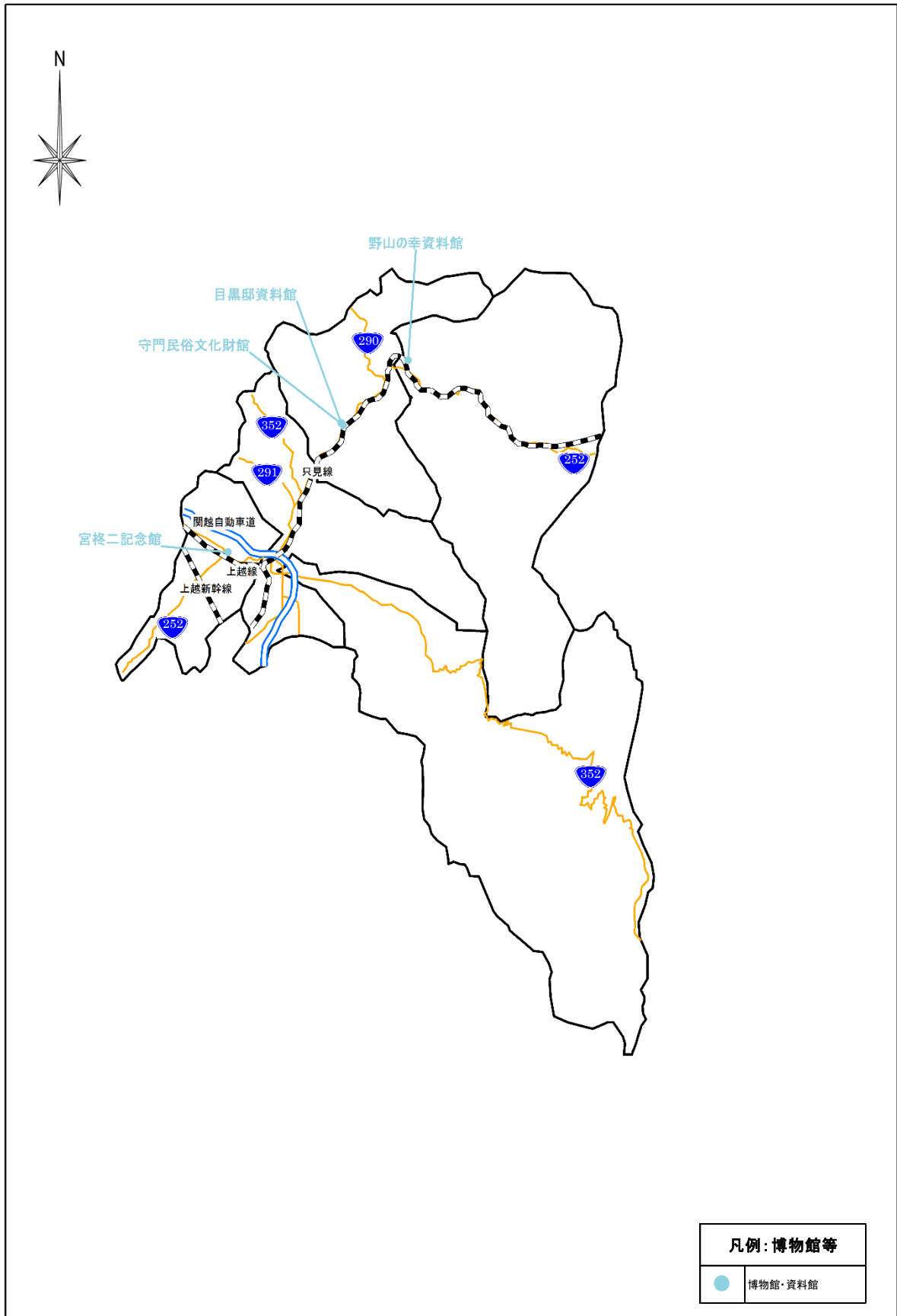
博物館・資料館は、市内に4施設あり、延床面積は合計2,474㎡です。

表 4-3-2 博物館等の利用度とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	入場者数 (人)	入場者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	入場者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
博物館・資料館											
宮柵二記念館	2,456	8,746	11,202	907	12,350	1,982	13,184	14,536	697	12,486	—
守門民俗文化財館	1,842	1,000	2,842	13,923	204	1,298	4,141	297	0	4,141	—
目黒邸資料館	1,842	1,417	3,260	3,067	1,062	2,402	5,662	1,846	523	5,138	—
野山の幸資料館	3,878	3,281	7,159	2,922	2,450	2,467	9,626	3,294	0	9,626	—
計	10,018	14,445	24,463	20,819	—	8,151	32,614	—	1,220	31,394	—

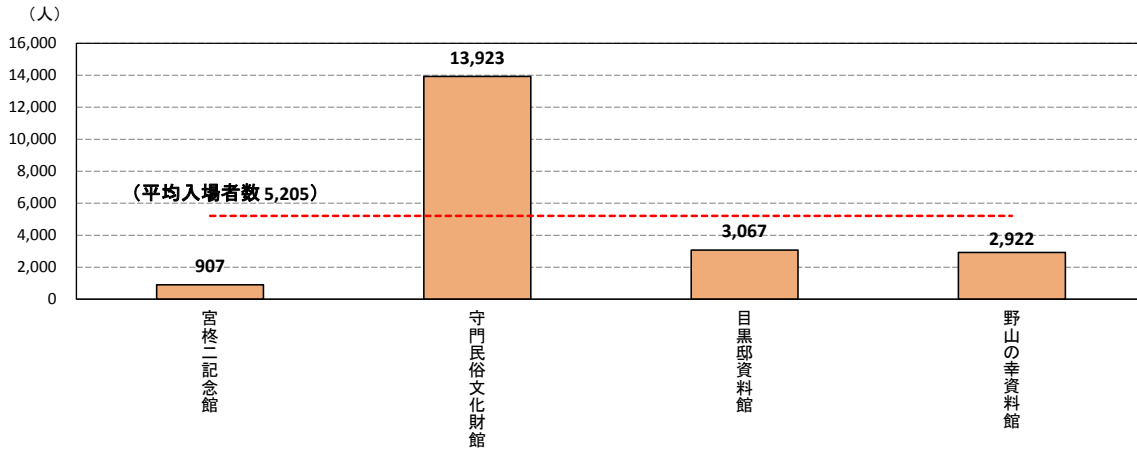
博物館・資料館の延入場者数の合計は20,819人です。これらの施設にかかるフルコストは32,614千円です。

図 4-3-1 博物館等の配置状況



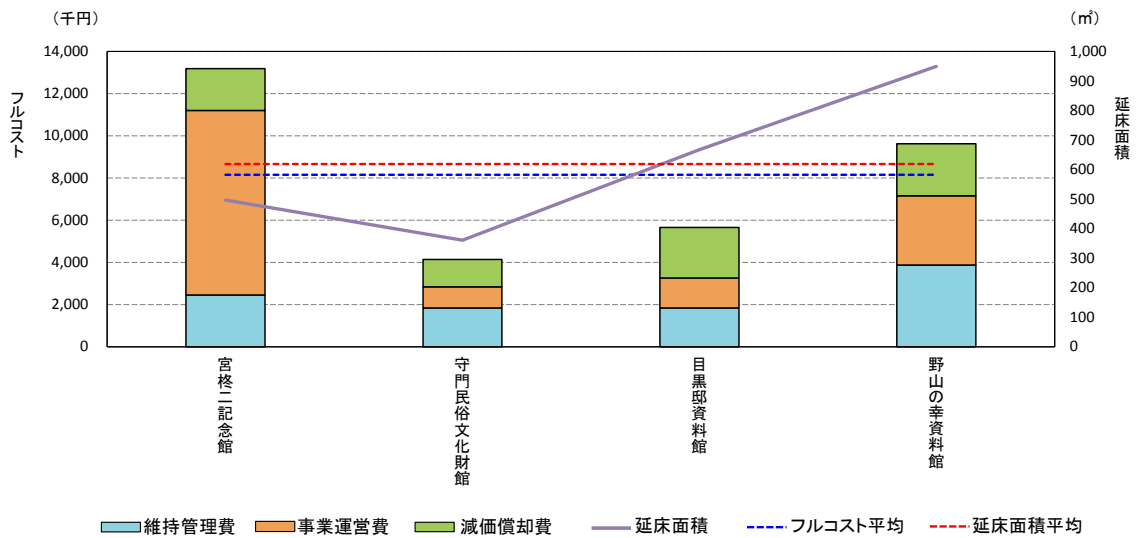
① 【博物館等】博物館・資料館の状況

図 4-3-2 博物館・資料館の入場者数(平成 25 年度)



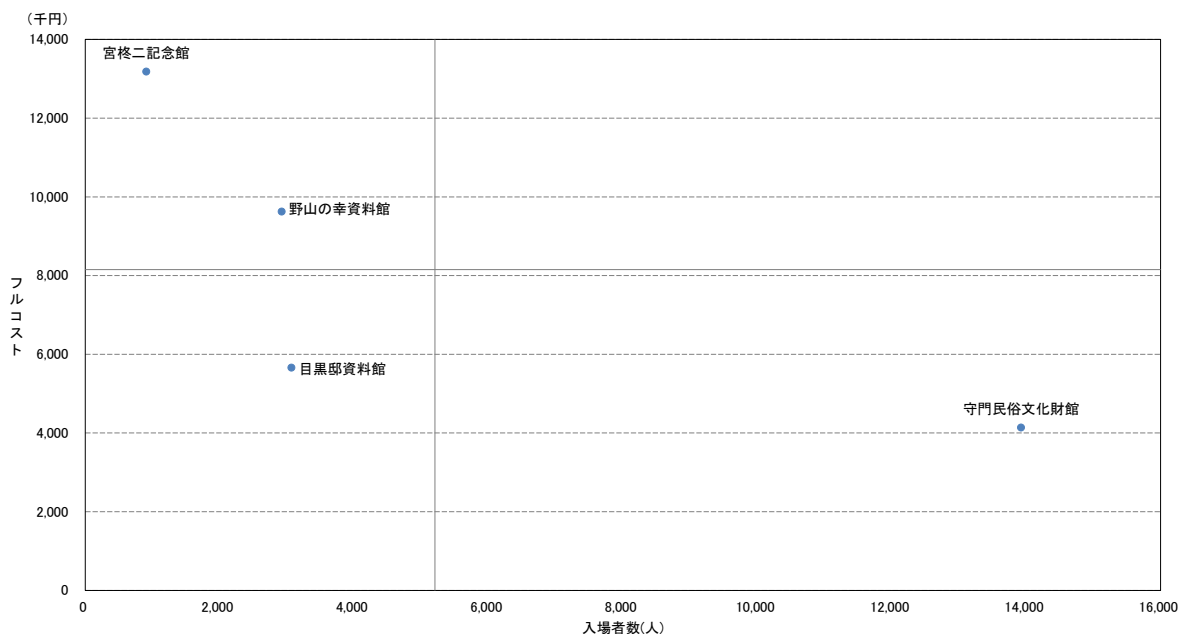
博物館・資料館のうち、年間の入場者数が最も多い施設は、守門民俗文化財館の 13,923 人であり、2 番目は目黒邸資料館の 3,067 人です。最も入場者数が少ない施設は、宮柵二記念館の 907 人であり、2 番目は野山の幸資料館の 2,922 人です。

図 4-3-3 博物館・資料館のフルコストと延床面積



博物館・資料館のうち、延床面積が最も広い施設は、野山の幸資料館の 949 ㎡であり、2 番目は目黒邸資料館の 667 ㎡です。また、博物館・資料館のうち、フルコストが最も高い施設は、宮柵二記念館の 13,184 千円であり、2 番目は野山の幸資料館の 9,626 千円です。

図 4-3-4 博物館・資料館の入場者数とフルコスト



本市の博物館等は、観光施設の性格を有する宮柵二記念館と、郷土資料館的性格を有する3施設を有しています。各施設とも入場者数は少なく、守門民俗文化財館以外は、年間入場者が1,000人から3,000人(1日あたり3人から10人)と低調な一方、多額のコストが発生しています。

貴重な収蔵物を適切に管理し、文化の継承が適切に行われるようにしていくことは博物館の使命です。そのため、設備や人材を集中して管理するなど、貴重な財産を活かしていくことができる方策を検討していくことが重要となっています。

また、収蔵品の展示に当たっては、施設での展示に拘ることなく、役所や駅等の公共施設、学校等に展示することで、市民にとってより身近な環境で郷土文化に触れる機会を設けることも考えられます。

4 スポーツ施設の状況

表 4-4-1 スポーツ施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
体育館等	堀之内	1	堀之内体育館	指定管理者	4,927	平成8年度	平成55年度		鉄筋コンクリート造
	小出	2	小出第2体育館	直営	1,066	昭和58年度	平成29年度		鉄骨造
	小出	3	小出第3体育館	直営	792	昭和60年度	平成31年度		鉄骨造
	小出	4	小出南部いきいきスポーツセンター	直営	997	平成5年度	平成39年度		鉄骨造
	湯之谷	5	小出郷総合体育館	直営	3,626	昭和48年度	平成19年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	6	トレーニングセンター「ヤッコム」	指定管理者	678	平成05年度	平成52年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	7	大沢ふれあい体育館	直営	1,015	昭和55年度	平成39年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	8	東湯之谷体育館	直営	656	昭和35年度	平成6年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	9	湯之谷トレーニングセンター	指定管理者	958	昭和57年度	平成44年度		鉄骨造
	広神	10	広神体育センター	直営	999	昭和62年度	平成46年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	守門	11	須原第1体育館	直営	1,135	昭和53年度	平成37年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	12	須原第2体育館	直営	936	昭和44年度	平成28年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造
	守門	13	上条体育館	直営	942	昭和55年度	平成39年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造
	守門	14	福山体育館	直営	1,965	昭和60年度	平成44年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	15	入広瀬スポーツセンター	直営	2,654	昭和57年度	平成41年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	入広瀬	16	大白川体育館	直営	727	昭和51年度	平成35年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造
プール	小出	1	小出北部プール	直営	905	平成3年度	平成53年度		鉄筋コンクリート造
	広神	2	下条プール	直営	57	昭和53年度	平成28年度	※	鉄骨造
	広神	3	広神プール	直営	77	昭和48年度	平成26年度	※	コンクリートブロック造
野球場・運動広場	小出	1	青島野球場	直営	74	昭和61年度	平成36年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	2	業師運動広場	指定管理者	268	平成16年度	平成66年度		鉄筋コンクリート造
	広神	3	広神野球場	指定管理者	481	平成5年度	平成55年度		鉄筋コンクリート造
	守門	4	守門サンスポーツランド	直営	255	平成14年度	平成64年度		鉄筋コンクリート造

体育館等は、市内に 16 施設あり、延床面積は合計 24,073 ㎡です。

プールは、市内に 3 施設あり、延床面積は合計 1,039 ㎡です。

野球場・運動広場は、市内に 4 施設あり、延床面積は合計 1,078 ㎡です。

表 4-4-2 スポーツ施設の利用度とコストの一覧

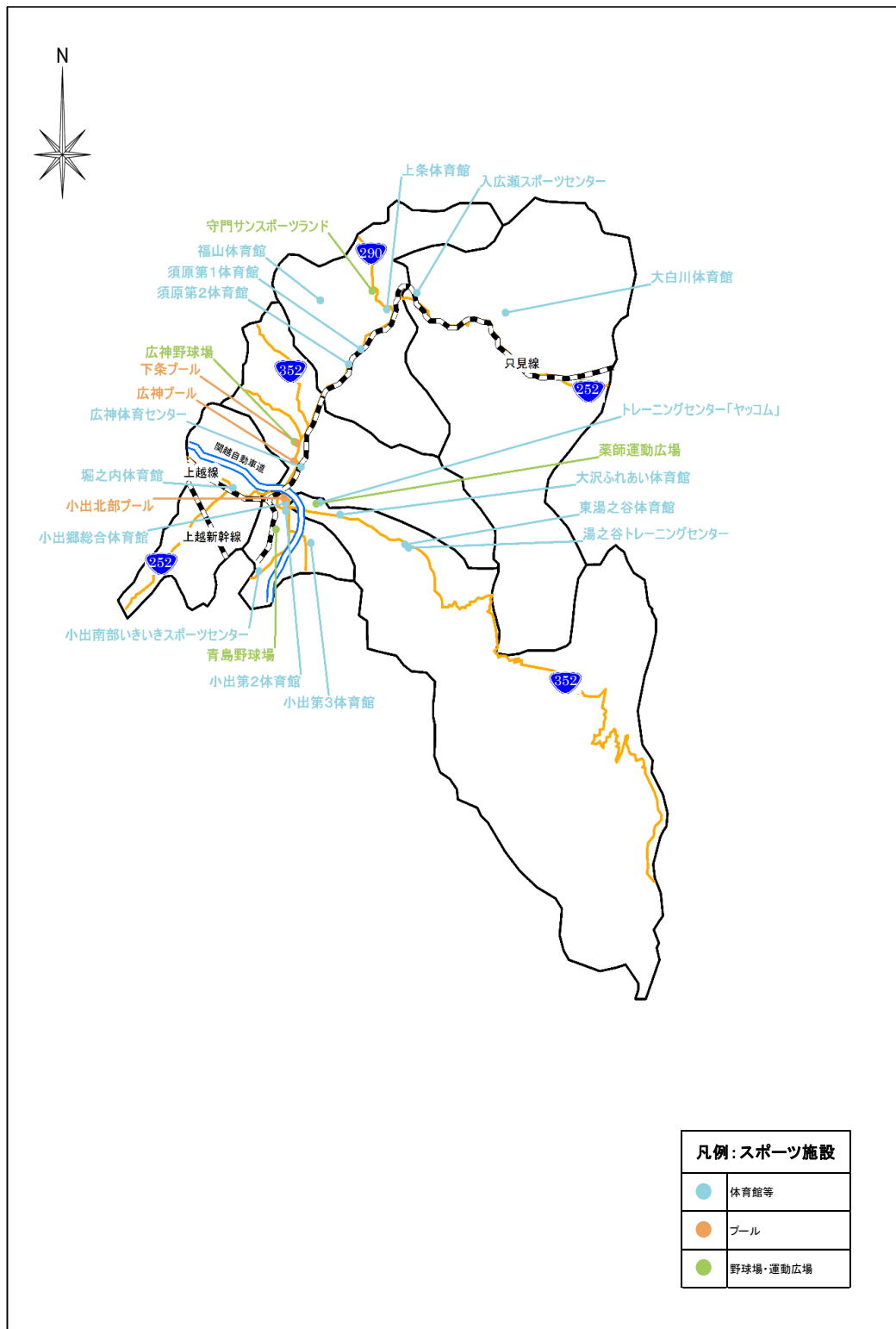
施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
体育館等											
堀之内体育館	12,512	7,780	20,292	55,417	366	19,510	39,803	718	7,690	32,112	14,239
小出第2体育館	616	28	644	3,012	214	2,878	3,523	1,169	167	3,356	—
小出第3体育館	444	62	507	3,207	158	2,138	2,646	825	316	2,330	—
小出南部いきいきスポーツセンター	576	44	621	3,917	158	2,692	3,313	845	367	2,945	—
小出郷総合体育館	4,711	5,553	10,264	26,944	380	0	10,264	380	577	9,686	—
トレーニングセンター「ヤッコム」	1,382	19,115	20,497	27,187	753	2,685	23,182	852	3,996	19,186	8,900
大沢ふれあい体育館	2	5	7	1,803	4	4,019	4,027	2,233	60	3,966	—
東湯之谷体育館	218	54	272	406	671	0	272	671	25	247	—
湯之谷トレーニングセンター	822	413	1,236	6,875	179	4,503	5,739	834	410	5,329	0
広神体育センター	758	12	771	7,693	100	5,167	5,938	771	264	5,674	—
須原第1体育館	966	40	1,007	5,005	201	4,493	5,500	1,099	334	5,166	—
須原第2体育館	437	6	443	7,017	63	4,839	5,282	752	28	5,254	—
上条体育館	47	0	47	4,150	11	2,797	2,844	685	0	2,844	—
福山体育館	1,481	2	1,483	308	4,816	6,643	8,126	26,386	0	8,126	—
入広瀬スポーツセンター	2,415	98	2,513	7,979	315	13,720	16,234	2,034	590	15,644	—
大白川体育館	409	0	409	941	434	3,759	4,168	4,429	107	4,060	—
計	27,802	33,218	61,021	161,861	—	79,849	140,870	—	14,937	125,932	23,139
プール											
小出北部プール	1,150	405	1,556	2,484	626	2,442	3,998	1,609	0	3,998	—
下条プール	1,065	393	1,458	694	2,102	123	1,582	2,279	0	1,582	—
広神プール	284	555	840	2,173	386	193	1,033	475	262	771	—
計	2,501	1,353	3,855	5,351	—	2,758	6,614	—	262	6,351	—
野球場・運動広場											
青島野球場	2,029	127	2,156	1,476	1,460	260	2,416	1,637	275	2,141	—
業師運動広場	2,786	1,539	4,326	5,625	769	722	5,048	897	267	4,781	1,800
広神野球場	7,886	7,582	15,468	9,693	1,595	1,491	16,959	1,749	359	16,600	14,300
守門サンスポーツランド	1,492	16	1,508	1,878	803	688	2,197	1,170	157	2,039	—
計	14,194	9,265	23,459	18,672	—	3,163	26,623	—	1,059	25,563	16,100

体育館等の延利用者数の合計は161,861人です。これらの施設にかかるフルコストは140,870千円です。

プールの延利用者数の合計は5,351人です。これらの施設にかかるフルコストは6,614千円です。

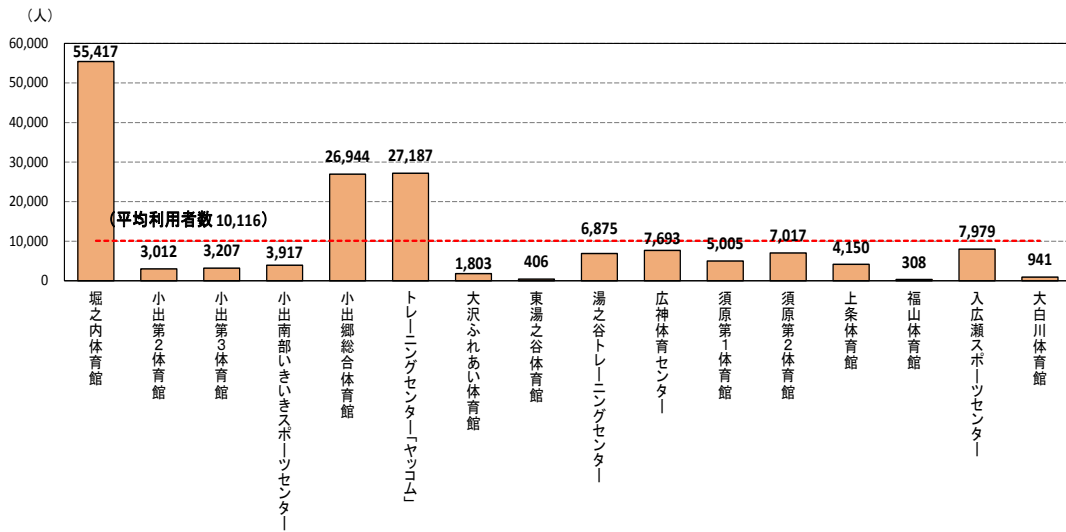
野球場・運動広場の延利用者数の合計は18,672人です。これらの施設にかかるフルコストは26,623千円です。

図 4-4-1 スポーツ施設の配置状況



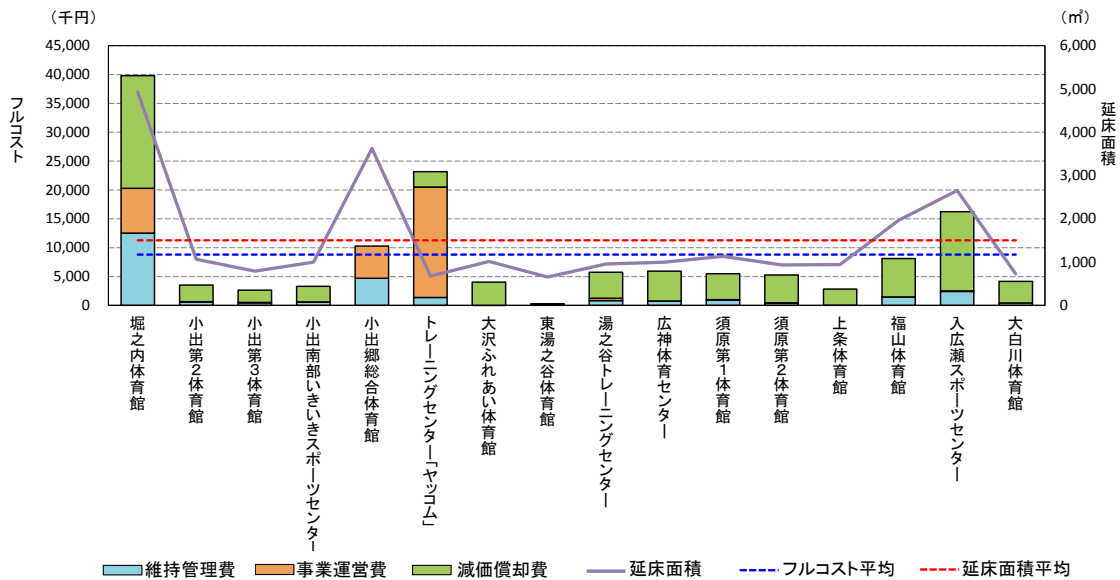
① 【スポーツ施設】 体育館等の状況

図 4-4-2 体育館等の利用者数(平成 25 年度)



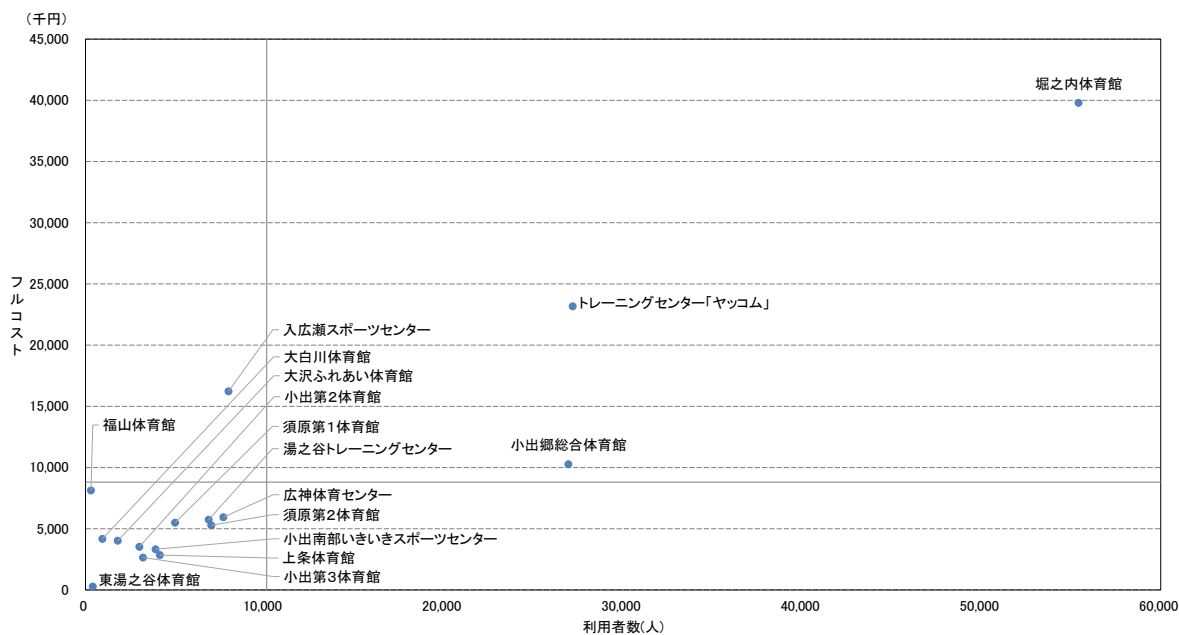
体育館等のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、堀之内体育館の55,417人であり、2番目はトレーニングセンター「ヤッコム」の27,187人です。最も利用者数が少ない施設は、福山体育館の308人であり、2番目は東湯之谷体育館の406人です。

図 4-4-3 体育館等のフルコストと延床面積



体育館等のうち、延床面積が最も広い施設は、堀之内体育館の4,927 m²であり、2番目は小出郷総合体育館の3,626 m²です。また、体育館等のうち、フルコストが最も高い施設は、堀之内体育館の39,803千円であり、2番目はトレーニングセンター「ヤッコム」の23,182千円です。

図 4-4-4 体育館等の利用者数とフルコスト

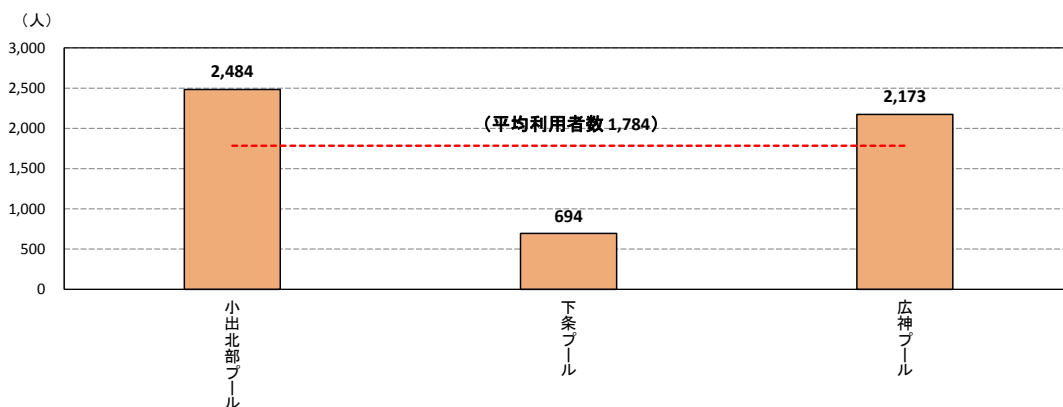


本市は体育館を 15 施設、トレーニングセンターを 1 施設有しています。体育館等のフルコストの合計は 2 億円を超えるなど多額のコストが発生しています。中には、一人当たりフルコストが 2 万円を超える施設があるなど、利用者数とコストが見合わないと思われる施設もみられます。

体育館の多くは、廃校となった学校の体育館を残した施設であり、また、ほとんどの施設が建設後 30 年以上経過し老朽化が進んでいます。したがって、機能の受け皿となる小中学校体育館を積極的に開放し、耐用年数が到来した施設を順次廃止するなどの検討も必要となっていきます。

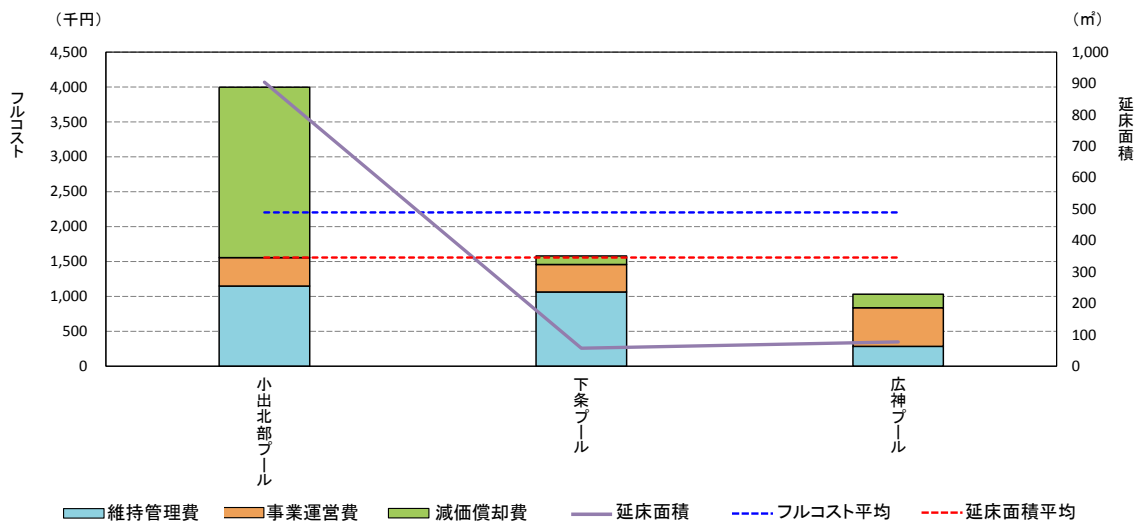
② 【スポーツ施設】プールの状況

図 4-4-5 プールの利用者数(平成 25 年度)



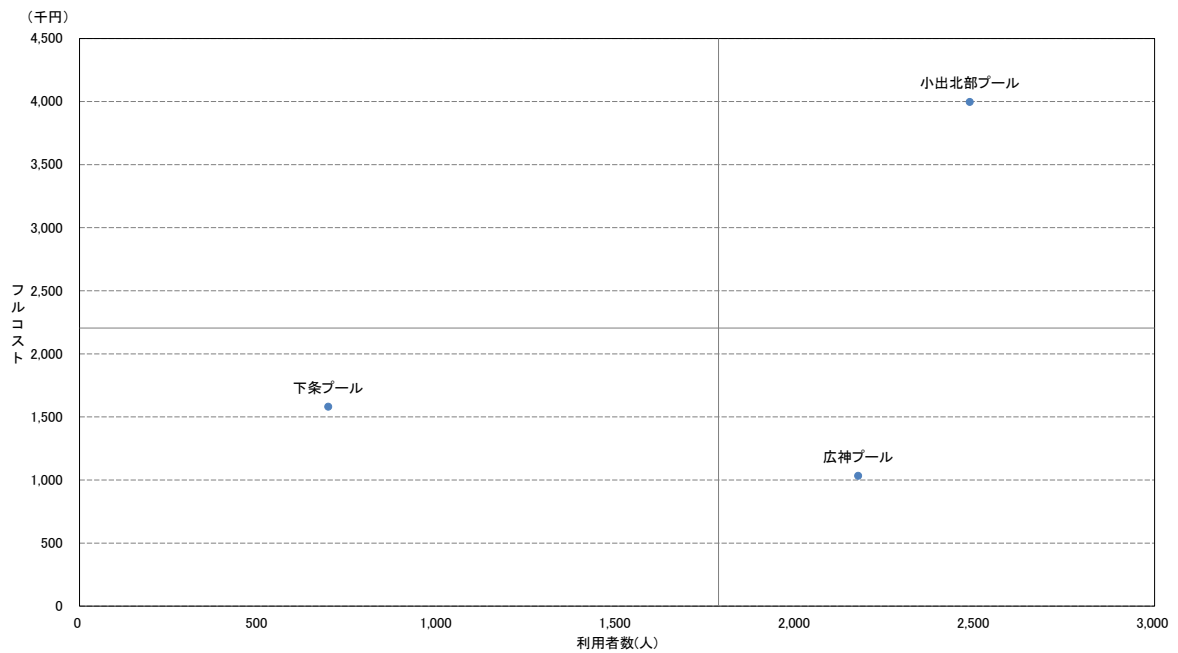
プールのうち、年間の利用者数が最も多い施設は、小出北部プールの 2,484 人であり、2 番目は広神プールの 2,173 人です。最も利用者数が少ない施設は、下条プールの 694 人です。

図 4-4-6 プールのフルコストと延床面積



プールのうち、延床面積が最も広い施設は、小出北部プールの 905 ㎡であり、2 番目は広神プールの 77 ㎡です。また、プールのうち、フルコストが最も高い施設は、小出北部プールの 3,998 千円であり、2 番目は下条プールの 1,582 千円です。

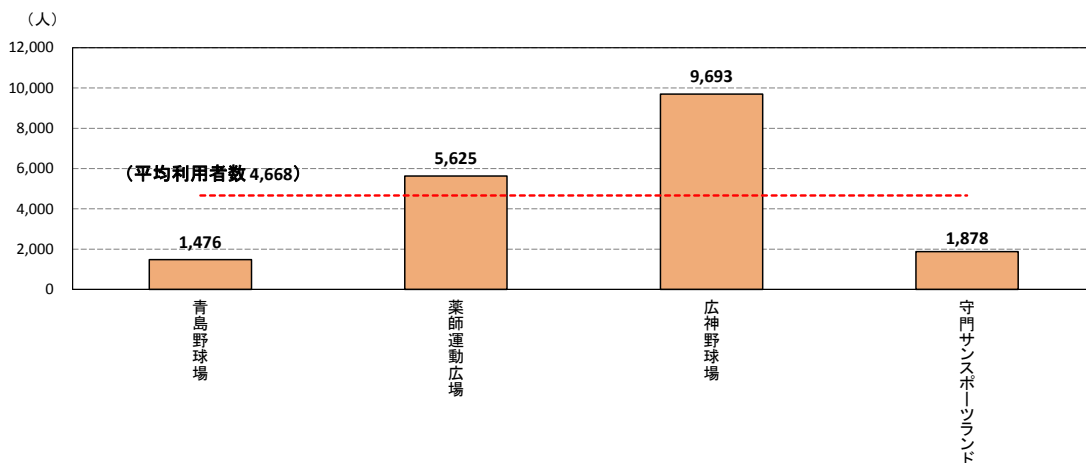
図 4-4-7 プールの利用者数とフルコスト



プールについては、小出地区に1施設、広神地区に2施設を設置しております。このうち、広神プールは50Mプールを有していますが、昭和40年代の建設であり老朽化が進んでいます。今後の更新にあたっては、プールの規模を見直すのみならず、民営プールの活用や近隣学校プールの開放による機能の集約も視野に入れた検討も必要となります。

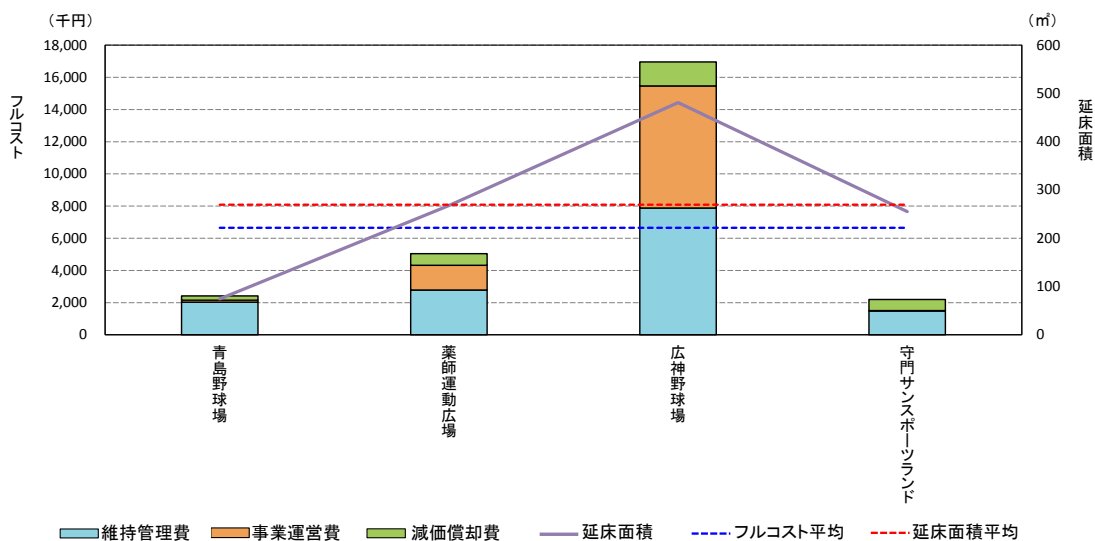
③ 【スポーツ施設】野球場・運動広場の状況

図 4-4-8 野球場・運動広場の利用者数(平成 25 年度)



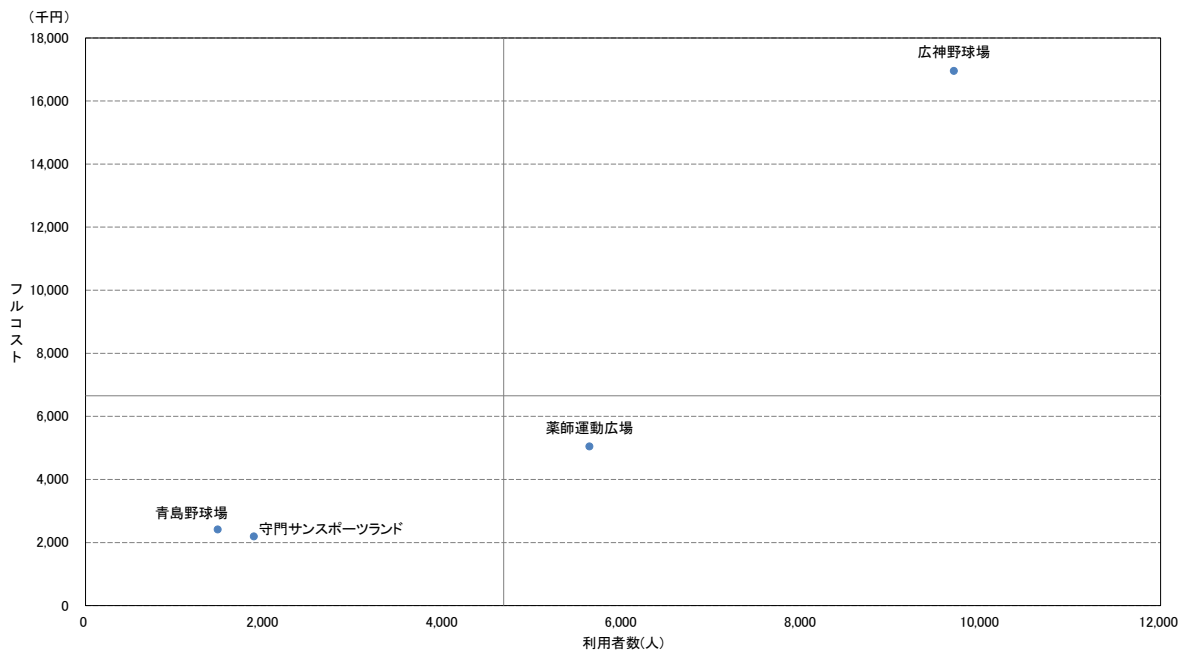
野球場・運動広場のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、広神野球場の9,693人であり、2番目は薬師運動広場の5,625人です。最も利用者数が少ない施設は、青島野球場の1,476人であり、2番目は守門サンスポーツランドの1,878人です。

図 4-4-9 野球場・運動広場のフルコストと延床面積



野球場・運動広場のうち、延床面積が最も広い施設は、広神野球場の481㎡であり、2番目は薬師運動広場の268㎡です。また、野球場・運動広場のうち、フルコストが最も高い施設は、広神野球場の16,959千円であり、2番目は薬師運動広場の5,048千円です。

図 4-4-10 野球場・運動広場の利用者数とフルコスト



市内各所に野球場 2 施設、その他体育施設 2 施設を設置しており、市民の屋外スポーツの活動拠点となっています。このうち、広神野球場はスタンドも整備されており、1 万人近い利用者がいる一方で、フルコストも高額となっています。

近隣市の南魚沼市にはスタンド付きの野球場、テニスコートを有する大原運動公園があり、今後の施設のあり方の検討に当たっては、市町村をまたいだ広域的な視点も必要となってきます。

5 産業系施設の状況

表 4-5-1 産業系施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (m ²)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
スキー場	小出	1	小出スキー場	—	816	平成10年度	平成60年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	2	大湯温泉スキー場	—	410	平成6年度	平成56年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	3	薬師スキー場	—	240	昭和60年度	平成21年度		木造
	守門	4	須原スキー場	—	2,668	平成11年度	平成49年度		鉄骨造
	入広瀬	5	大原スキー場	—	685	平成7年度	平成57年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
温泉施設	小出	1	ふれあい交流センターこまみ	直営	1,283	平成9年度	平成33年度		木造
	湯之谷	2	銀山平キャンプ場	指定管理者	651	平成17年度	平成67年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	3	銀山平森林公園	指定管理者	2,370	平成12年度	平成34年度		木造
	湯之谷	4	湯之谷交流センターコピオ	指定管理者	4,516	平成6年度	平成56年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	5	栢尾又温泉センター	直営	1,135	昭和59年度	平成43年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	6	薬師温泉センターゆ〜パーク	指定管理者	2,324	平成7年度	平成41年度		鉄骨造
	広神	7	神湯とふれあいの里	指定管理者	4,056	平成9年度	平成59年度		鉄筋コンクリート造
	広神	8	地域休養施設羽川荘	—	1,422	昭和55年度	平成39年度	※	鉄筋コンクリート造
	広神	9	さわやかセンター	直営	894	平成7年度	平成41年度		鉄骨造
	守門	10	農業体験実習館青雲館	直営	1,938	昭和53年度	平成37年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	11	寿和温泉	直営	3,285	平成7年度	平成54年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	12	浅草山荘	指定管理者	4,439	昭和48年度	平成32年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	13	浅草山麓大自然館	直営	5,909	平成5年度	平成55年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
観光施設	小出	1	総合ビジターセンターかたつくり	指定管理者	963	平成8年度	平成32年度		木造
	湯之谷	2	自然活用総合管理施設深雪の里	指定管理者	1,943	平成4年度	平成54年度		鉄骨造
	湯之谷	3	奥只見スロープカー	指定管理者	169	昭和54年度	平成41年度	※	鉄骨造
	守門	4	自然科学館「星の家」	直営	737	平成1年度	平成51年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	守門	5	守門特産品販売所	直営	92	平成10年度	平成34年度		木造
	入広瀬	6	鏡ヶ池総合案内所	指定管理者	464	平成16年度	平成40年度		木造
	入広瀬	7	入広瀬雪国観光会館	直営	367	昭和63年度	平成38年度		鉄骨造
リース工場	湯之谷	1	芋川リース工場	直営	372	昭和61年度	平成29年度		鉄骨造
	広神	2	田中リース工場	直営	354	昭和61年度	平成13年度		木造
	守門	3	細野第3リース工場	直営	250	平成13年度	平成44年度		鉄骨造
	守門	4	須原リース工場	直営	56	平成15年度	平成30年度		木造
	守門	5	須川リース工場	直営	499	平成5年度	平成36年度		鉄骨造
	入広瀬	6	横根バイタリティセンター	直営	622	昭和60年度	平成28年度		鉄骨造
	入広瀬	7	横根就業センター	直営	404	昭和55年度	平成23年度	※	鉄骨造
	入広瀬	8	第1若者就業センター	直営	866	昭和58年度	平成26年度		鉄骨造
	入広瀬	9	第2若者就業センター	直営	500	昭和63年度	平成31年度		鉄骨造
	入広瀬	10	第3若者就業センター	直営	720	平成2年度	平成33年度		鉄骨造
農業振興施設	湯之谷	1	湯之谷多目的交流施設	直営	497	平成8年度	平成42年度		鉄骨造
	広神	2	広神農村環境改善センター	直営	1,386	昭和54年度	平成38年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	3	守門ライスセンター	直営	1,479	平成7年度	平成38年度		鉄骨造
	守門	4	細野地域食材加工場「細野ふれあいハウス」	直営	71	平成14年度	平成45年度		鉄骨造
	守門	5	雪むろと農産物加工場	指定管理者	348	平成8年度	平成39年度		鉄骨造
	守門	6	峠の雪むろ	直営	431	平成12年度	平成43年度		鉄骨造
	守門	7	木材乾燥施設	直営	370	昭和54年度	平成22年度	※	鉄骨造
	入広瀬	8	入広瀬温室	直営	328	平成6年度	平成37年度		鉄骨造
	入広瀬	9	入広瀬自然活用センター	指定管理者	255	昭和63年度	平成41年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	10	入広瀬生きがいセンター	指定管理者	247	昭和54年度	平成22年度	※	鉄骨造
	入広瀬	11	入広瀬農業団地センター	直営	503	昭和57年度	平成41年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	12	柿ノ木もみ乾燥調整施設	直営	135	昭和60年度	平成28年度		鉄骨造
	入広瀬	13	入広瀬山菜会館	指定管理者	774	昭和56年度	平成40年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	14	入広瀬イワナの家	直営	252	昭和59年度	平成46年度		鉄筋コンクリート造

スキー場は、市内に 5 施設あり、延床面積は合計 4,819 m²です。

温泉施設は、市内に 13 施設あり、延床面積は合計 34,222 m²です。

観光施設は、市内に7施設あり、延床面積は合計4,735㎡です。

リース工場は、市内に10施設あり、延床面積は合計4,643㎡です。

農業振興施設は、市内に14施設あり、延床面積は合計7,076㎡です。

表 4-5-2 産業系施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当りの コスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 1人当りの フルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
スキー場											
小出スキー場	25,181	735	25,916	19,820	1,307	2,346	28,262	1,425	277	27,985	—
大湯温泉スキー場	7,203	0	7,203	1,540	4,677	1,179	8,382	5,442	0	8,382	—
薬師スキー場	7,429	267	7,696	18,130	424	288	7,984	440	29	7,955	—
須原スキー場	38,578	794	39,372	36,530	1,077	7,522	46,894	1,283	0	46,894	—
大原スキー場	21,626	586	22,212	7,660	2,899	1,848	24,060	3,141	0	24,060	—
計	100,017	2,382	102,399	83,680	—	13,185	115,584	—	306	115,278	—
温泉施設											
ふれあい交流センターこまみ	37,223	16,772	53,995	51,560	1,047	4,768	58,763	1,139	22,742	36,021	—
銀山平キャンプ場	3,436	4,738	8,175	8,523	959	2,466	10,641	1,248	7,373	3,268	0
銀山平森林公園	9,474	2,375	11,849	16,695	709	10,543	22,392	1,341	5,929	16,463	0
湯之谷交流センターコピオ	7,536	10,976	18,512	25,692	720	18,516	37,028	1,441	6,965	30,063	11,000
柳尾又温泉センター	5,466	493	5,959	13,353	446	3,869	9,829	736	7,562	2,266	—
薬師温泉センターゆ〜パーク	30,478	61,683	92,162	39,499	2,333	14,289	106,452	2,695	95,560	10,891	0
神湯とふれあいの里	57,224	128,585	185,809	69,065	2,690	11,599	197,409	2,858	149,816	47,593	0
地域休養施設羽川荘	0	0	0	—	—	4,224	4,224	—	0	4,224	—
さわやかセンター	4,203	11,572	15,776	24,541	642	1,877	17,653	719	1,573	16,079	—
農業体験実習館青雲館	6,776	23,227	30,003	3,874	7,744	6,334	36,338	9,380	2,969	33,369	—
寿和温泉	22,291	66,440	88,731	44,748	1,982	12,360	101,091	2,259	11,386	89,705	—
浅草山荘	17,022	21,918	38,941	7,970	4,886	15,221	54,163	6,795	37,968	16,194	0
浅草山麓大自然館	0	0	0	—	—	19,148	19,148	—	0	19,148	—
計	201,134	348,782	549,916	305,520	—	125,221	675,137	—	349,847	325,290	11,000
観光施設											
総合ビジターセンターかたつくり	5,825	21,588	27,414	40,159	682	3,843	31,258	778	29,734	1,523	0
自然活用総合管理施設深雪の里	17,427	283,362	300,789	259,000	1,161	7,608	308,397	1,190	300,170	8,227	0
奥只見スローカー	3,937	1,593	5,530	74,543	74	456	5,986	80	6,889	-902	0
自然科学館「星の家」	984	0	984	290	3,394	1,989	2,973	10,253	300	2,673	—
守門特産品販売所	0	0	0	—	—	365	365	—	0	365	—
鏡ヶ池総合案内所	7,888	24,994	32,883	41,367	794	1,991	34,874	843	22,399	12,475	5,000
入広瀬雪国観光会館	709	0	709	—	—	892	1,601	—	0	1,601	—
計	36,773	331,538	368,312	415,359	—	17,145	385,457	—	359,493	25,964	5,000
リース工場											
芋川リース工場	191	0	191	—	—	735	927	—	102	824	—
田中リース工場	193	0	193	—	—	0	193	—	193	0	—
細野第3リース工場	156	0	156	—	—	1,073	1,230	—	2,368	-1,138	—
須原リース工場	3	0	3	—	—	225	229	—	3	225	—
須川リース工場	303	0	303	—	—	2,138	2,441	—	816	1,625	—
横根バイタリティセンター	390	0	390	—	—	2,669	3,059	—	290	2,769	—
横根就業センター	180	0	180	—	—	0	180	—	120	60	—
第1若者就業センター	411	0	411	—	—	3,712	4,124	—	1,227	2,896	—
第2若者就業センター	377	0	377	—	—	2,146	2,523	—	900	1,623	—
第3若者就業センター	223	0	223	—	—	3,088	3,312	—	242	3,069	—
計	2,430	0	2,430	—	—	15,791	18,222	—	6,264	11,957	—
農業振興施設											
湯之谷多目的交流施設	1,461	0	1,461	100	14,614	1,193	2,655	26,550	822	1,832	—
広神農村環境改善センター	1,654	537	2,192	6,081	360	4,050	6,242	1,026	199	6,043	—
守門ライスセンター	11	0	11	—	—	2,927	2,939	—	0	2,939	—
細野地域食料加工場「細野ふれあいハウス」	0	0	0	—	—	140	141	—	0	141	—
雪むろと農産物加工場	783	0	783	—	—	1,358	2,141	—	0	2,141	0
峠の雪むろ	320	0	320	—	—	853	1,174	—	0	1,174	—
木材乾燥施設	119	0	119	—	—	0	119	—	0	119	—
入広瀬温室	360	0	360	—	—	648	1,009	—	29	980	—
入広瀬自然活用センター	69	0	69	—	—	989	1,058	—	0	1,058	250
入広瀬生きがいセンター	94	0	94	—	—	0	94	—	0	94	0
入広瀬農業団地センター	400	0	400	—	—	1,494	1,894	—	94	1,800	—
柿ノ木もみ乾燥調整施設	99	0	99	—	—	267	367	—	49	318	—
入広瀬山菜会館	112	0	112	—	—	2,299	2,411	—	0	2,411	0
入広瀬イワナの家	0	0	0	0	0	680	680	0	0	680	—
計	5,488	537	6,026	6,181	—	16,904	22,931	—	1,195	21,736	250

スキー場の延利用者数の合計は83,680人です。これらの施設にかかるフルコストは115,584千円です。

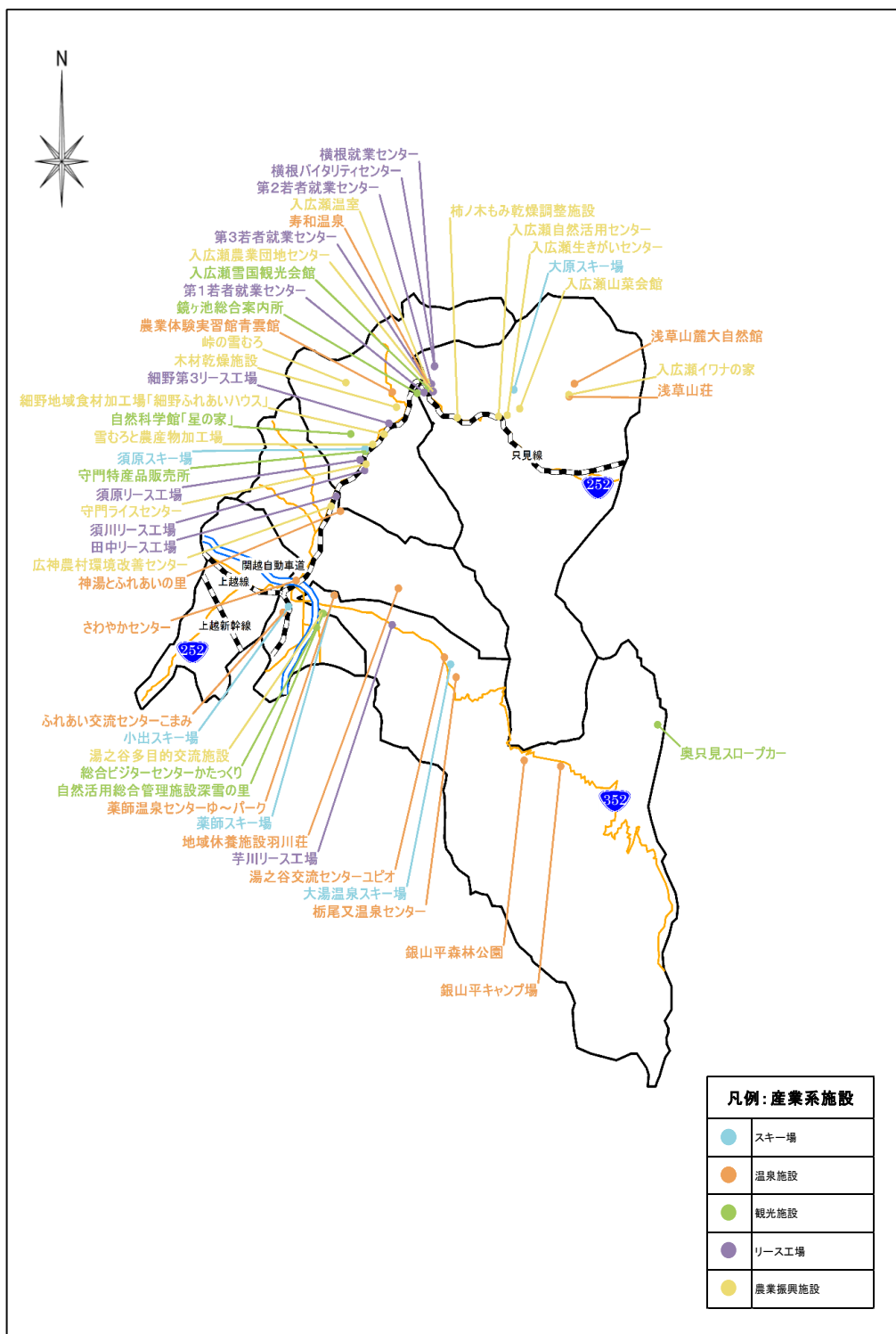
温泉施設の延利用者数の合計は 305, 520 人です。これらの施設にかかるフルコストは 675, 137 千円です。

観光施設の延利用者数の合計は 415, 359 人です。これらの施設にかかるフルコストは 385, 457 千円です。

リース工場の施設にかかるフルコストは 18, 222 千円です。

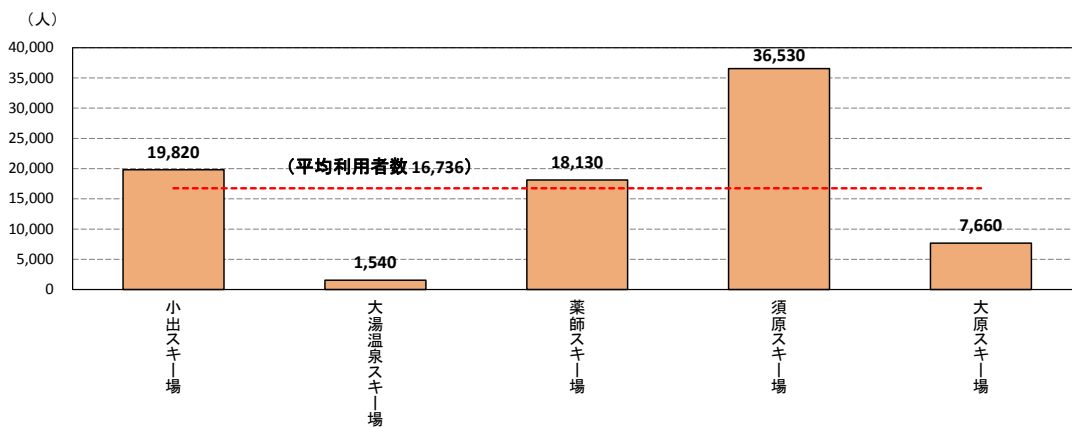
農業振興施設の延利用者数の合計は 6, 181 人です。これらの施設にかかるフルコストは 22, 931 千円です。

図 4-5-1 産業系施設の配置状況



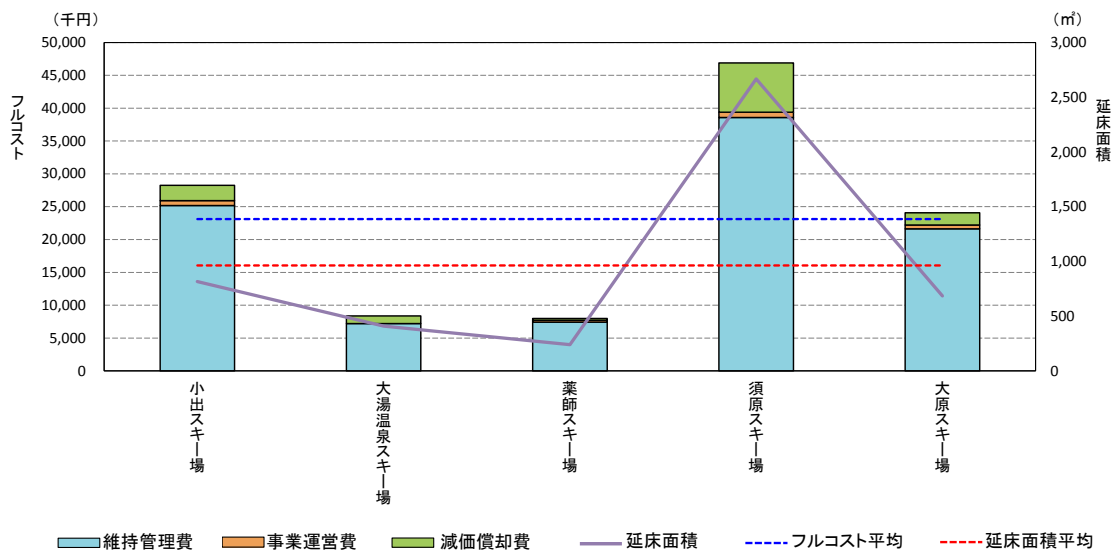
① 〔産業系施設〕スキー場の状況

図 4-5-2 スキー場の利用者数(平成 25 年度)



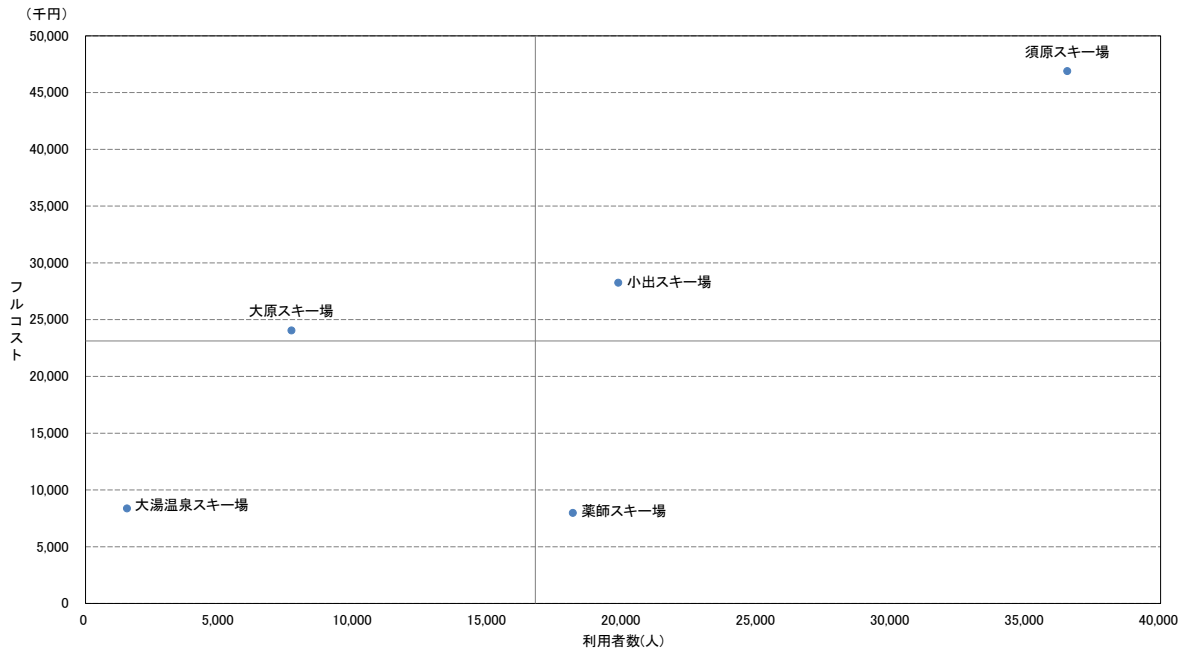
スキー場のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、須原スキー場の 36,530 人であり、2 番目は小出スキー場の 19,820 人です。最も利用者数が少ない施設は、大湯温泉スキー場の 1,540 人であり、2 番目は大原スキー場の 7,660 人です。

図 4-5-3 スキー場のフルコストと延床面積



スキー場のうち、延床面積が最も広い施設は、須原スキー場の 2,668 ㎡であり、2 番目は小出スキー場の 816 ㎡です。また、スキー場のうち、フルコストが最も高い施設は、須原スキー場の 46,894 千円であり、2 番目は小出スキー場の 28,262 千円です。

図 4-5-4 スキー場の利用者数とフルコスト



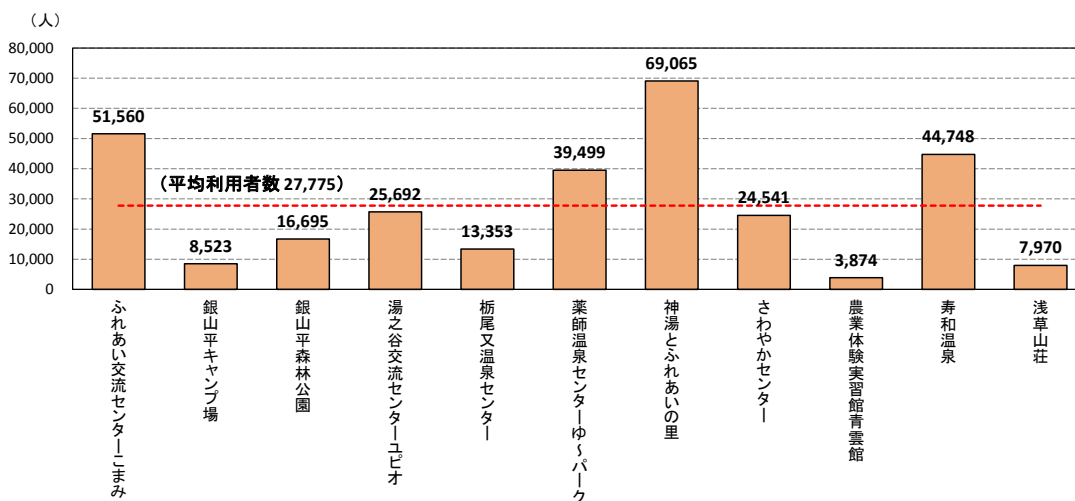
本市のスキー場は、合併前の旧町村時代に各町村により整備が行われてきたものであり、現在5施設を有しています。

現在全てのスキー場の運営は民間団体に移管されていますが、夏場の管理は市が行うなど、現在も市が一部の管理費を負担しています。

今後の施設のあり方については、市としてどの程度スキー場が必要なのか、また地域の観光戦略として効果的な施設のあり方はどのようなものかなどを検討することが必要です。

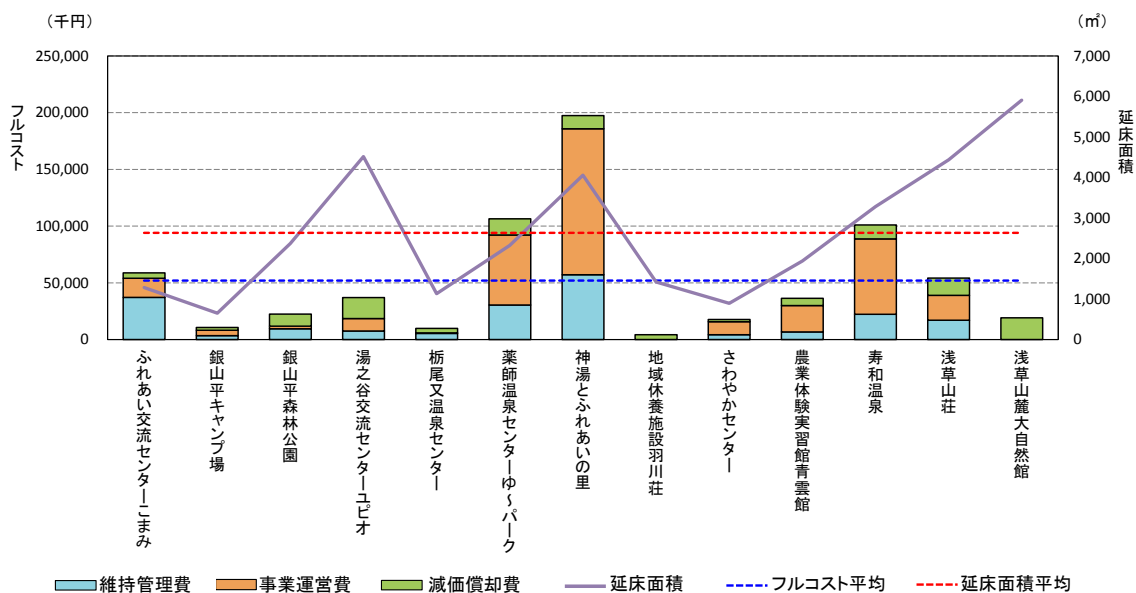
② 〔産業系施設〕 温泉施設の状況

図 4-5-5 温泉施設の利用者数(平成 25 年度)



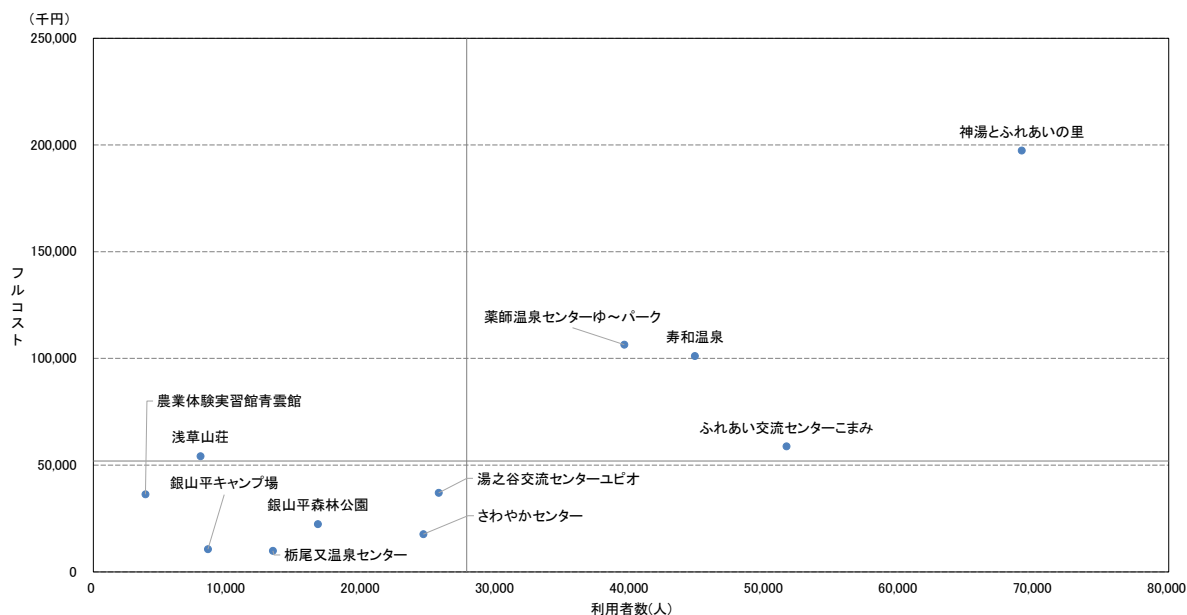
温泉施設のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、神湯とふれあいの里の 69,065 人であり、2 番目はふれあい交流センターこまみの 51,560 人です。最も利用者数が少ない施設は、農業体験実習館青雲館の 3,874 人であり、2 番目は浅草山荘の 7,970 人です。

図 4-5-6 温泉施設のフルコストと延床面積



温泉施設のうち、延床面積が最も広い施設は、浅草山麓大自然館の 5,909 m²であり、2 番目は湯之谷交流センターユピオの 4,516 m²です。また、温泉施設のうち、フルコストが最も高い施設は、神湯とふれあいの里の 197,409 千円であり、2 番目は薬師温泉センターゆ〜パークの 106,452 千円です。

図 4-5-7 温泉施設の利用者数とフルコスト



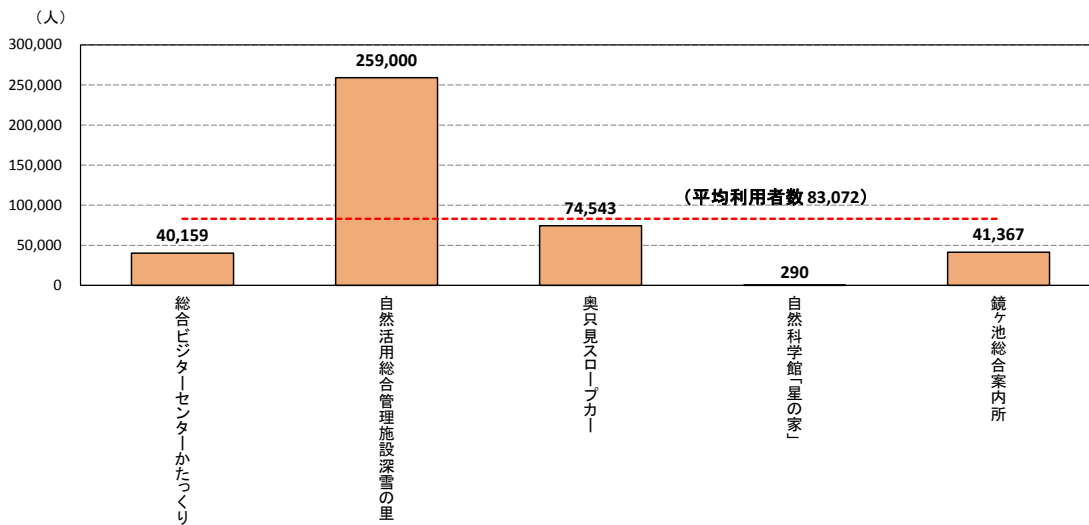
本市の温泉施設は、合併前の旧町村時代に各町村により整備が行われてきたものであり、現在 13 施設を有しています。

各施設は、いずれも合併前の旧町村ごとの計画の下で整備してきたことから、機能の重複や配置のバランスの観点から、1つの市という観点では必ずしも適切とは言いきれない状況となっています。また、温泉施設のフルコストは高額であり、指定管理者の導入になどによりコストの削減を進めているものの、温泉施設合計で年間 5 億円近く of 赤字が発生しています。

温泉施設は必ずしも市で保有しなければ市民生活に影響がある施設ではなく、民間による供給も一定程度あることから、本市の財政状況を鑑みて各施設のあり方を検討していくことが必要となっています。

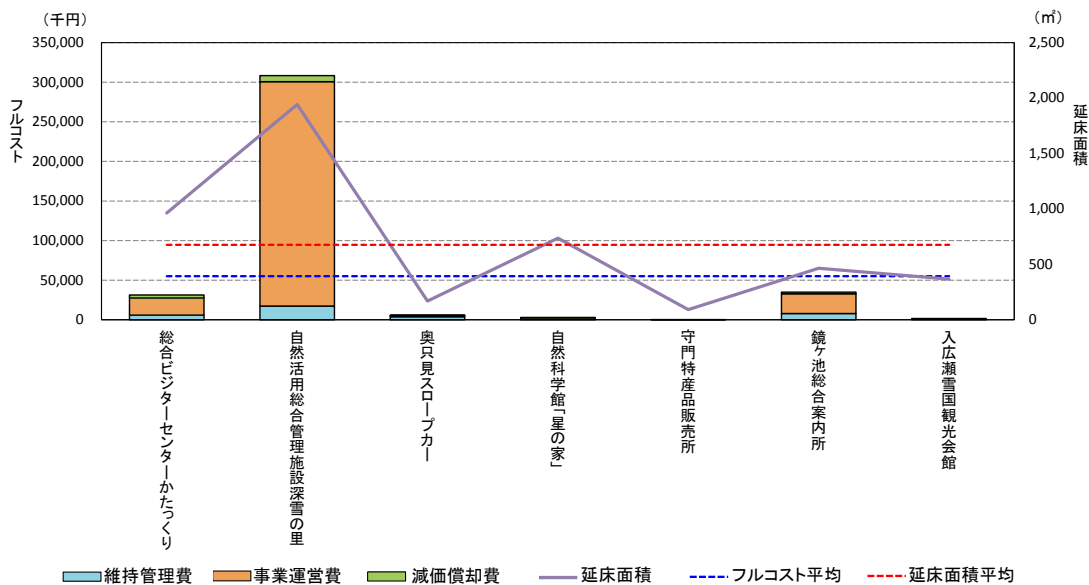
③ 〔産業系施設〕 観光施設の状況

図 4-5-8 観光施設の利用者数(平成 25 年度)



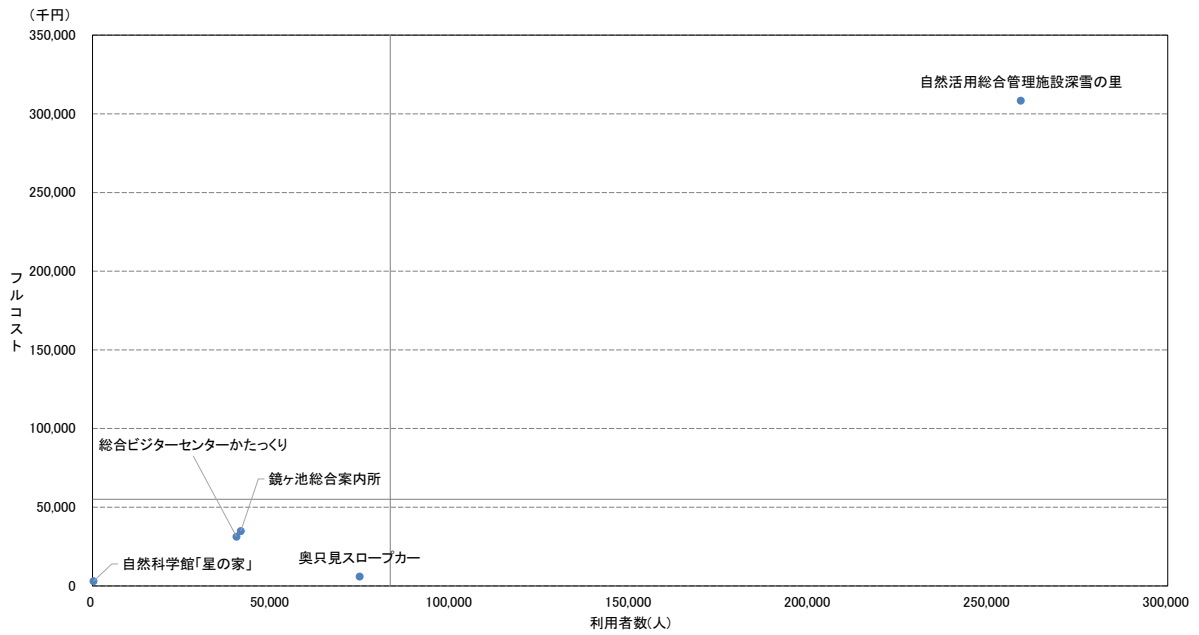
観光施設のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、自然活用総合管理施設深雪の里の 259,000 人であり、2 番目は奥只見スロープカーの 74,543 人です。最も利用者数が少ない施設は、自然科学館「星の家」の 290 人であり、2 番目は総合ビジターセンターかたくりの 40,159 人です。

図 4-5-9 観光施設のフルコストと延床面積



観光施設のうち、延床面積が最も広い施設は、自然活用総合管理施設深雪の里の 1,943 ㎡であり、2 番目は総合ビジターセンターかたくりの 963 ㎡です。また、観光施設のうち、フルコストが最も高い施設は、自然活用総合管理施設深雪の里の 308,397 千円であり、2 番目は鏡ヶ池総合案内所の 34,874 千円です。

図 4-5-10 観光施設の利用者数とフルコスト

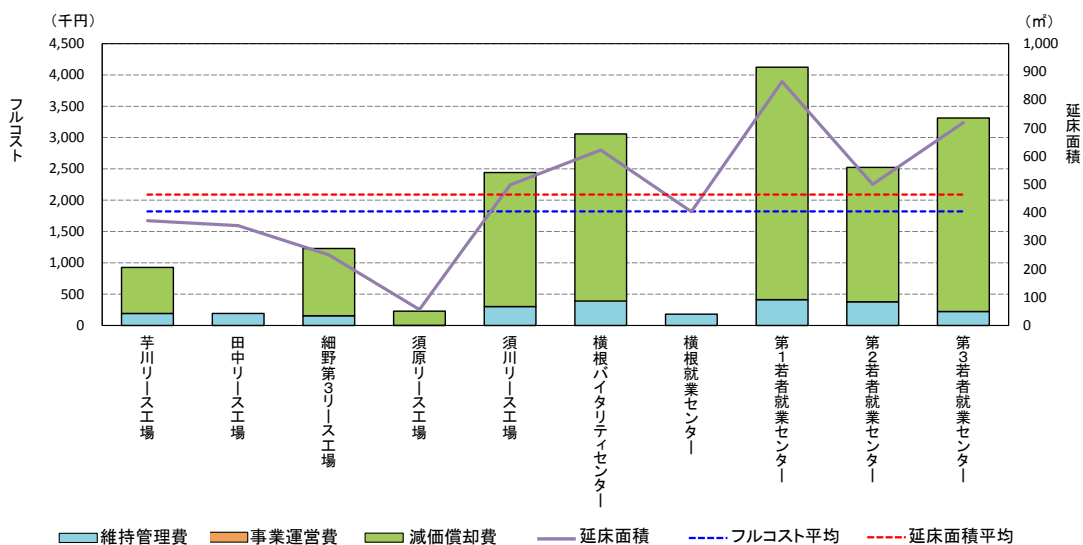


本市の観光施設は奥只見スロープカーなど7施設を有しています。なかでも道の駅である自然活用総合管理施設深雪の里は年間25万人以上の方に利用していただき、高い集客があります。

道の駅やその他観光施設などは、深雪の里などの集客力が高い施設に機能を集約していくなど、複数の施設に分散させないような戦略も含めて検討することが考えられます。

④ 〔産業系施設〕 リース工場の状況

図 4-5-11 リース工場のフルコストと延床面積



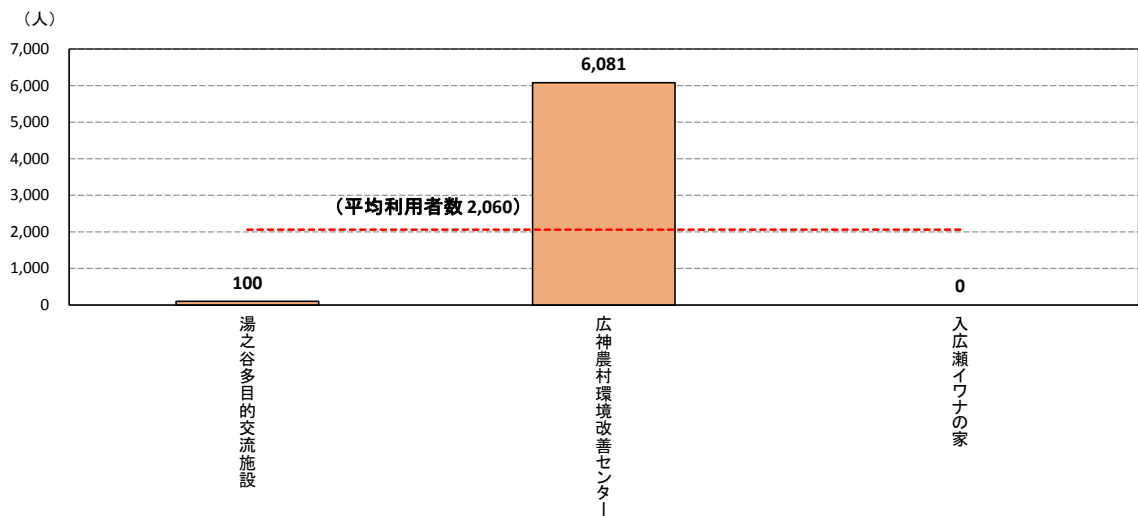
リース工場のうち、延床面積が最も広い施設は、第1若者就業センターの866㎡であり、2番目は第3若者就業センターの720㎡です。また、リース工場のうち、フルコストが最も高い施設は、第1若者就業センターの4,124千円であり、2番目は第3若者就業センターの3,312千円です。

リース工場は、創業支援策の一環で建設した工場です。この工場を本市で起業を目指すベンチャー企業に貸与し、創業を支援する施設です。リース工場は、昭和60年前後に建設されたものが多く、老朽化も進んできていますが、将来的には支援企業に譲渡していくことなどが想定されることから、施設を建替更新していくような性質のものではないと考えられます。

各施設とも資金ベースでは概ね黒字となっており、建替更新が必要となる時期までは、現状を維持していくことが考えられます。

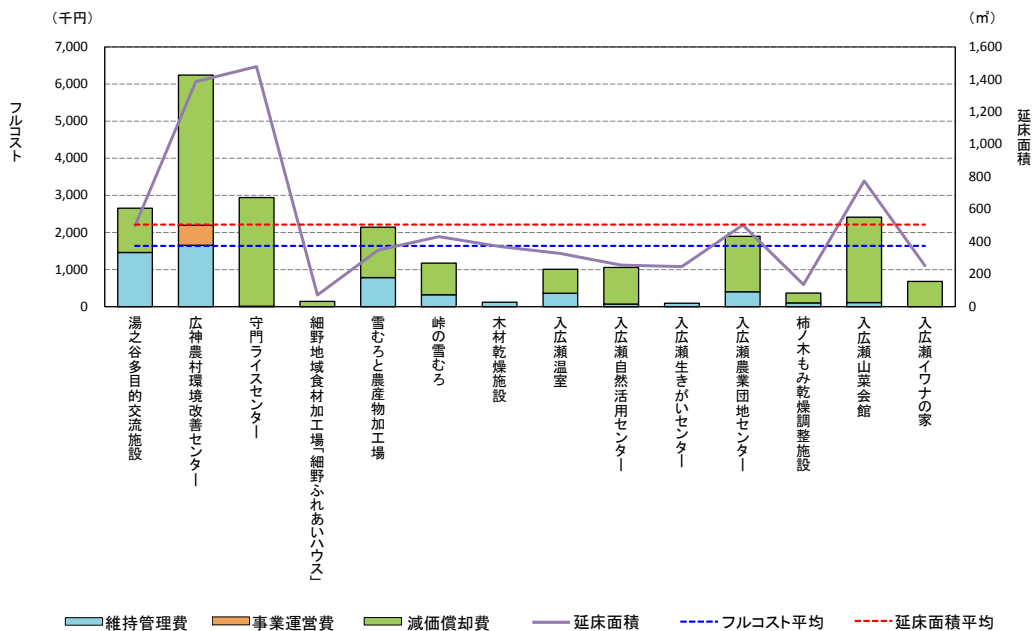
⑤ 〔産業系施設〕 農業振興施設の状況

図 4-5-12 農業振興施設の利用者数(平成 25 年度)



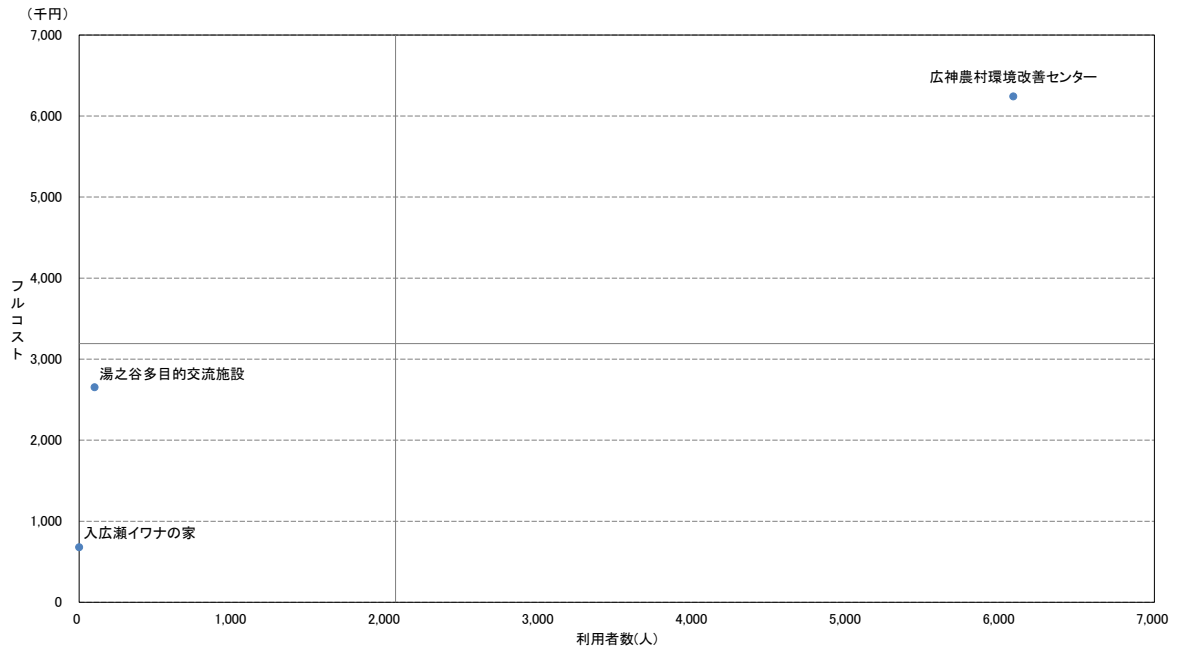
農業振興施設のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、広神農村環境改善センターの 6,081 人であり、2 番目は湯之谷多目的交流施設の 100 人です。

図 4-5-13 農業振興施設のフルコストと延床面積



農業振興施設のうち、延床面積が最も広い施設は、守門ライスセンターの 1,479 ㎡であり、2 番目は広神農村環境改善センターの 1,386 ㎡です。また、農業振興施設のうち、フルコストが最も高い施設は、広神農村環境改善センターの 6,242 千円であり、2 番目は守門ライスセンターの 2,939 千円です。

図 4-5-14 農業振興施設の利用者数とフルコスト



農業振興施設は守門、入広瀬地域を中心に 14 施設を有しています。昭和 60 年前後に建設された施設が過半数を占めており、老朽化も進んでいます。これらの施設には市で保有していく必要性が必ずしも高くない施設も含まれることから、各施設の目的・機能を精査し、他の施設に集約するなどの検討が必要となります。

また、他団体の機能を維持するための施設については、当該他団体へ譲渡するなどの検討が必要となります。

6 学校の状況

表 4-6-1 学校の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
小学校	堀之内	1	宇賀地小学校	直営	4,619	平成4年度	平成51年度		鉄筋コンクリート造
	堀之内	2	堀之内小学校	直営	5,602	昭和43年度	平成27年度		鉄筋コンクリート造
	小出	3	伊米ヶ崎小学校	直営	3,738	昭和58年度	平成42年度		鉄筋コンクリート造
	小出	4	小出小学校	直営	8,668	昭和52年度	平成36年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	5	井口小学校	直営	6,574	昭和33年度	平成17年度	※	鉄筋コンクリート造
	広神	6	広神西小学校	直営	5,972	昭和54年度	平成38年度		鉄筋コンクリート造
	広神	7	広神東小学校	直営	5,396	昭和50年度	平成34年度		鉄筋コンクリート造
	守門	8	須原小学校	直営	5,805	昭和58年度	平成42年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	9	入広瀬小学校	直営	4,047	昭和43年度	平成27年度		鉄筋コンクリート造
中学校	堀之内	1	堀之内中学校	直営	6,546	昭和47年度	平成31年度		鉄筋コンクリート造
	小出	2	小出中学校	直営	9,775	昭和50年度	平成34年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	3	湯之谷中学校	直営	6,063	昭和43年度	平成27年度		鉄筋コンクリート造
	広神	4	広神中学校	直営	6,588	昭和46年度	平成30年度		鉄筋コンクリート造
	守門	5	守門中学校	直営	5,426	昭和52年度	平成36年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	6	入広瀬中学校	直営	3,433	昭和47年度	平成31年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造

小学校は、市内に 9 施設あり、延床面積は合計 50,421 ㎡です。

中学校は、市内に 6 施設あり、延床面積は合計 37,831 ㎡です。

表 4-6-2 学校の利用度とコストの一覧

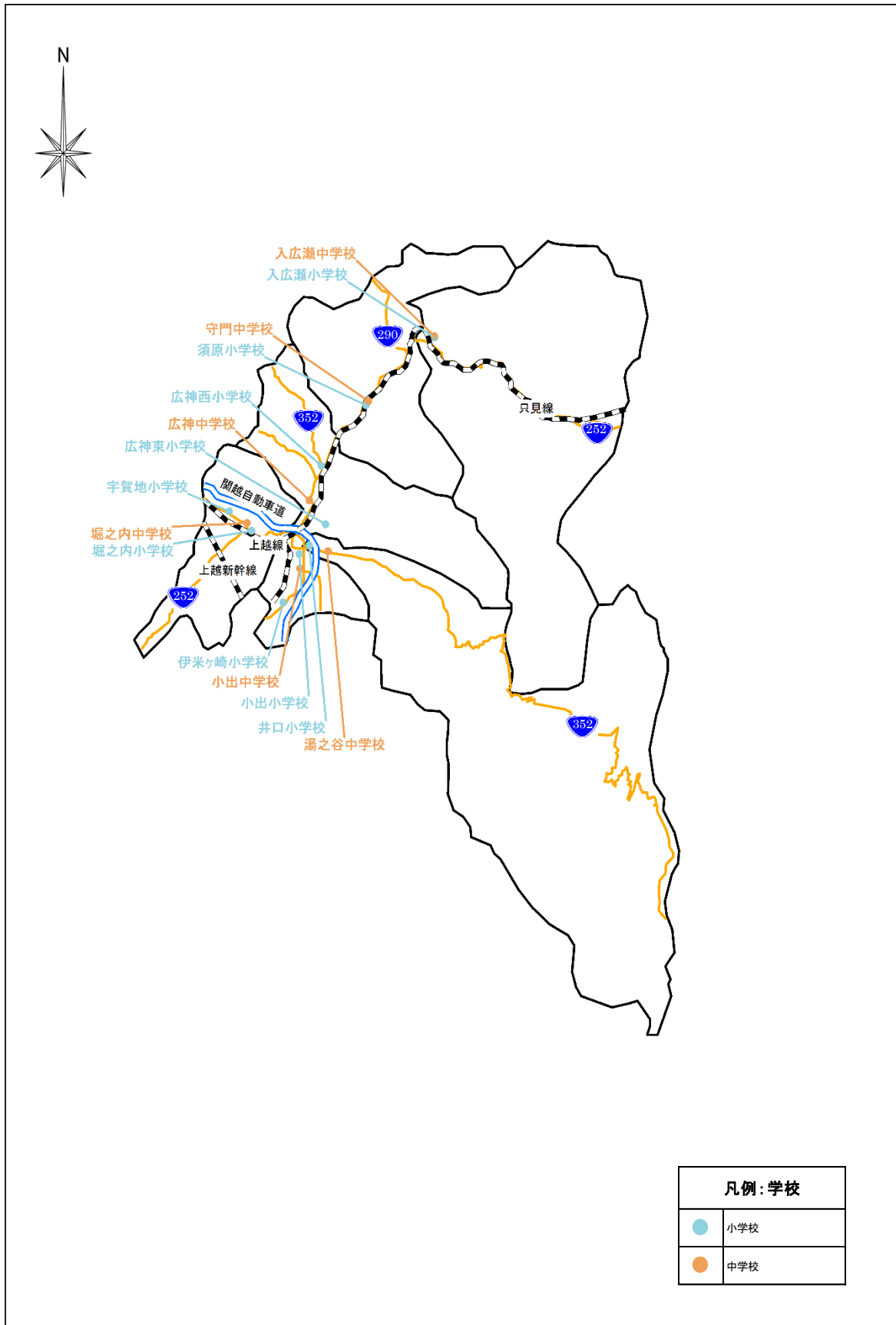
施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	児童数/生徒数 (人)	児童/生徒 1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	児童/生徒 1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
小学校											
宇賀地小学校	5,508	11,339	16,848	74	227,675	9,492	26,340	355,958	4,429	21,911	—
堀之内小学校	6,171	33,321	39,492	365	108,199	11,597	51,090	139,973	19,655	31,434	—
伊米ヶ崎小学校	3,777	5,979	9,757	98	99,562	8,981	18,738	191,208	0	18,738	—
小出小学校	12,342	44,944	57,286	515	111,236	19,510	76,797	149,120	33,002	43,794	—
井口小学校	6,142	47,027	53,169	324	164,104	12,765	65,935	203,505	30,033	35,902	—
広神西小学校	5,507	22,840	28,347	201	141,033	15,400	43,748	217,653	11,596	32,151	—
広神東小学校	8,281	23,492	31,774	221	143,774	15,609	47,384	214,408	12,058	35,325	—
須原小学校	4,699	26,222	30,921	120	257,677	17,240	48,161	401,346	12,777	35,384	—
入広瀬小学校	3,335	19,092	22,427	59	380,130	12,163	34,590	586,287	6,579	28,011	—
計	55,766	234,258	290,025	1,977	—	122,762	412,787	—	130,132	282,655	—
中学校											
堀之内中学校	7,347	38,923	46,271	245	188,861	14,125	60,396	246,517	19,655	40,741	—
小出中学校	11,895	32,745	44,641	340	131,298	22,058	66,700	196,177	20,800	45,899	—
湯之谷中学校	6,082	7,958	14,041	184	76,309	12,471	26,512	144,090	0	26,512	—
広神中学校	8,446	32,437	40,883	257	159,080	19,132	60,016	233,527	16,221	43,795	—
守門中学校	4,299	9,118	13,417	93	144,277	20,520	33,938	364,926	0	33,938	—
入広瀬中学校	3,482	7,542	11,024	34	324,248	10,196	21,220	624,131	0	21,220	—
計	41,554	128,725	170,279	1,153	—	98,505	268,784	—	56,677	212,107	—

小学校の児童数の合計は 1,977 人です。これらの施設にかかるフルコストは 412,787 千円です。

中学校の生徒数の合計は 1,153 人です。これらの施設にかかるフルコストは 268,784 千円です。

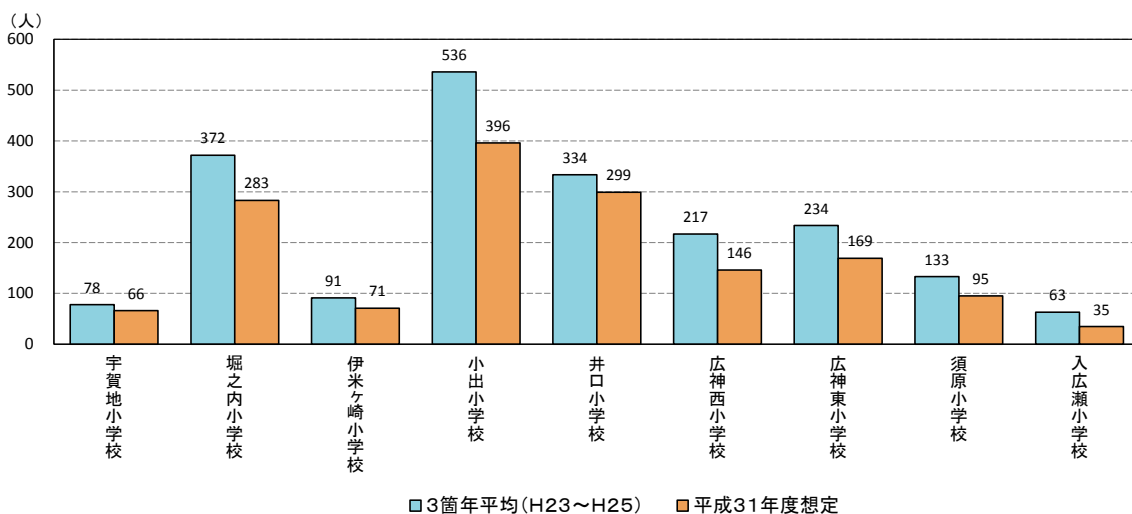
収入は給食費となっていますが、収入がゼロと表記されている学校の給食費については、共同調理場のある学校に含まれています。

図 4-6-1 学校の配置状況



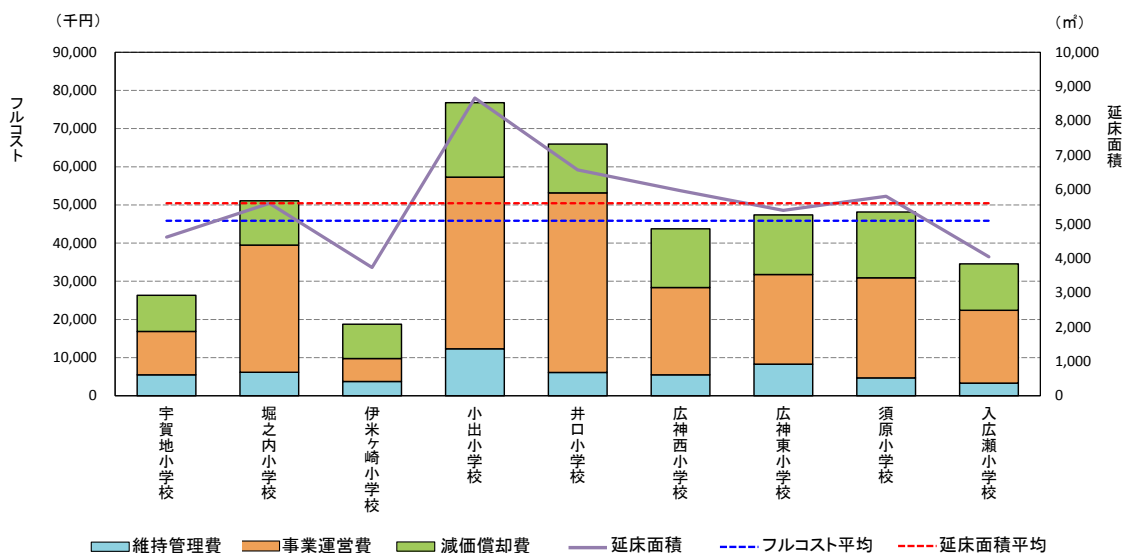
① 【学校】 小学校の状況

図 4-6-2 小学校の児童数の推移



小学校のうち、平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 箇年平均の児童数が最も多い施設は、小出小学校の 536 人であり、2 番目は堀之内小学校の 372 人です。最も児童数が少ない施設は、入広瀬小学校の 63 人であり、2 番目は宇賀地小学校の 78 人です。

図 4-6-3 小学校のフルコストと延床面積



小学校のうち、延床面積が最も広い施設は、小出小学校の 8,668 ㎡であり、2 番目は井口小学校の 6,574 ㎡です。また、小学校のうち、フルコストが最も高い施設は、小出小学校の 76,797 千円であり、2 番目は井口小学校の 65,935 千円です。

図 4-6-4 小学校の児童数とフルコスト

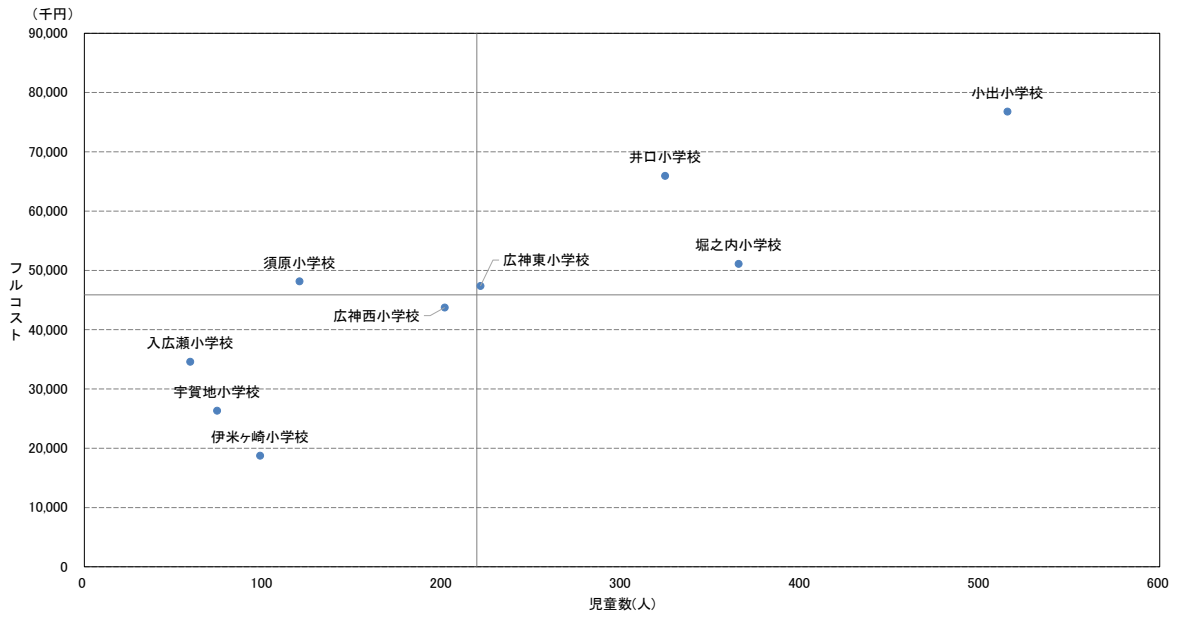
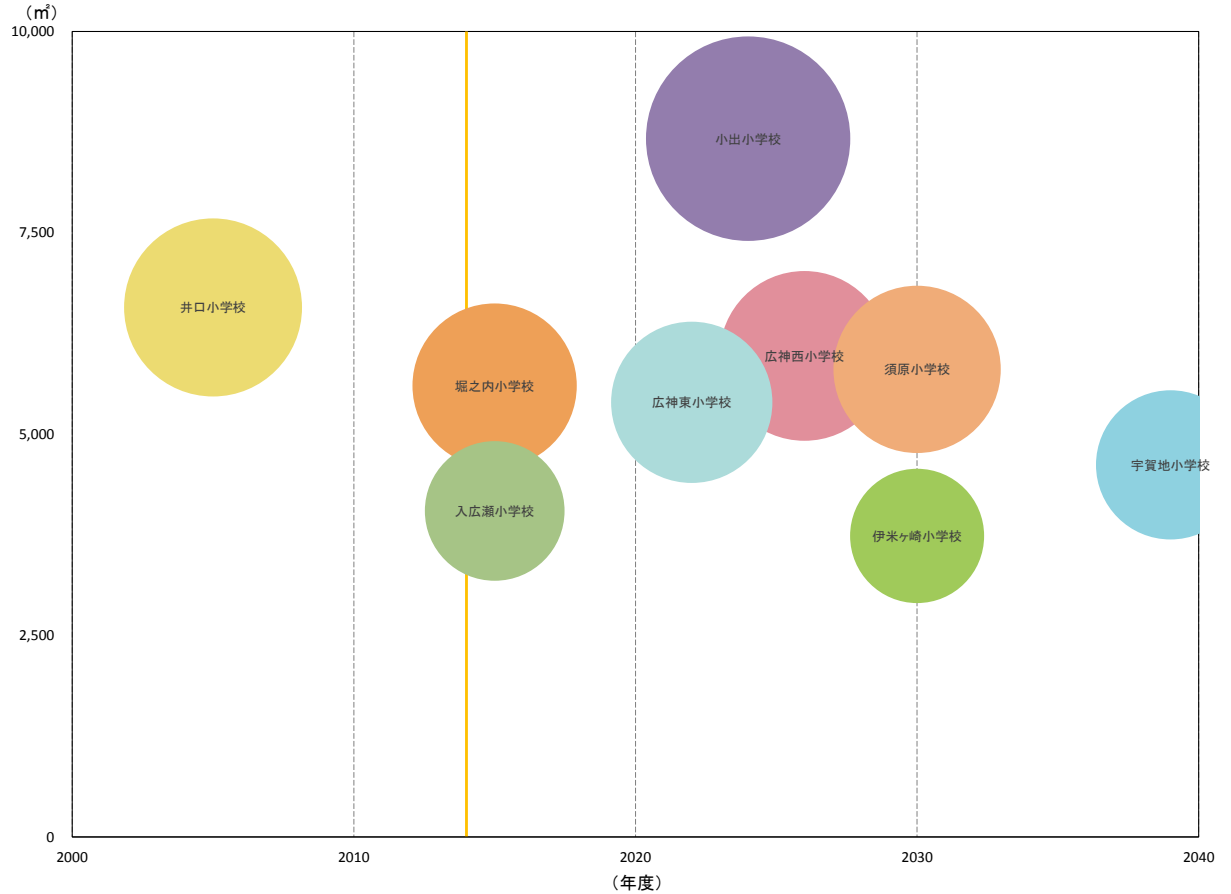


図 4-6-5 小学校の延床面積と耐用年数到来年度



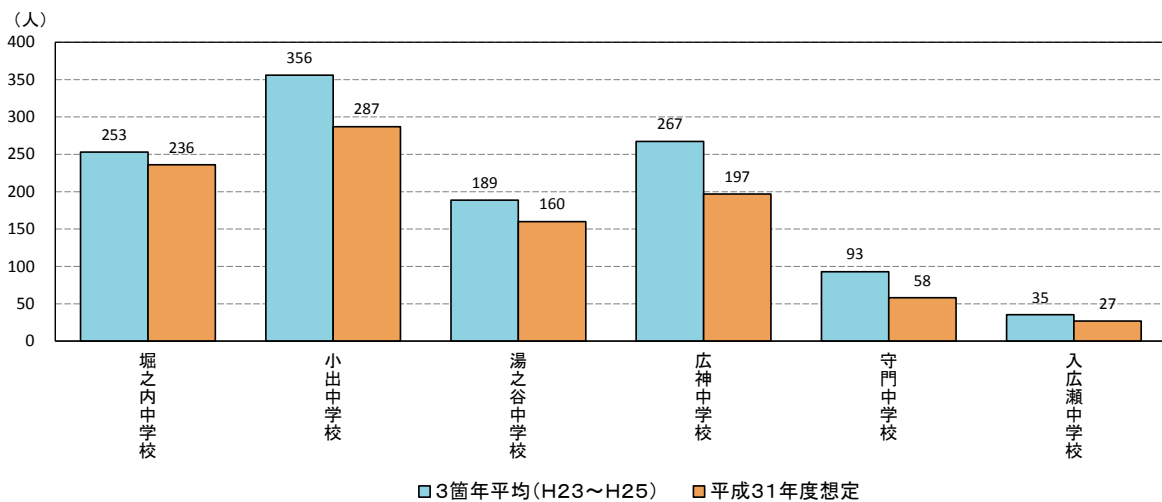
主要建物は昭和40年代から50年代に建設されたものが大半ですが、その中でも特に建設時期が古いのは、井口小学校（昭和33年度）です。そのため、老朽化対策が必要であり、学校施設の改修・建替が課題となっています（現在、井口小学校については新校舎建設中。平成28年度完成予定）。

一方で、年少人口（0歳～14歳）は、昭和55年（1980年）に本市の人口の21.7%を占めていましたが、平成22年（2010年）は12.9%に減少しており、さらに国立社会保障・人口問題研究所の試算では平成52年（2040年）には9.6%まで下落するとされ、少子高齢化の進行が予想されます。

したがって、学齢人口が減少していく傾向にあることから、文部科学省が平成27年（2015年）1月27日に公表した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」などを参考に、学校の統廃合や市民ニーズに合致した学校施設のあり方の検討が必要になっています。

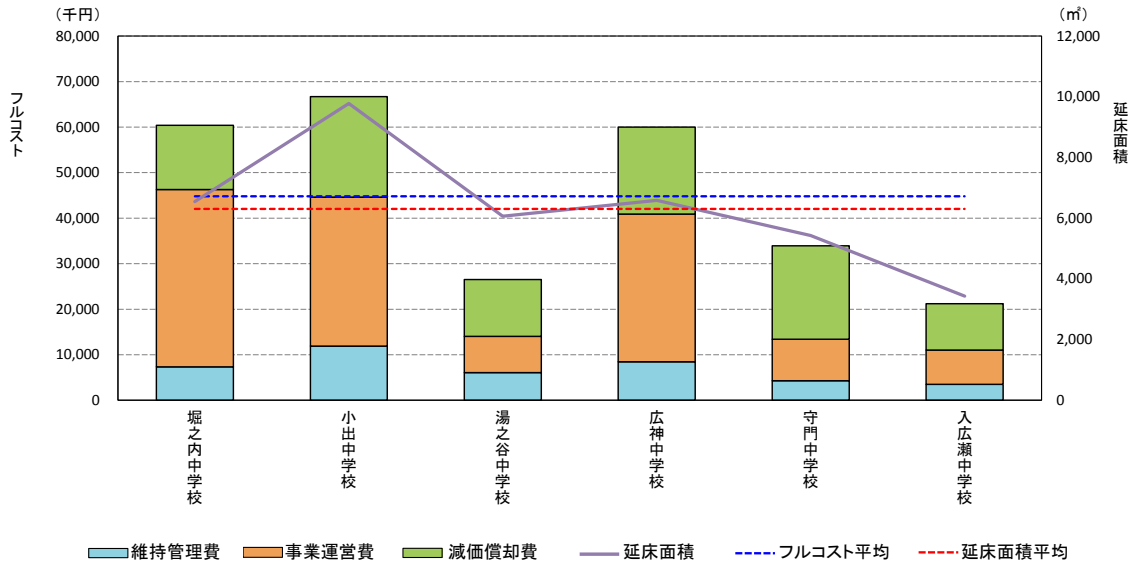
② 【学校】中学校の状況

図 4-6-6 中学校の生徒数の推移



中学校のうち、平成23年度から平成25年度までの3箇年平均の生徒数が最も多い施設は、小出中学校の356人であり、2番目は広神中学校の267人です。最も生徒数が少ない施設は、入広瀬中学校の35人であり、2番目は守門中学校の93人です。

図 4-6-7 中学校のフルコストと延床面積



中学校のうち、延床面積が最も広い施設は、小出中学校の 9,775 ㎡であり、2 番目は広神中学校の 6,588 ㎡です。また、中学校のうち、フルコストが最も高い施設は、小出中学校の 66,700 千円であり、2 番目は堀之内中学校の 60,396 千円です。

図 4-6-8 中学校の生徒数とフルコスト

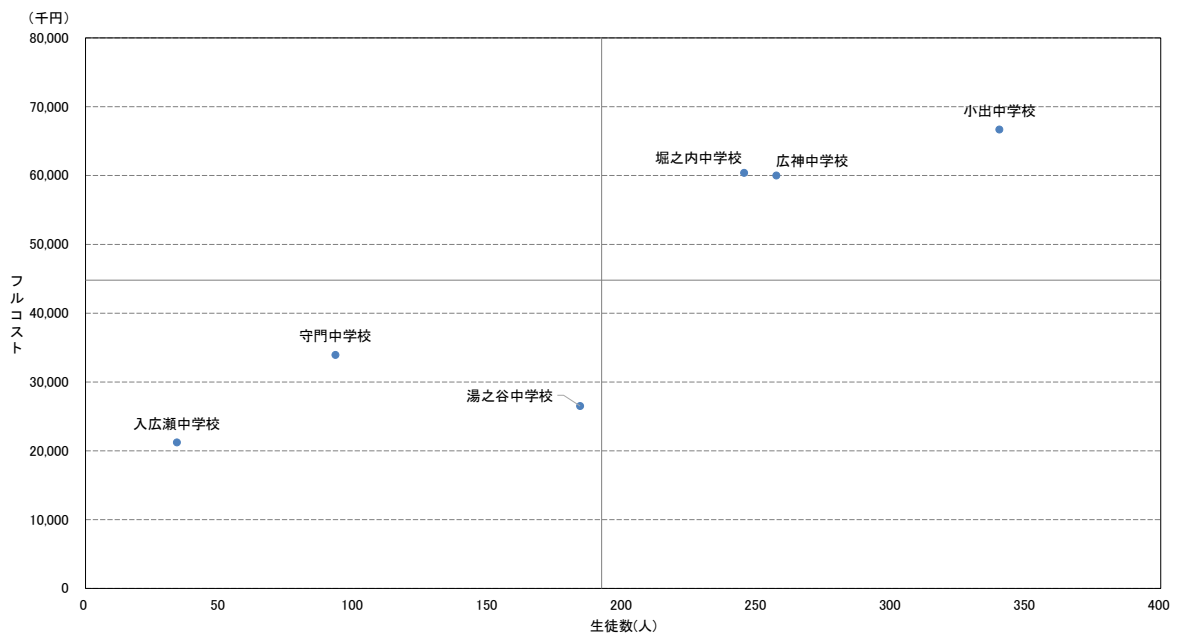
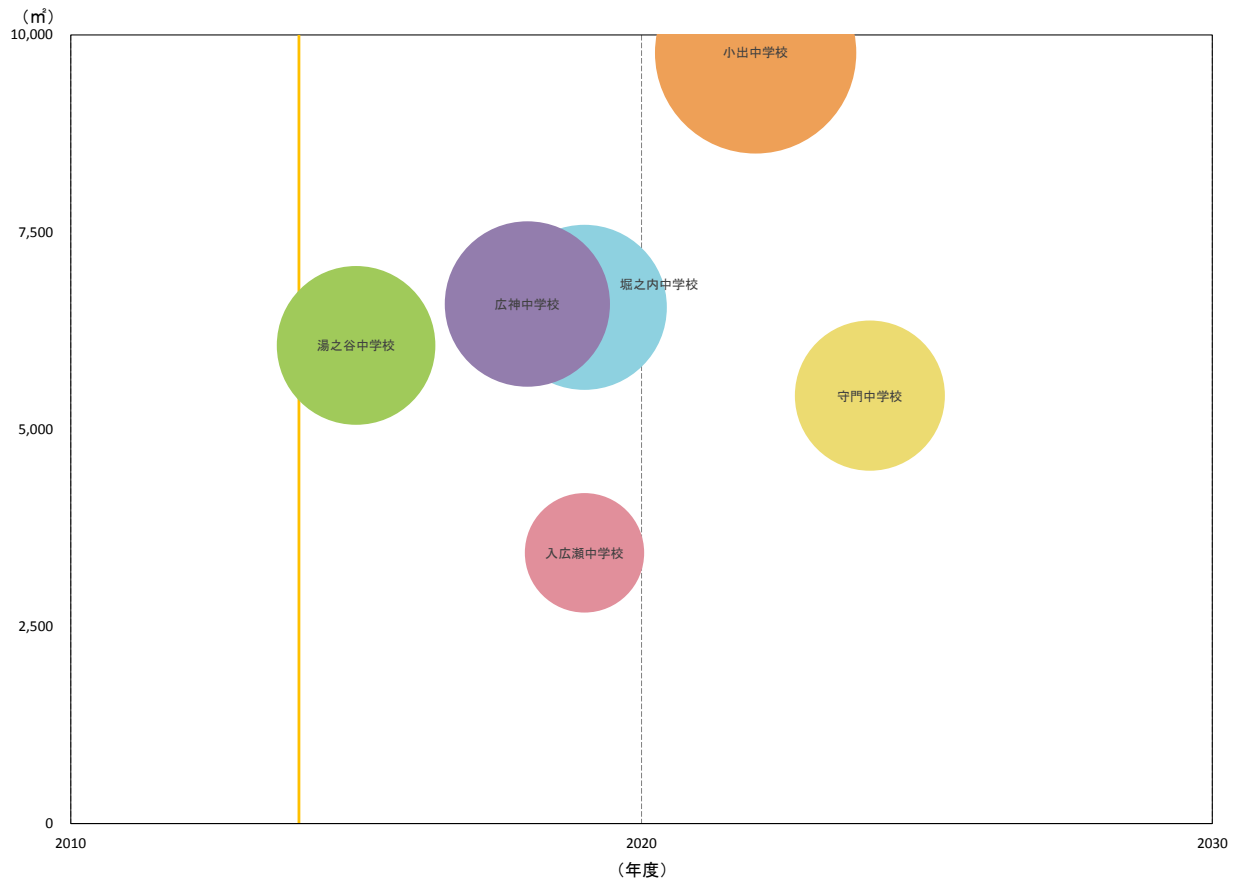


図 4-6-9 中学校の延床面積と耐用年数到来年度



主要建物は昭和 40 年代から 50 年代に建設されたものが大半ですが、その中でも特に建設時期が古いのは、湯之谷中学校（昭和 43 年度）です。

老朽化対策や少子化に伴う学校施設のあり方については、小学校同様、検討が必要となります。

7 幼稚園・保育園の状況

表 4-7-1 幼稚園・保育園の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	耐用年数 到来年度	未耐震 施設	主要 建物構造
幼稚園・保育園	堀之内	1	堀之内なかよし保育園	直営	2,922	平成14年度	平成61年度		鉄筋コンクリート造
	小出	2	ひがし保育園	直営	552	昭和52年度	平成36年度	※	鉄筋コンクリート造
	小出	3	伊米ヶ崎保育園	直営	749	昭和55年度	平成39年度		鉄筋コンクリート造
	小出	4	佐梨保育園	直営	1,168	平成10年度	平成57年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	5	つくし保育園	直営	2,371	平成3年度	平成50年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	6	ひかり保育園	直営	696	昭和61年度	平成45年度		鉄筋コンクリート造
	広神	7	ふたば西保育園	直営	1,712	平成7年度	平成41年度		鉄骨造
	広神	8	ふたば東保育園	直営	1,620	平成5年度	平成39年度		鉄骨造
	守門	9	守門保育園	直営	791	昭和46年度	平成30年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造
	守門	10	守門幼稚園	直営	526	昭和48年度	平成32年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	11	入広瀬幼稚園	直営	539	昭和51年度	平成35年度		鉄筋コンクリート造

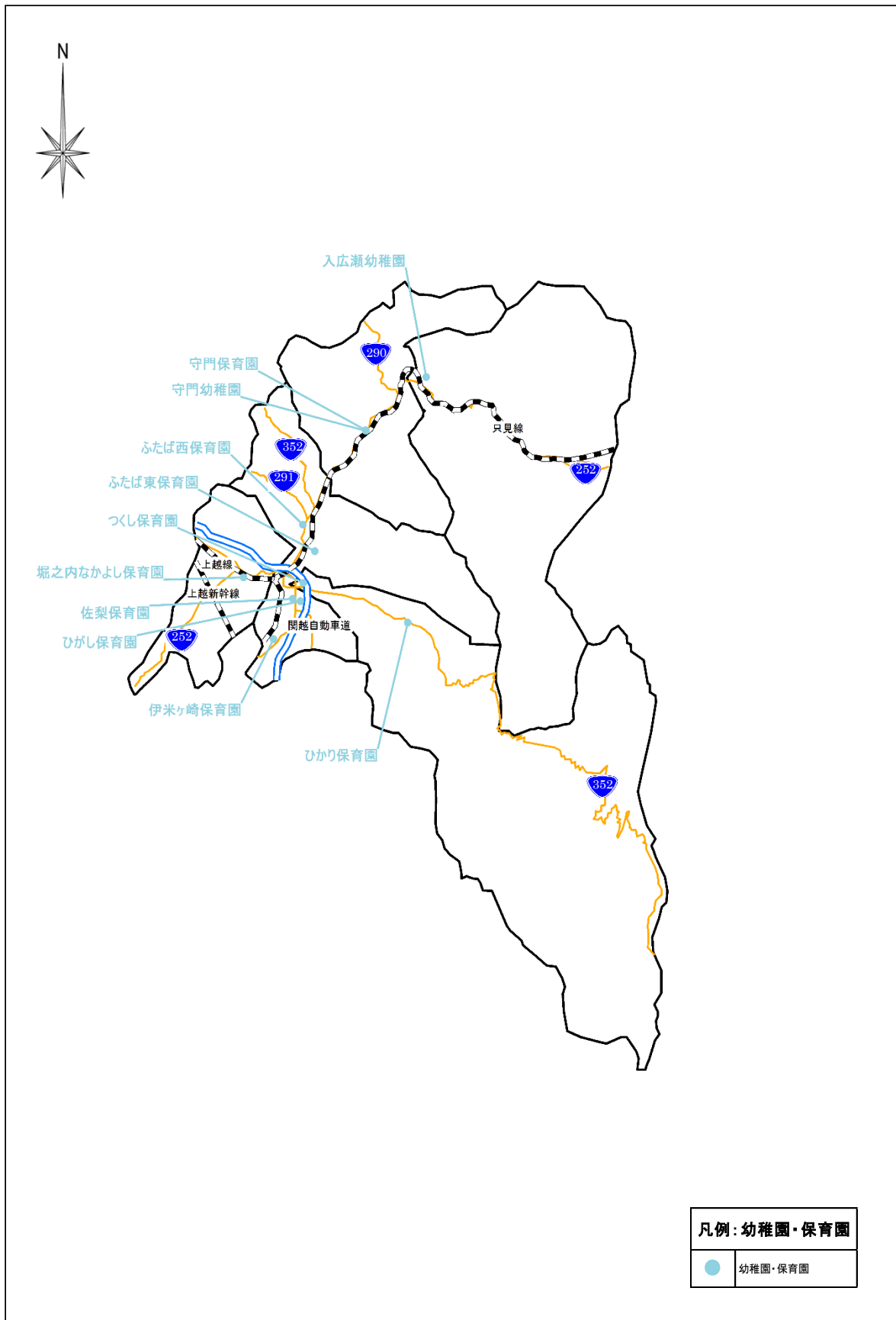
幼稚園・保育園は、市内に 11 施設あり、延床面積は合計 13,646 ㎡です。

表 4-7-2 幼稚園・保育園の利用度とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	園児数 (人)	園児 1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	園児 1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
幼稚園・保育園											
堀之内なかよし保育園	9,552	5,464	15,017	234	64,176	8,679	23,696	101,268	0	23,696	—
ひがし保育園	2,606	5,264	7,871	45	174,924	1,640	9,512	211,383	0	9,512	—
伊米ヶ崎保育園	3,551	5,249	8,800	51	172,565	2,225	11,026	216,207	0	11,026	—
佐梨保育園	3,392	5,307	8,699	69	126,081	3,468	12,168	176,356	0	12,168	—
つくし保育園	6,694	5,338	12,032	152	79,161	7,040	19,073	125,483	0	19,073	—
ひかり保育園	2,037	5,235	7,272	23	316,216	2,068	9,341	406,133	0	9,341	—
ふたば西保育園	6,387	5,347	11,735	114	102,944	6,583	18,318	160,692	0	18,318	—
ふたば東保育園	7,174	5,401	12,575	108	116,439	3,819	16,395	151,809	0	16,395	—
守門保育園	4,500	5,346	9,846	50	196,929	2,350	12,196	243,936	0	12,196	—
守門幼稚園	1,356	5,209	6,565	15	437,728	1,548	8,114	540,990	0	8,114	—
入広瀬幼稚園	2,034	5,193	7,228	21	344,212	1,600	8,829	420,442	0	8,829	—
計	49,289	58,357	107,646	882	—	41,027	148,674	—	0	148,674	—

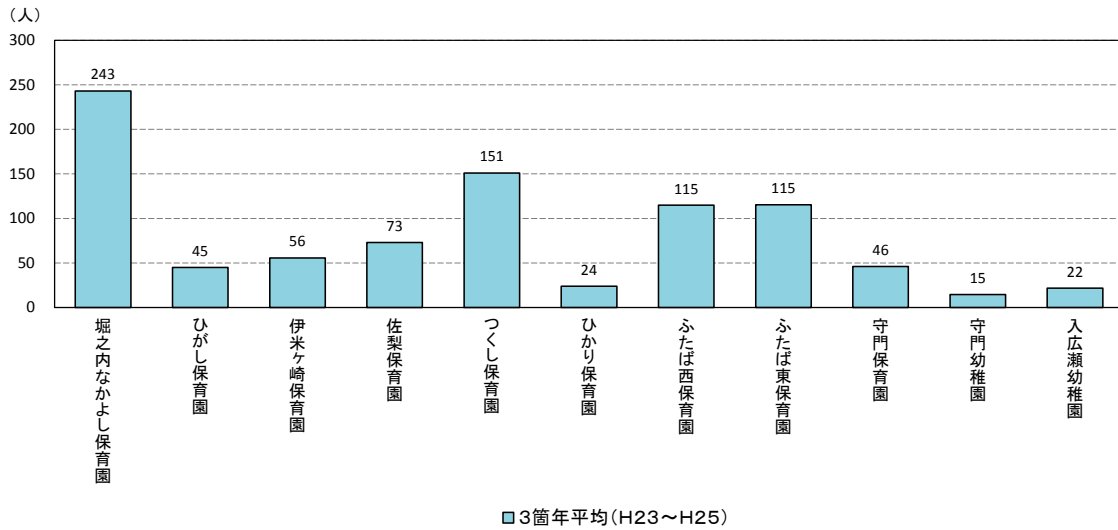
幼稚園・保育園の園児数の合計は 882 人です。これらの施設にかかるフルコストは 148,674 千円です。

図 4-7-1 幼稚園・保育園の配置状況



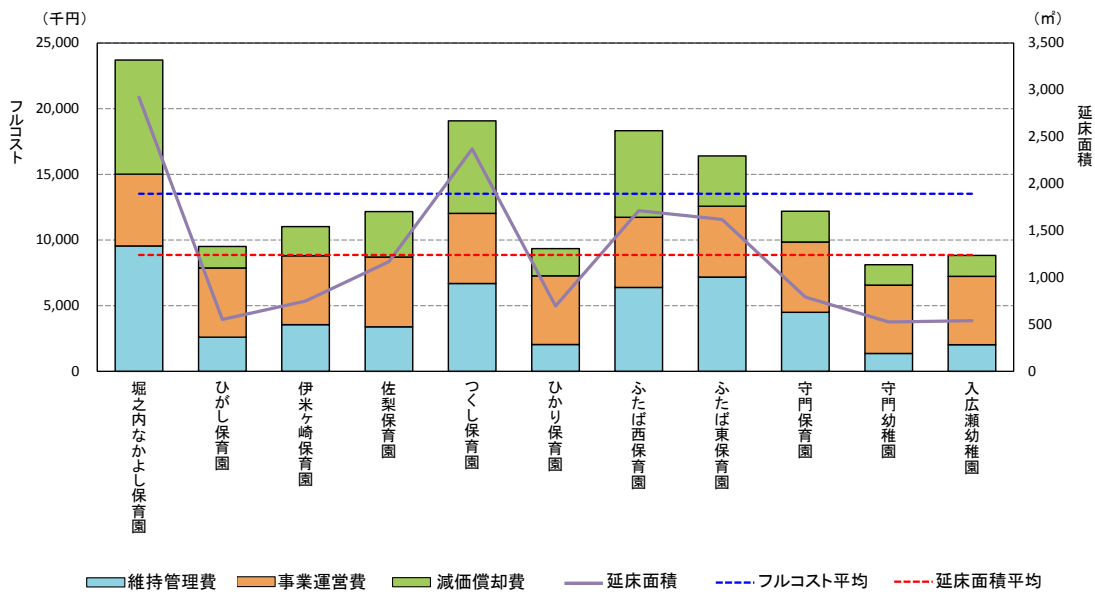
① 〔幼稚園・保育園〕 幼稚園・保育園の状況

図 4-7-2 幼稚園・保育園の園児数



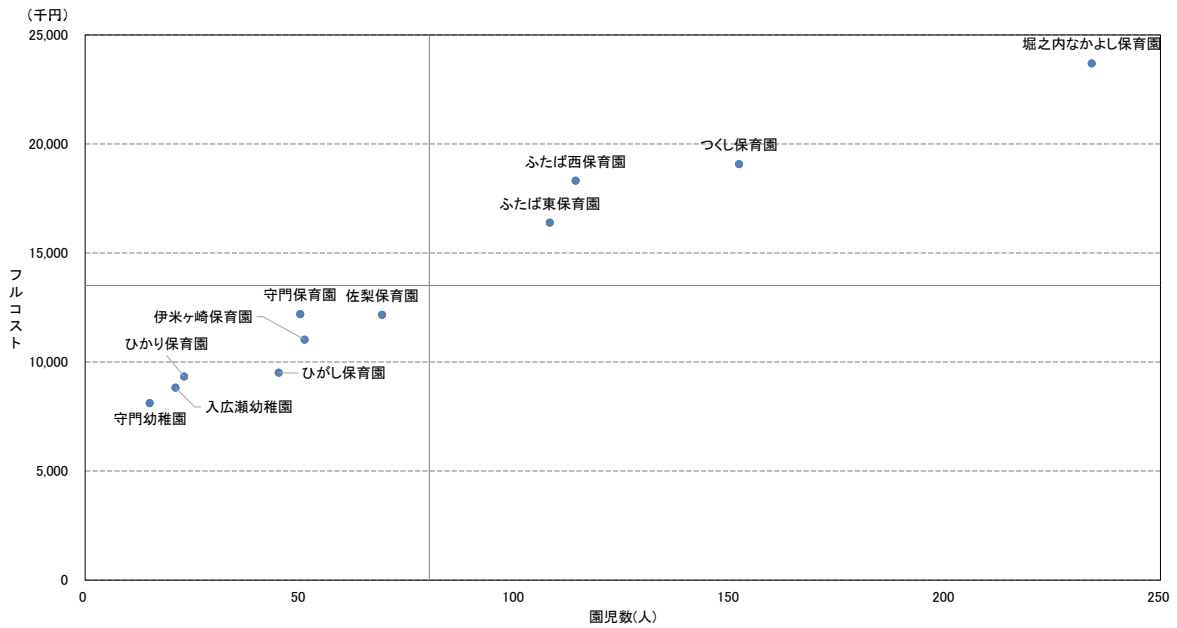
幼稚園・保育園のうち、平成23年度から平成25年度までの3箇年平均の園児数が最も多い施設は、堀之内なかよし保育園の243人であり、2番目はつくし保育園の151人です。最も園児数が少ない施設は、守門幼稚園の15人であり、2番目は入広瀬幼稚園の22人です。

図 4-7-3 幼稚園・保育園のフルコストと延床面積



幼稚園・保育園のうち、延床面積が最も広い施設は、堀之内なかよし保育園の2,922 m²であり、2番目はつくし保育園の2,371 m²です。また、幼稚園・保育園のうち、フルコストが最も高い施設は、堀之内なかよし保育園の23,696千円であり、2番目はつくし保育園の19,073千円です。

図 4-7-4 幼稚園・保育園の園児数とフルコスト



幼稚園・保育園ともに主要建物は、平成になって建てられたものもありますが、建設時期は昭和40年代から昭和60年代が多く、最も古い施設は守門幼稚園（昭和46年度）、最も新しい施設は堀之内なかよし保育園（平成14年度）です。なお、守門幼稚園については守門保育園とあわせて認定こども園へ移行することとなっており、現在園舎を建設中で、完成後旧園舎は取り壊すこととなっています。

園児数は園によって偏りがあり、最も園児数が多いのは堀之内なかよし保育園です。

また、園児1人当たりのフルコストは園によって差があり、園児数が少ない園のフルコストが高くなる傾向にあります。

なお、幼稚園に対して保育園の数が多くなっています。また市内においては、待機児童は生じていません。年少人口（0歳～14歳）の減少に伴い、幼稚園・保育園ともに園児数も減少していくことが予想されるため、少子化に伴う施設保有量の検討が必要となります。

8 幼児・児童施設の状況

表 4-8-1 幼児・児童施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
幼児・児童施設	堀之内	1	堀之内子育て支援センター	直営	1,057	昭和53年度	平成37年度	※	鉄筋コンクリート造
	小出	2	小出子育て支援センター	直営	622	平成16年度	平成38年度		木造
	広神	3	よつば児童館	直営	264	平成16年度	平成50年度		鉄骨造
	入広瀬	4	入広瀬こどもの家	直営	483	昭和35年度	平成19年度	※	鉄筋コンクリート造

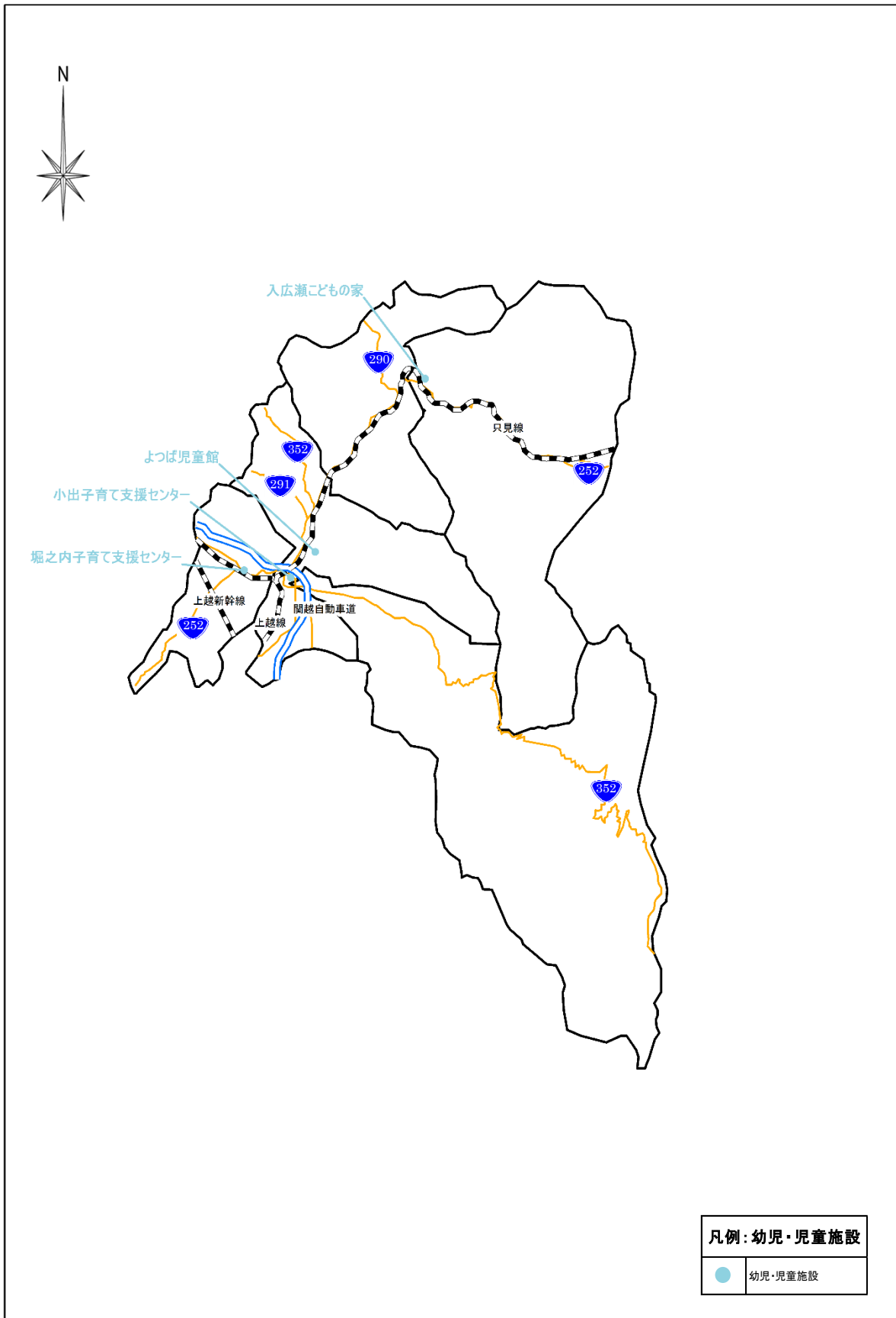
幼児・児童施設は、市内に4施設あり、延床面積は合計2,426㎡です。

表 4-8-2 幼児・児童施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
幼児・児童施設											
堀之内子育て支援センター	2,390	2,163	4,554	3,778	1,205	3,139	7,693	2,036	0	7,693	—
小出子育て支援センター	2,437	4,431	6,869	16,652	412	2,573	9,442	567	0	9,442	—
よつば児童館	1,339	5,284	6,624	4,534	1,460	632	7,256	1,600	0	7,256	—
入広瀬こどもの家	1,835	4,726	6,562	3,900	1,682	0	6,562	1,682	0	6,562	—
計	8,003	16,606	24,609	28,864	—	6,345	30,955	—	0	30,955	—

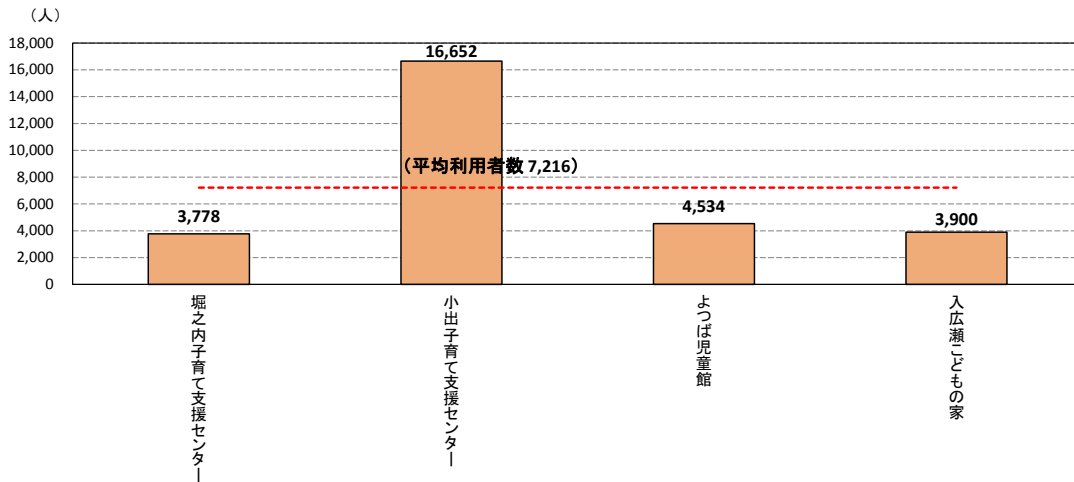
幼児・児童施設の利用者数の合計は28,864人です。これらの施設にかかるフルコストは30,955千円です。

図 4-8-1 幼児・児童施設の配置状況



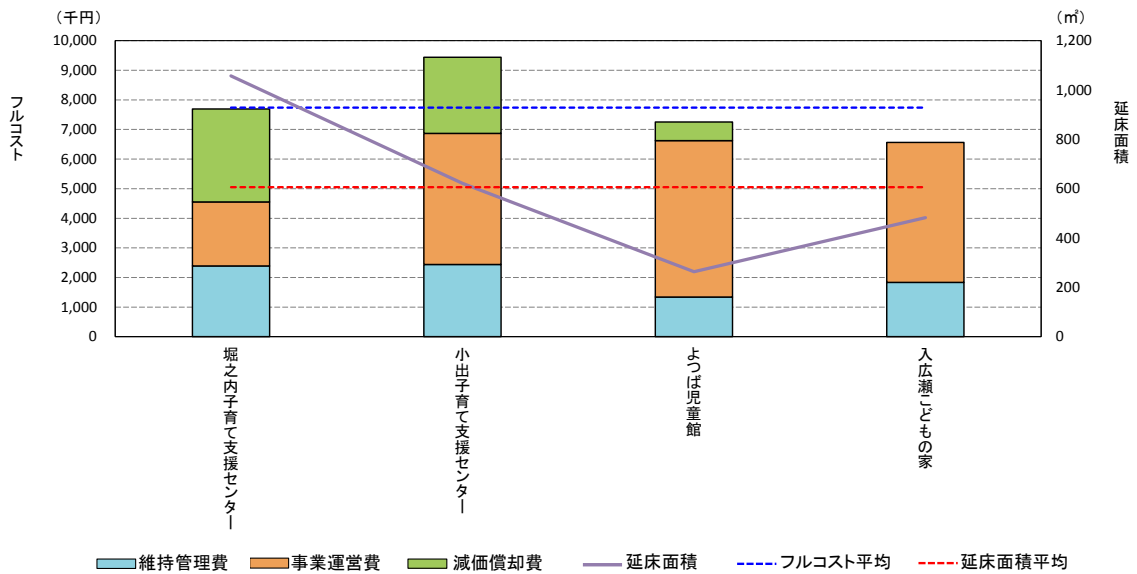
① 【幼児・児童施設】 幼児・児童施設の状況

図 4-8-2 幼児・児童施設の利用者数(平成 25 年度)



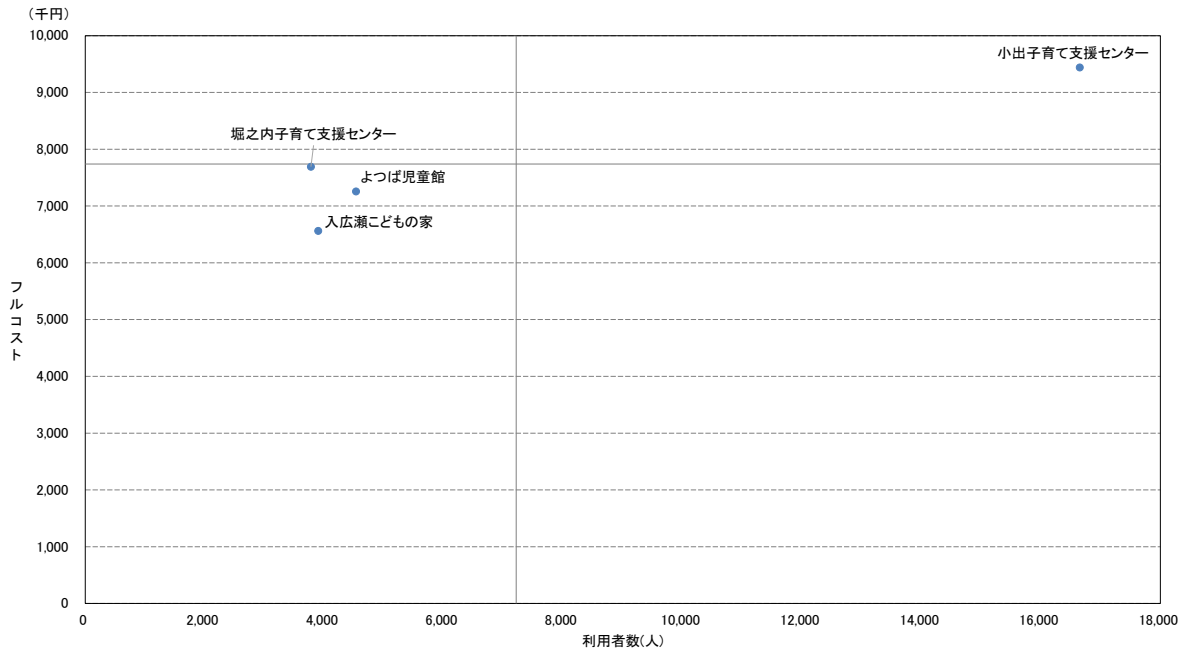
幼児・児童施設のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、小出子育て支援センターの 16,652 人であり、2 番目はよつば児童館の 4,534 人です。

図 4-8-3 幼児・児童施設のフルコストと延床面積



幼児・児童施設のうち、延床面積が最も広い施設は、堀之内子育て支援センターの 1,057 ㎡であり、2 番目は小出子育て支援センターの 622 ㎡です。また、幼児・児童施設のうち、フルコストが最も高い施設は、小出子育て支援センターの 9,442 千円であり、2 番目は堀之内子育て支援センターの 7,693 千円です。

図 4-8-4 幼児・児童施設の利用者数とフルコスト



幼児・児童施設の利用者数は、小出子育て支援センターが他の施設と比較して多い状況となっています。

平成 27 年度において、堀之内子育て支援センターが廃止予定であり、平成 28 年度には入広瀬こどもの家を取り壊し予定です。

また、よつば児童館は学童保育を開設しています。

少子高齢化に伴い、幼児・児童施設についても、今後は利用者の減少が予想されます。

9 高齢福祉施設の状況

表 4-9-1 高齢福祉施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
高齢福祉施設	堀之内	1	堀之内老人憩の家	指定管理者	507	昭和48年度	平成7年度	※	木造
	小出	2	小出老人福祉センター	直営	905	昭和56年度	平成40年度		鉄筋コンクリート造
	小出	3	伊米ヶ崎デイサービスセンター	指定管理者	312	平成11年度	平成61年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	4	湯之谷老人福祉センター	直営	909	昭和56年度	平成40年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	5	湯之谷デイサービスセンター	指定管理者	680	平成8年度	平成58年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	6	養護老人ホーム南山荘	直営	1,891	昭和56年度	平成40年度	※	鉄筋コンクリート造
	広神	7	広神老人福祉センター	指定管理者	622	昭和57年度	平成41年度		鉄筋コンクリート造
	広神	8	デイサービスセンターひまわり	指定管理者	1,103	平成15年度	平成53年度		鉄骨造
	広神	9	高齢者生活支援ハウス	指定管理者	871	平成18年度	平成65年度		鉄筋コンクリート造
	広神	10	広神老人憩の家	直営	299	平成9年度	平成31年度		木造
	守門	11	守門高齢者センター	直営	877	昭和61年度	平成45年度		鉄筋コンクリート造
	守門	12	特別養護老人ホームあぶるま苑	指定管理者	3,182	平成12年度	平成59年度		鉄筋コンクリート造
	守門	13	守門健康センター(介護福祉室)	指定管理者	1,273	平成6年度	平成56年度		鉄筋コンクリート造
その他福祉施設	小出	1	小出ボランティアセンター	指定管理者	1,450	平成7年度	平成57年度		鉄筋コンクリート造

高齢福祉施設は、市内に13施設あり、延床面積は合計13,431㎡です。

その他福祉施設は、市内に1施設あり、延床面積は合計1,450㎡です。

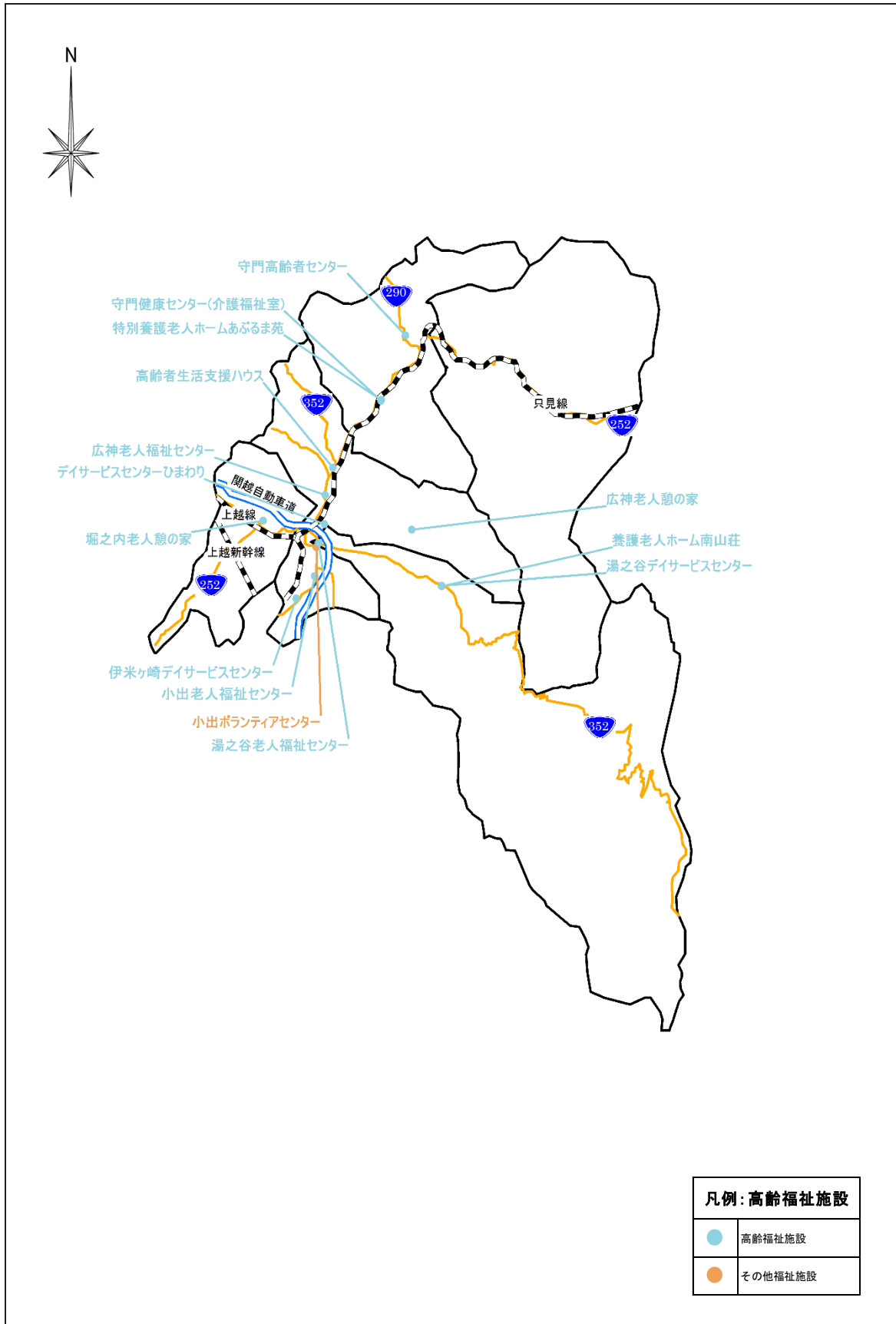
表 4-9-2 高齢福祉施設の利用率とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)	
高齢福祉施設												
堀之内老人憩の家	1,013	3,027	4,040	2,728	1,480	0	4,040	1,480	92	3,947	3,900	
小出老人福祉センター	1,263	5,286	6,549	6,640	986	2,688	9,238	1,391	82	9,155	—	
伊米ヶ崎デイサービスセンター	12,636	1,021	13,657	6,344	2,152	1,468	15,125	2,384	66,028	-50,903	0	
湯之谷老人福祉センター	2,686	1,216	3,902	1,147	3,402	2,699	6,602	5,755	1,081	5,520	—	
湯之谷デイサービスセンター	16,392	1,240	17,633	6,553	2,690	2,446	20,079	3,064	66,376	-46,296	0	
養護老人ホーム南山荘	18,981	26,274	45,255	18,321	2,470	5,368	50,624	2,763	33,200	17,423	—	
広神老人福祉センター	2,578	2,074	4,652	3,155	1,474	1,717	6,370	2,019	19	6,351	4,500	
デイサービスセンターひまわり	16,997	29,867	46,865	8,828	5,308	2,618	49,483	5,605	128,712	-79,228	0	
高齢者生活支援ハウス	904	5,566	6,471	3,649	1,773	2,968	9,439	2,586	461	8,978	6,000	
広神老人憩の家	3,887	2,513	6,401	2,862	2,236	1,238	7,639	2,669	722	6,917	—	
守門高齢者センター	5,593	5,165	10,758	7,142	1,506	2,497	13,255	1,856	1,076	12,179	—	
特別養護老人ホームあぶるま苑	30,278	27,612	57,890	18,577	3,116	10,198	68,088	3,665	210,241	-142,152	0	
守門健康センター(介護福祉室)	20,373	2,310	22,684	8,438	2,688	4,198	26,882	3,185	112,439	-85,556	100	
計	133,585	113,176	246,762	94,384	—	40,107	286,869	—	620,534	-333,684	14,500	
その他福祉施設												
小出ボランティアセンター	5,292	0	5,292	29,123	181	5,486	10,778	370	615	10,162	3,600	
計	5,292	0	5,292	29,123	—	5,486	10,778	—	615	10,162	3,600	

高齢福祉施設の延利用者数の合計は94,384人です。これらの施設にかかるフルコストは286,869千円です。

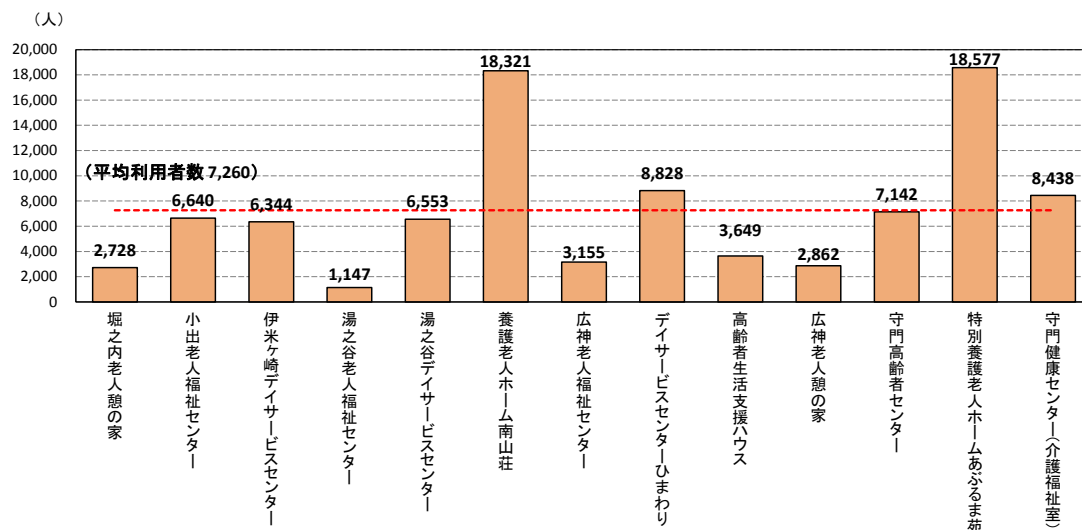
その他福祉施設の延利用者数は29,123人です。また、フルコストは10,778千円です。

図 4-9-1 高齢福祉施設の配置状況



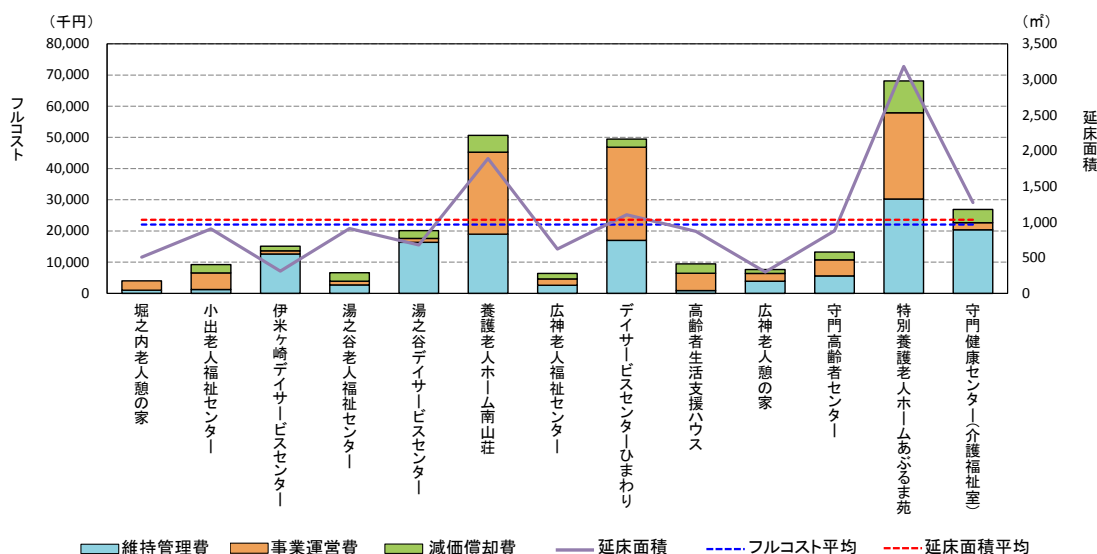
① 【高齢福祉施設】 高齢福祉施設の状況

図 4-9-2 高齢福祉施設の利用者数(平成 25 年度)



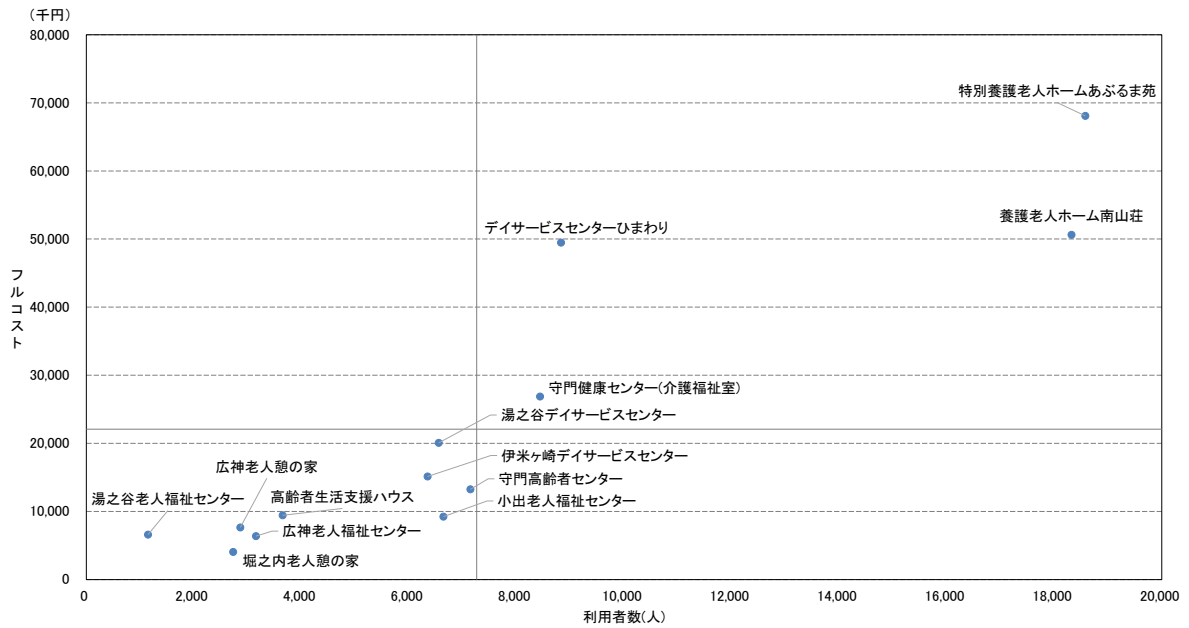
高齢福祉施設のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、特別養護老人ホームあぶるま苑の 18,577 人であり、2 番目は養護老人ホーム南山荘の 18,321 人です。最も利用者数が少ない施設は、湯之谷老人福祉センターの 1,147 人であり、2 番目は堀之内老人憩の家の 2,728 人です。

図 4-9-3 高齢福祉施設のフルコストと延床面積



高齢福祉施設のうち、延床面積が最も広い施設は、特別養護老人ホームあぶるま苑の 3,182 ㎡であり、2 番目は養護老人ホーム南山荘の 1,891 ㎡です。また、高齢福祉施設のうち、フルコストが最も高い施設は、特別養護老人ホームあぶるま苑の 68,088 千円であり、2 番目は養護老人ホーム南山荘の 50,624 千円です。

図 4-9-4 高齢福祉施設の利用者数とフルコスト



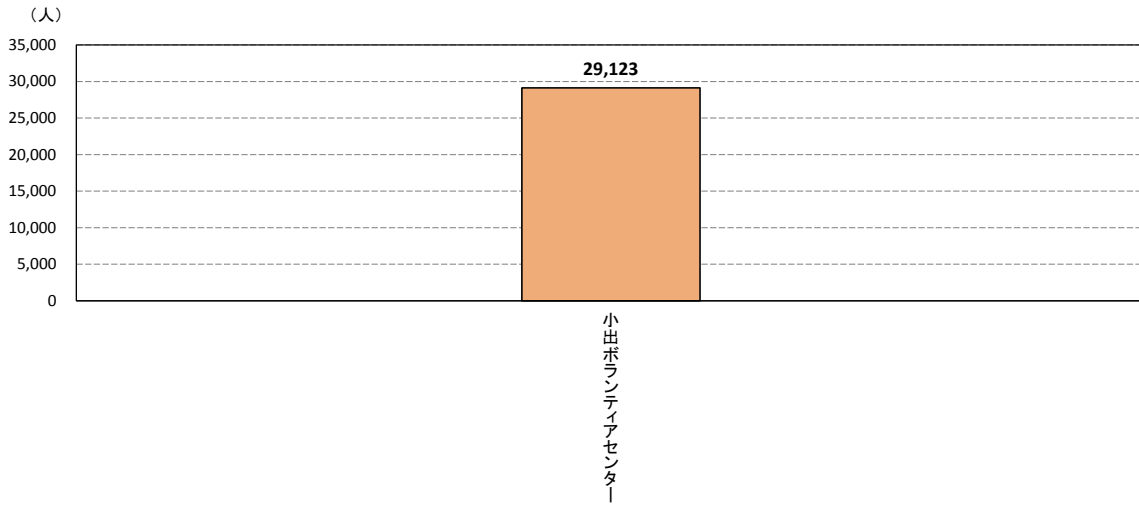
高齢福祉施設は、最も古い堀之内老人憩の家（昭和 48 年度）から最も新しい高齢者生活支援ハウス（平成 18 年度）まで建築年度に差があります。

また、半数以上の施設で指定管理者制度が導入されています。

なお、老人憩の家と老人福祉センターが並存していますが、両者の役割は必ずしも明確ではなく、広神地域にはそれぞれが存在しています。

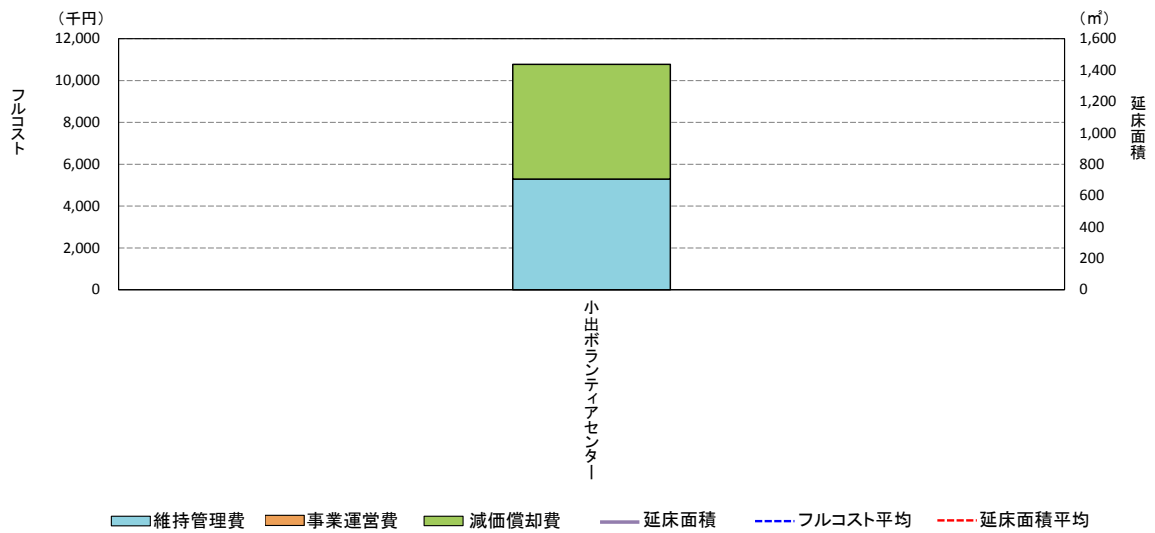
② 【高齢福祉施設】 その他福祉施設の状況

図 4-9-5 その他福祉施設の利用者数(平成 25 年度)



小出ボランティアセンターの年間入場者数は、29,123 人です。

図 4-9-6 その他福祉施設のフルコストと延床面積



小出ボランティアセンターの延床面積は、1,450 ㎡です。また、フルコストは 10,778 千円です。

10 障害福祉施設の状況

表 4-10-1 障害福祉施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
障害福祉施設	小出	1	わかあゆ社	指定管理者	591	昭和51年度	平成38年度	※	鉄筋コンクリート造
	広神	2	ひろかみ工芸	指定管理者	674	昭和44年度	平成31年度	※	鉄筋コンクリート造

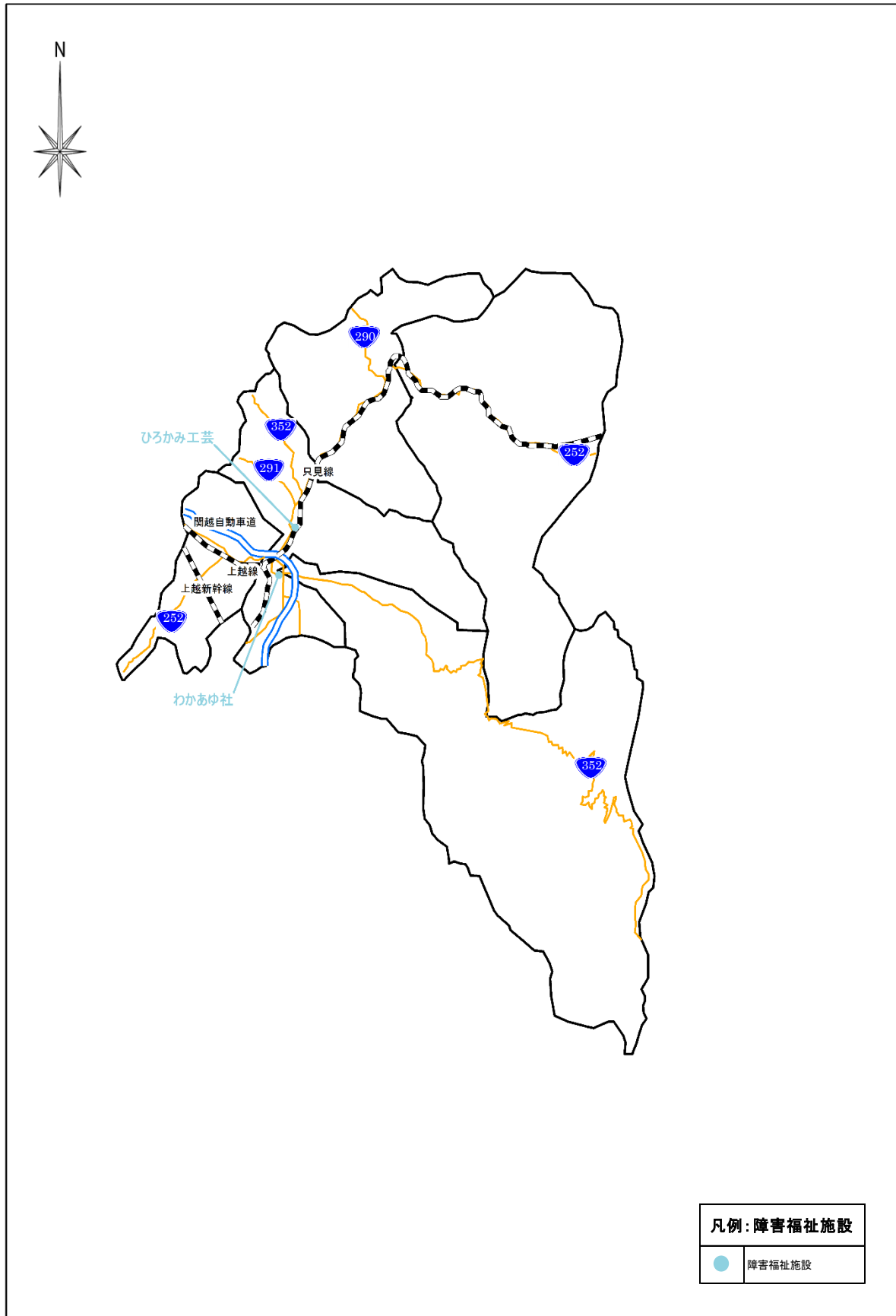
障害福祉施設は、市内に2施設あり、延床面積は合計1,265㎡です。

表 4-10-2 障害福祉施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
障害福祉施設											
わかあゆ社	2,453	1,602	4,056	5,924	684	3,511	7,568	1,277	41,118	-33,549	0
ひろかみ工芸	1,021	8,090	9,111	5,700	1,598	2,426	11,538	2,024	56,581	-45,042	0
計	3,475	9,693	13,168	11,624	—	5,938	19,106	—	97,699	-78,592	0

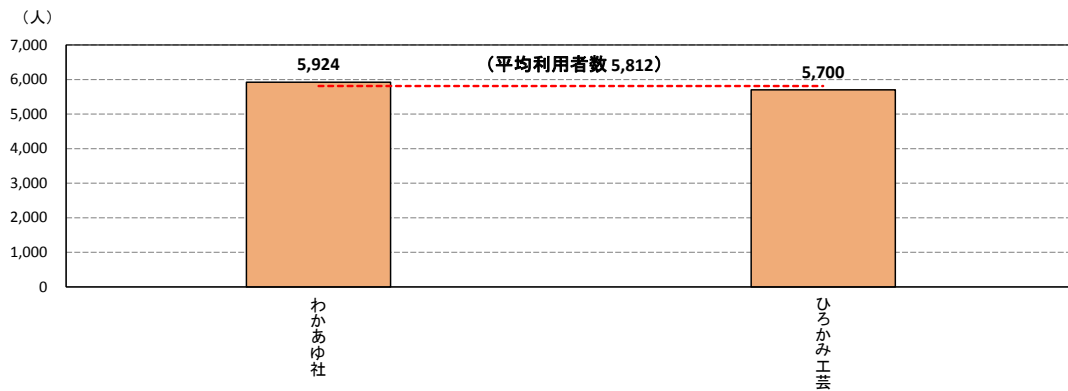
障害福祉施設の利用者数の合計は11,624人です。これらの施設にかかるフルコストは19,106千円です。

図 4-10-1 障害福祉施設の配置状況



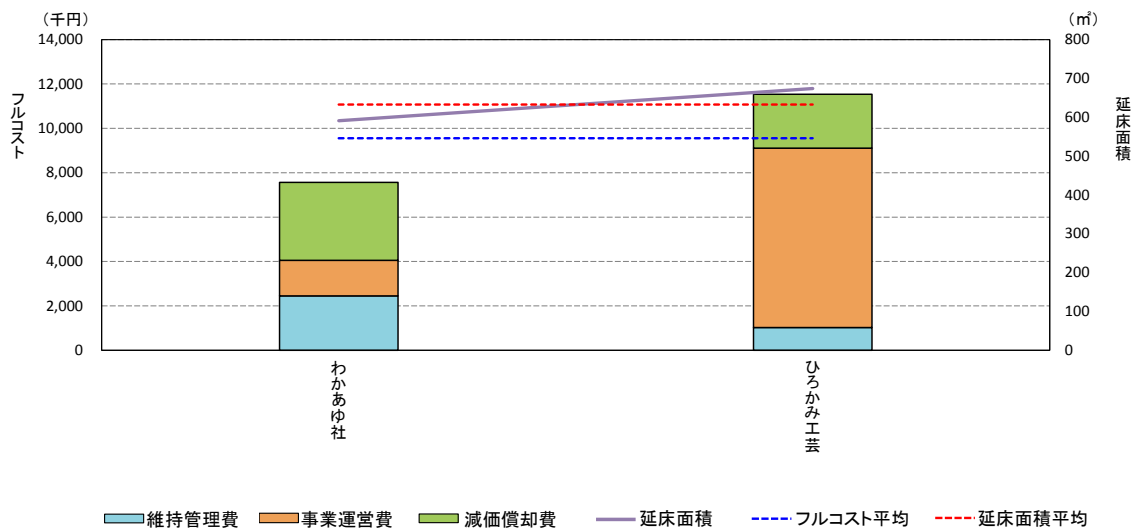
① 〔障害福祉施設〕 障害福祉施設の状況

図 4-10-2 障害福祉施設の利用者数(平成 25 年度)



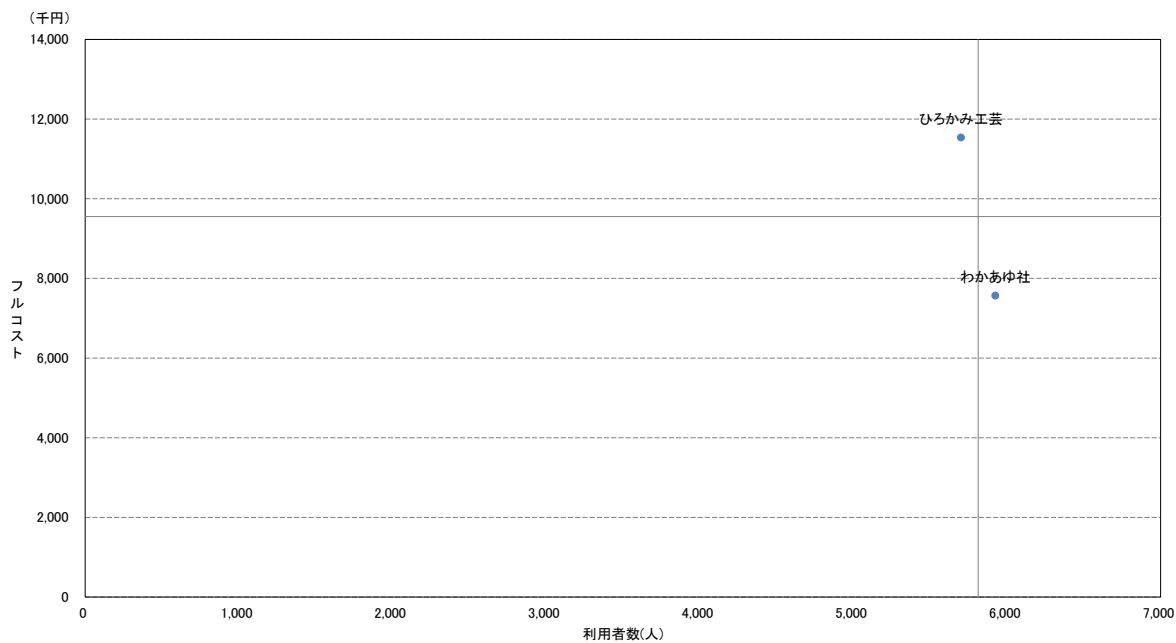
障害福祉施設のうち、年間の利用者数が最も多い施設は、わかあゆ社の 5,924 人です。

図 4-10-3 障害福祉施設のフルコストと延床面積



障害福祉施設のうち、延床面積が最も広い施設は、ひろかみ工芸の 674 ㎡です。また、障害福祉施設のうち、フルコストが最も高い施設は、ひろかみ工芸の 11,538 千円です。

図 4-10-4 障害福祉施設の利用者数とフルコスト



わかあゆ社は小出地域に設置され、ひろかみ工芸は広神地域に設置されていますが、ともに利用者数に大きな差はなく、指定管理者制度を導入し運営しています。

なお、両施設の主要建物建築年度はわかあゆ社が昭和 51 年度、ひろかみ工芸が昭和 44 年度です。

1 1 保健施設の状況

表 4-11-1 保健施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物 建築年度	耐用年数 到来年度	未耐震 施設	主要 建物構造
保健センター	湯之谷	1	湯之谷保健センター	直営	764	平成6年度	平成53年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	守門	2	守門健康センター(健康増進室)	直営	1,701	平成6年度	平成56年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	3	入広瀬保健センター	直営	1,427	平成15年度	平成65年度		鉄骨鉄筋コンクリート造

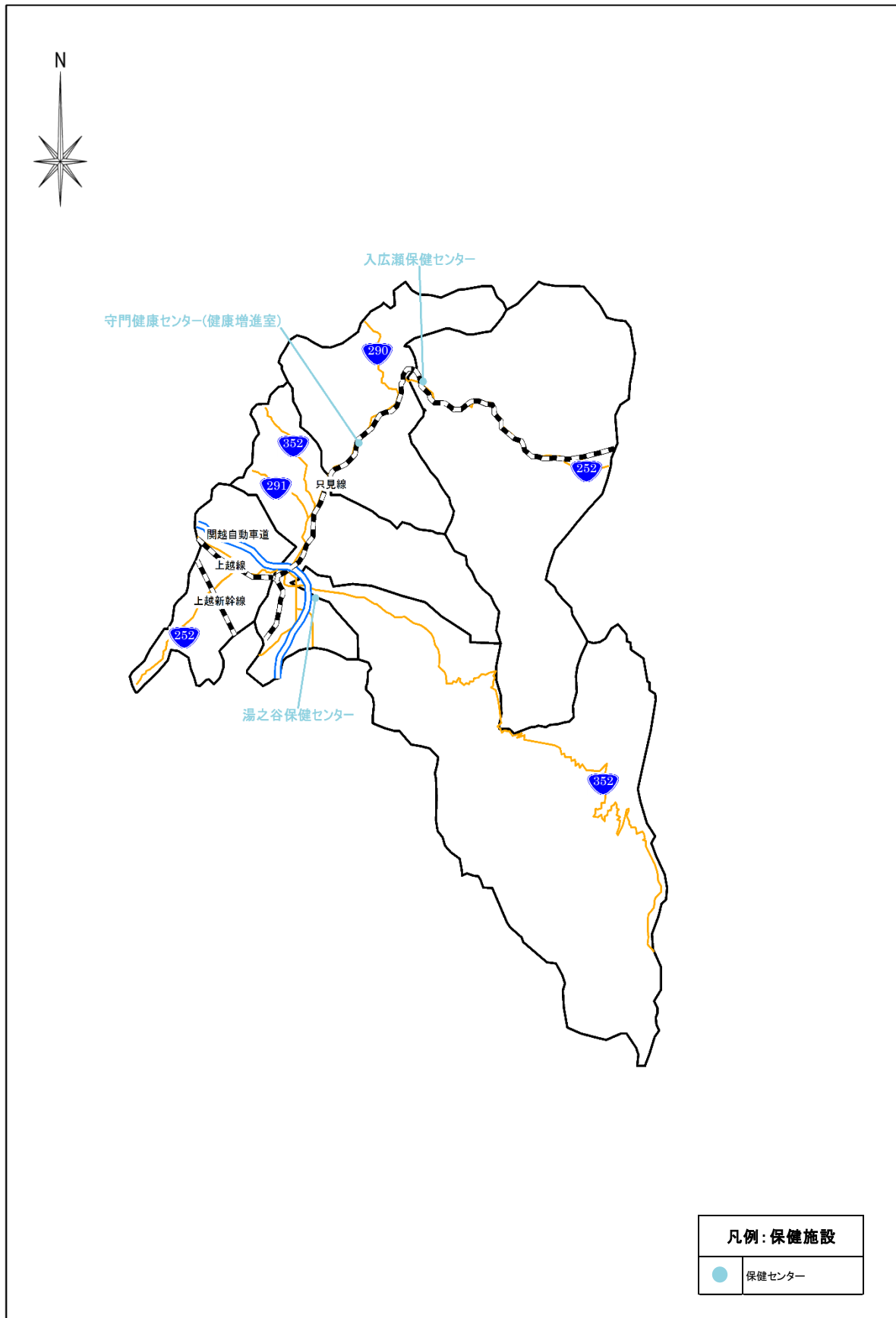
保健センターは、市内に3施設あり、延床面積は合計3,892㎡です。

表 4-11-2 保健施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト 収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
保健センター											
湯之谷保健センター	367	0	367	2,160	170	3,398	3,765	1,743	47	3,718	—
守門健康センター(健康増進室)	2,798	0	2,798	1,303	2,148	6,259	9,058	6,952	80	8,978	—
入広瀬保健センター	2,358	0	2,358	1,844	1,278	6,706	9,065	4,916	1	9,063	—
計	5,525	0	5,525	5,307	—	16,364	21,890	—	129	21,760	—

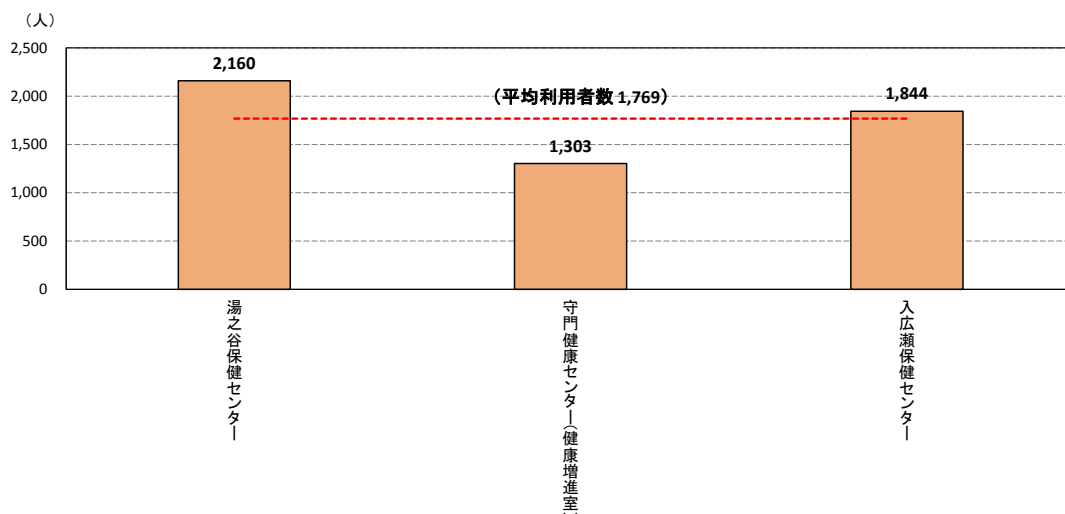
保健センターの延利用者数の合計は5,307人です。これらの施設にかかるフルコストは21,890千円です。

図 4-11-1 保健施設の配置状況



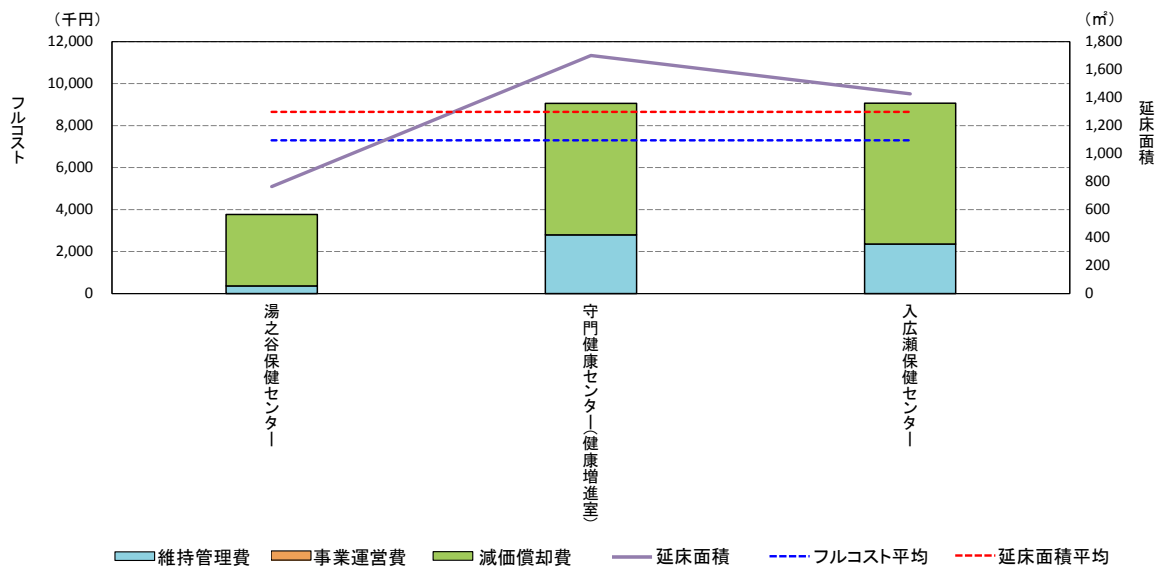
① 【保健施設】 保健センターの状況

図 4-11-2 保健センターの利用者数(平成 25 年度)



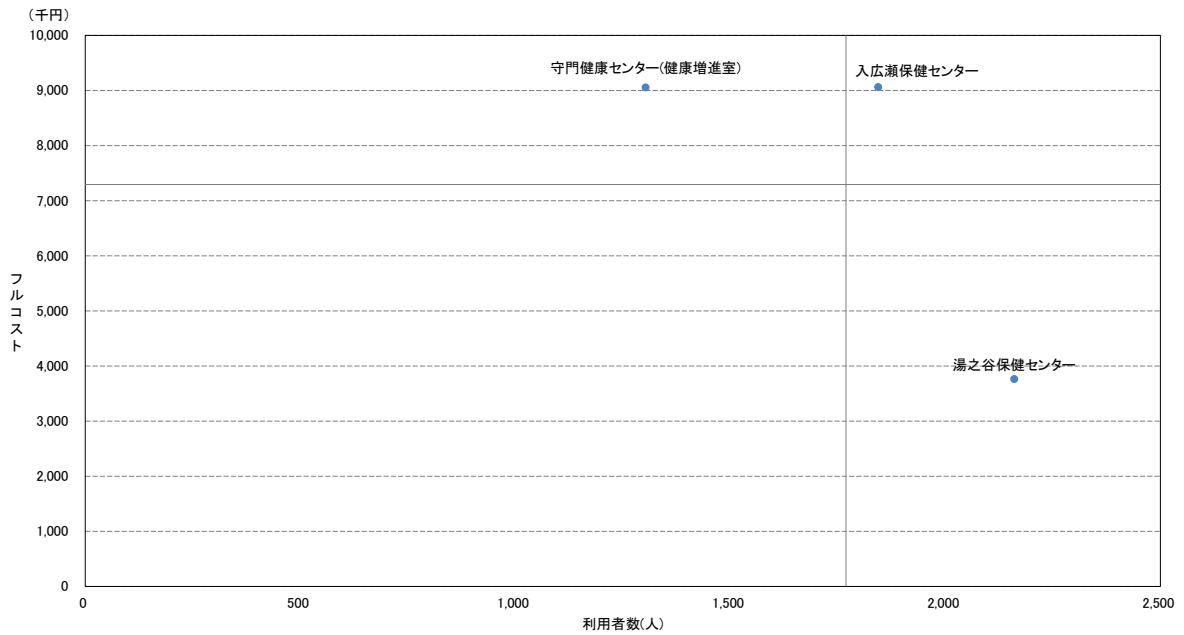
保健センターのうち、年間の利用者数が最も多い施設は、湯之谷保健センターの2,160人であり、2番目は入広瀬保健センターの1,844人です。

図 4-11-3 保健センターのフルコストと延床面積



保健センターのうち、延床面積が最も広い施設は、守門健康センター(健康増進室)の1,701㎡であり、2番目は入広瀬保健センターの1,427㎡です。また、保健センターのうち、フルコストが最も高い施設は、入広瀬保健センターの9,065千円であり、2番目は守門健康センター(健康増進室)の9,058千円です。

図 4-11-4 保健センターの利用者数とフルコスト



保健施設の主要建物は平成に入ってから建設されており、比較的新しいといえます。

湯之谷保健センターでは3歳児健診等、守門健康センターや入広瀬保健センターでは精神保健福祉相談会を行う等、複合的な施設となっています。

各施設のうち、湯之谷保健センターの延床面積が小さく、入広瀬保健センターの利用者1人当たりのフルコストが高くなっています。

1 2 庁舎等の状況

表 4-12-1 庁舎等の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
庁舎	堀之内	1	市役所堀之内庁舎	直営	2,544	昭和58年度	平成45年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	小出	2	市役所小出庁舎	直営	2,568	昭和54年度	平成41年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	3	市役所湯之谷庁舎	直営	4,975	平成10年度	平成60年度		鉄筋コンクリート造
	広神	4	市役所広神庁舎	直営	3,188	昭和62年度	平成49年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	守門	5	市役所守門庁舎	直営	3,677	昭和60年度	平成47年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	6	市役所入広瀬庁舎	直営	2,501	昭和53年度	平成40年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造

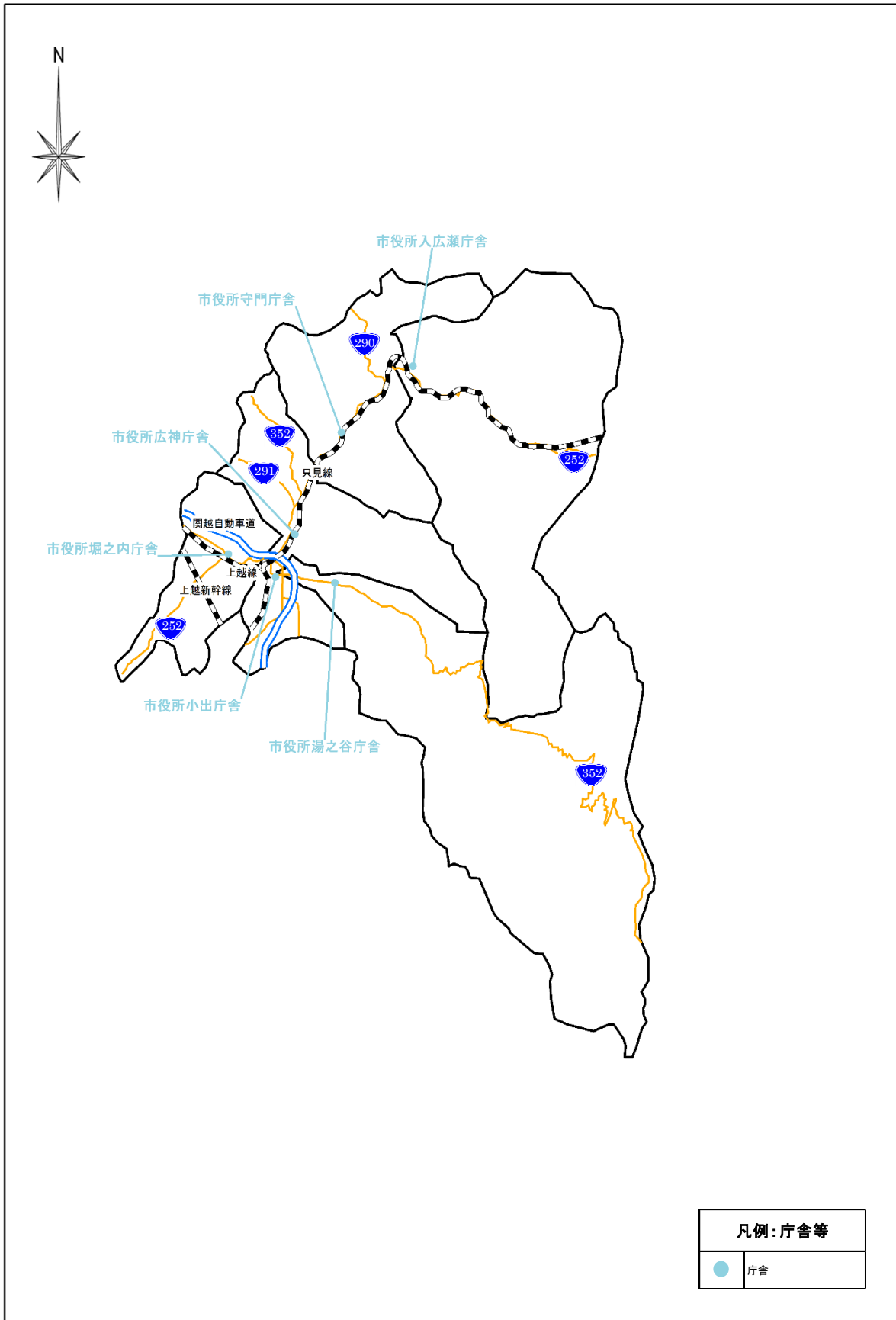
庁舎は、市内に6施設あり、延床面積は合計 19,453 ㎡です。

表 4-12-2 庁舎等の利用度とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
庁舎											
市役所堀之内庁舎	9,316	9,210	18,526	—	—	10,986	29,513	—	16	29,496	—
市役所小出庁舎	13,607	21,467	35,074	—	—	11,042	46,116	—	38	46,078	—
市役所湯之谷庁舎	14,130	7,800	21,930	—	—	17,888	39,819	—	1,090	38,729	—
市役所広神庁舎	8,117	7,800	15,917	—	—	14,769	30,687	—	180	30,507	—
市役所守門庁舎	6,820	9,366	16,187	—	—	9,731	25,919	—	132	25,787	—
市役所入広瀬庁舎	6,710	7,800	14,510	—	—	11,567	26,077	—	3,455	22,622	—
計	58,702	63,444	122,146	—	—	75,986	198,133	—	4,912	193,221	—

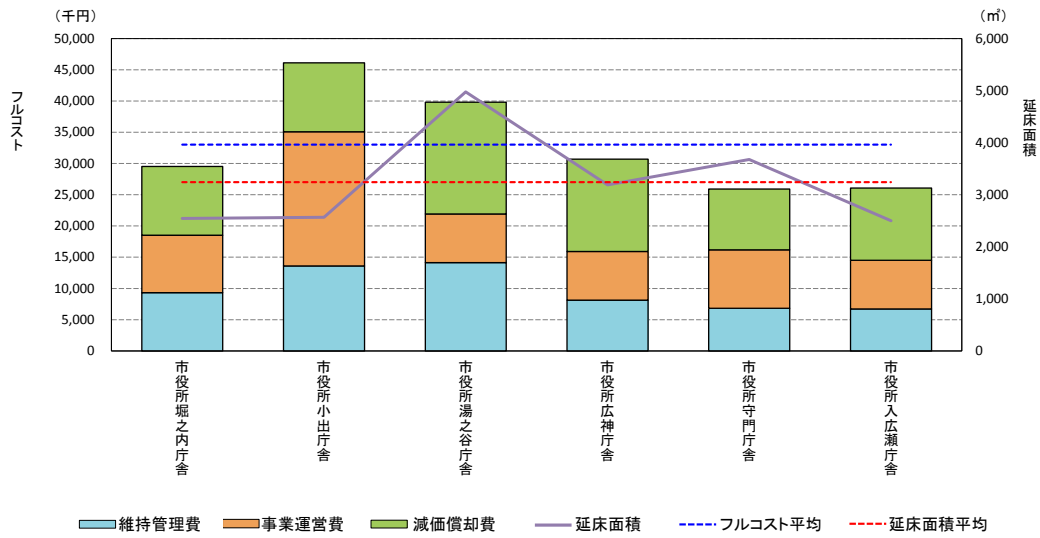
庁舎の施設にかかるフルコストは 198,133 千円です。

図 4-12-1 庁舎等の配置状況



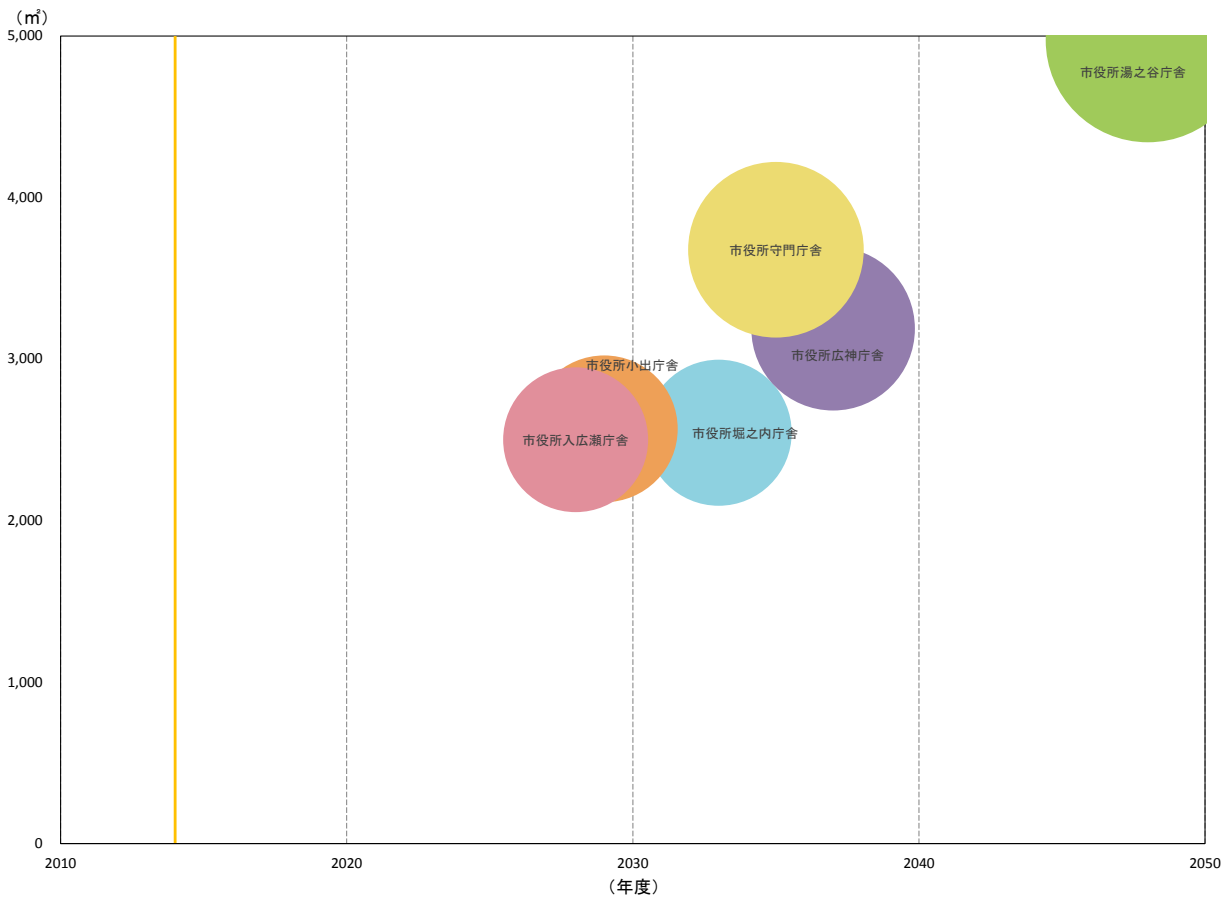
① 【庁舎等】 庁舎の状況

図 4-12-2 庁舎のフルコストと延床面積



庁舎のうち、延床面積が最も広い施設は、市役所湯之谷庁舎の 4,975 ㎡であり、2 番目は市役所守門庁舎の 3,677 ㎡です。また、庁舎のうち、フルコストが最も高い施設は、市役所小出庁舎の 46,116 千円であり、2 番目は市役所湯之谷庁舎の 39,819 千円です。

図 4-12-3 庁舎の延床面積と耐用年数到来年度



庁舎は現在、市内の各地域に設置されており、分庁舎方式で運営されています。湯之谷庁舎を除き、主要建物の建築年度はいずれも昭和 50 年代～60 年代であり、老朽化が進んでいます。

また、庁舎の老朽化の問題とあわせて、庁舎が分散していることで組織も分散化しており、市民の各種手続きに各庁舎のへ移動がともなう場合があることや、それぞれに庁舎の維持管理費がかかってしまうなどの問題点があります。また防災拠点としても設備や機能が不十分であり、それらを解消すべく、現在庁舎の再編整備を検討しています。

その場合においても、市民の利便性にも配慮して支所機能のあり方や跡地の有効活用など、あわせて検討していく必要があります。

1 3 消防施設の状況

表 4-13-1 消防施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
消防署	小出	1	消防本部・消防署	直営	3,659	平成25年度	平成75年度		鉄筋コンクリート造
	守門	2	消防署上条出張所	直営	579	平成25年度	平成75年度		鉄筋コンクリート造

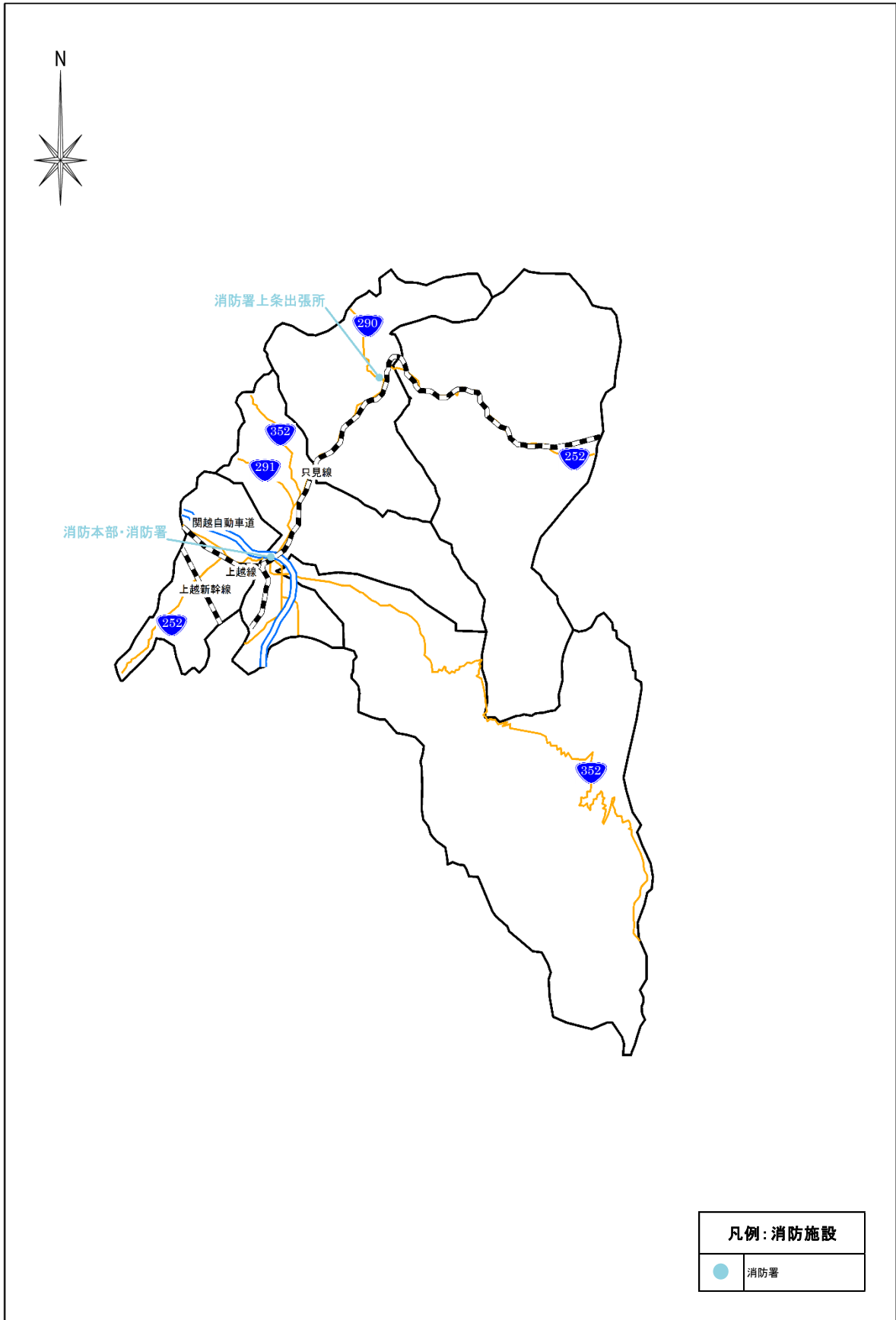
消防署は、市内に2施設あり、延床面積は合計4,238㎡です。

表 4-13-2 消防施設の利用率とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
消防署											
消防本部・消防署	10,996	8,504	19,500	0	0	0	19,500	0	4,620	14,880	—
消防署上条出張所	2,142	589	2,732	0	0	0	2,732	0	0	2,732	—
計	13,138	9,094	22,232	0	—	0	22,232	—	4,620	17,612	—

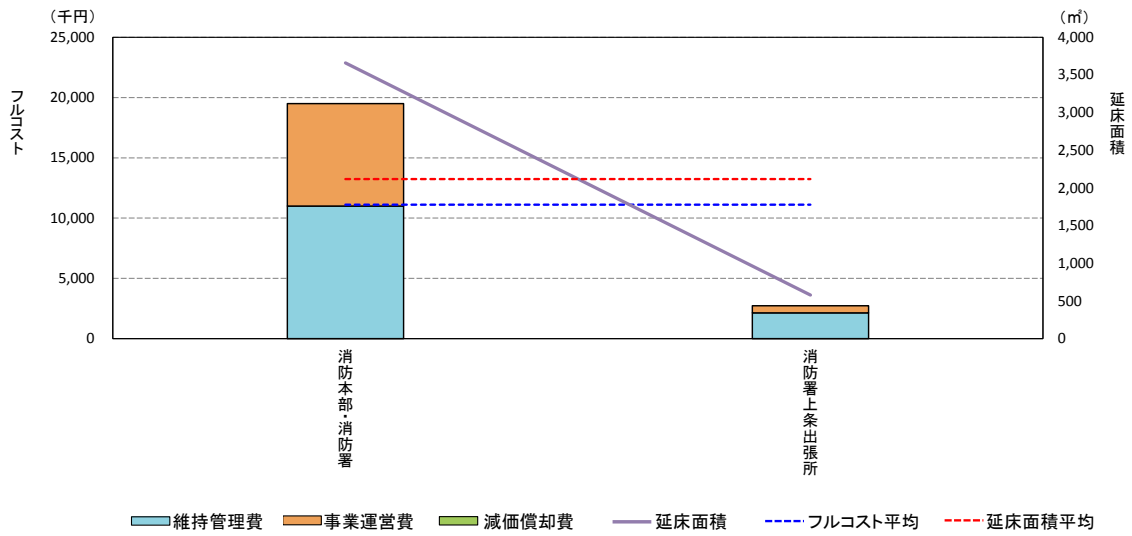
消防署の施設にかかるフルコストは、22,232千円です。

図 4-13-1 消防施設の配置状況



① 〔消防施設〕 消防署の状況

図 4-13-2 消防署のフルコストと延床面積



消防署のうち、延床面積が最も広い施設は、消防本部・消防署の 3,659 ㎡です。また、消防署のうち、フルコストが最も高い施設は、消防本部・消防署の 19,500 千円です。

1 4 その他行政系施設の状況

表 4-14-1 その他行政系施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
その他行政系施設	堀之内	1	堀之内防雪サブセンター	直営	729	昭和49年度	平成17年度	※	鉄骨造
	小出	2	小出防雪サブセンター	直営	374	昭和58年度	平成26年度		鉄骨造
	湯之谷	3	湯之谷除雪センター・葎沢	直営	568	平成1年度	平成32年度		鉄骨造
	広神	4	広神防雪サブセンター	直営	408	昭和49年度	平成24年度	※	鉄骨造
	守門	5	守門防雪サブセンター・須原	直営	482	昭和61年度	平成29年度		鉄骨造
	守門	6	守門防雪サブセンター・福山	直営	244	平成2年度	平成33年度		鉄骨造
	守門	7	守門防雪サブセンター・上条	直営	413	平成5年度	平成36年度		鉄骨造
	入広瀬	8	入広瀬防雪センター・横根	直営	168	平成14年度	平成45年度		鉄骨造
	入広瀬	9	入広瀬防雪センター・大栃山	直営	128	昭和61年度	平成29年度		鉄骨造

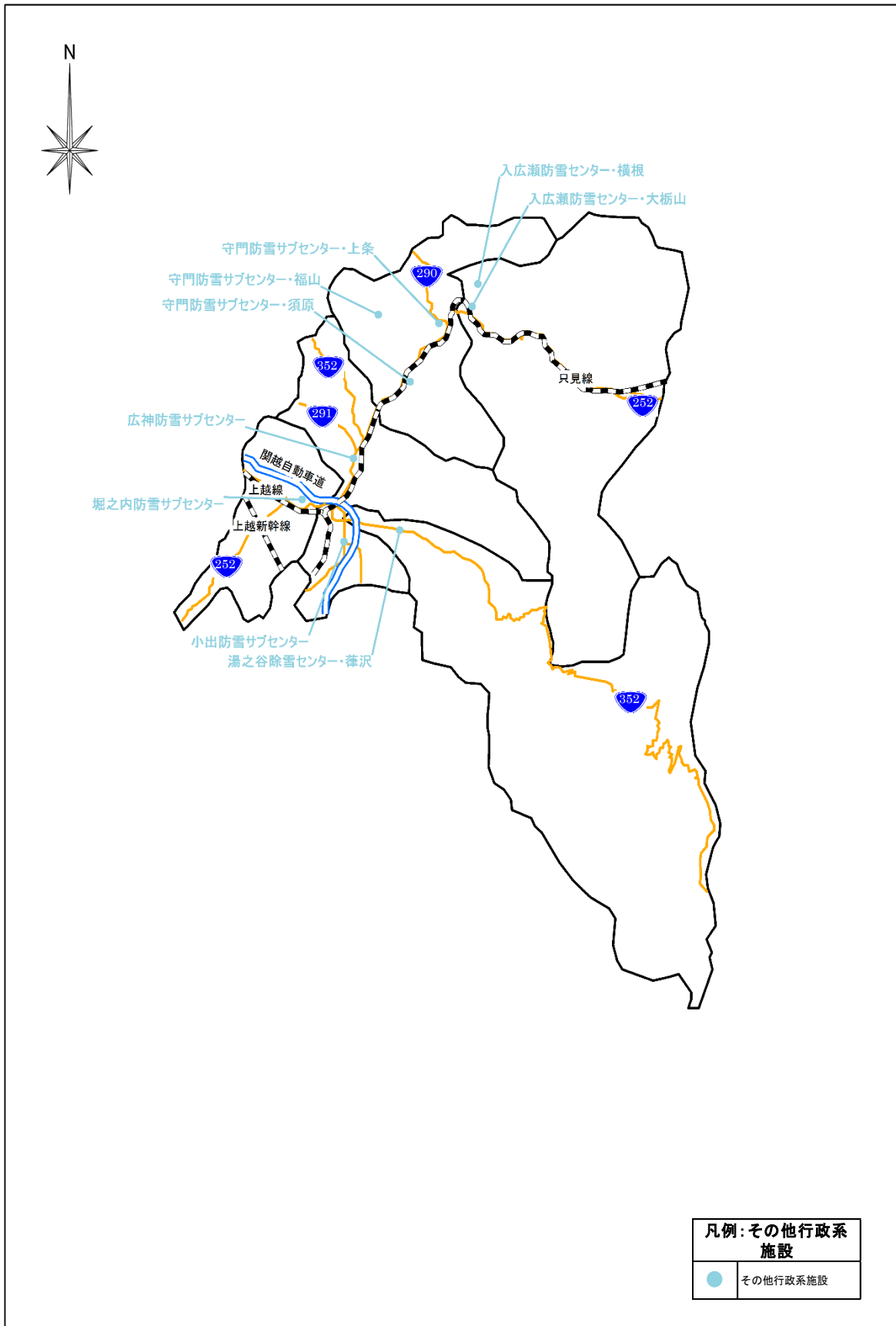
その他行政系施設は、市内に9施設あり、延床面積は合計3,514㎡です。

表 4-14-2 その他行政系施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
その他行政系施設											
堀之内防雪サブセンター	357	23	381	0	0	160	541	0	168	373	—
小出防雪サブセンター	104	29	133	0	0	235	369	0	12	356	—
湯之谷除雪センター・葎沢	440	46	487	0	0	1,122	1,609	0	48	1,561	—
広神防雪サブセンター	196	32	229	0	0	0	229	0	76	152	—
守門防雪サブセンター・須原	328	32	361	0	0	954	1,316	0	52	1,264	—
守門防雪サブセンター・福山	157	31	189	0	0	482	672	0	62	609	—
守門防雪サブセンター・上条	205	29	235	0	0	816	1,052	0	74	977	—
入広瀬防雪センター・横根	51	0	51	0	0	331	383	0	38	345	—
入広瀬防雪センター・大栃山	26	0	26	0	0	252	279	0	13	266	—
計	1,869	225	2,095	0	—	4,357	6,453	—	546	5,906	—

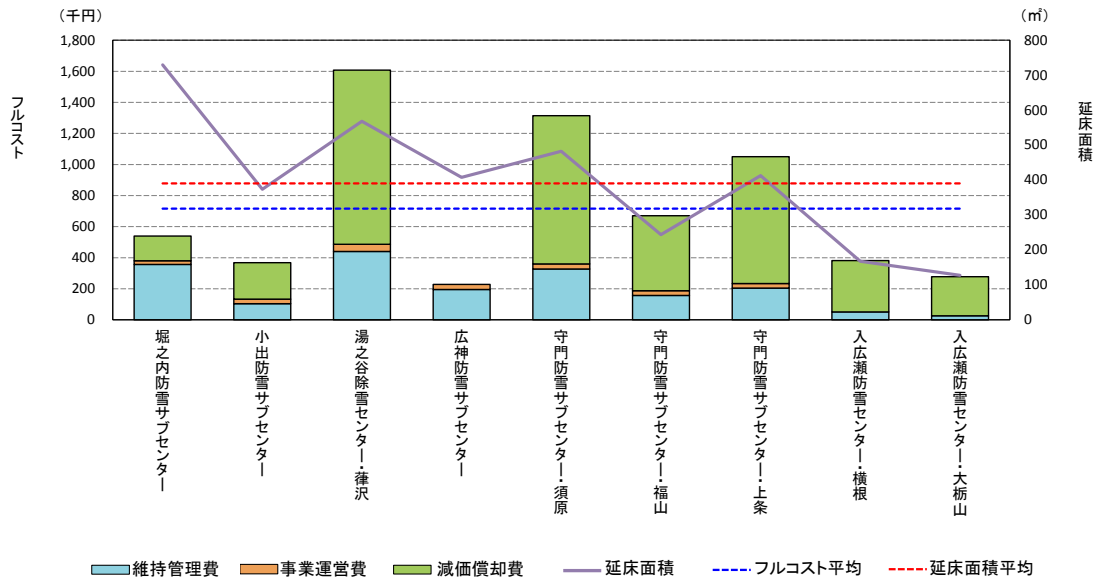
その他行政系施設の施設にかかるフルコストは、6,453千円です。

図 4-14-1 その他行政系施設の配置状況



② 〔その他行政系施設〕 その他行政系施設の状況

図 4-14-2 その他行政系施設のフルコストと延床面積



その他行政系施設のうち、延床面積が最も広い施設は、堀之内防雪サブセンターの 729 ㎡であり、2 番目は湯之谷除雪センター・葎沢の 568 ㎡です。また、その他行政系施設のうち、フルコストが最も高い施設は、湯之谷除雪センター・葎沢の 1,609 千円であり、2 番目は守門防雪サブセンター・須原の 1,316 千円です。

フルコストは施設により差がありますが、コストの発生時期は冬場が中心となっています。降雪量が多い本市においては、地域性の観点から必要性が高い施設となっています。

15 公営住宅の状況

表 4-15-1 公営住宅の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
市営住宅	堀之内	1	宮原住宅	直営	2,107	昭和53年度	平成37年度	※	鉄筋コンクリート造
	堀之内	2	関下住宅1号棟	直営	997	平成4年度	平成51年度		鉄筋コンクリート造
	堀之内	3	関下住宅2号棟	直営	1,891	平成9年度	平成56年度		鉄筋コンクリート造
	堀之内	4	関下住宅3号棟	直営	1,906	平成6年度	平成53年度		鉄筋コンクリート造
	堀之内	5	関下住宅4号棟	直営	1,340	平成12年度	平成59年度		鉄筋コンクリート造
	堀之内	6	堀之内住宅	直営	2,055	平成18年度	平成52年度		鉄骨造
	小出	7	沢田住宅	直営	1,227	平成11年度	平成58年度		鉄筋コンクリート造
	小出	8	大清水住宅	直営	259	昭和40年度	昭和62年度	※	木造
	小出	9	大河原住宅	直営	340	昭和44年度	平成3年度	※	木造
	小出	10	大清水第2住宅	直営	961	昭和46年度	平成30年度	※	鉄筋コンクリート造
	小出	11	館ノ前住宅	直営	992	昭和49年度	平成33年度	※	鉄筋コンクリート造
	小出	12	青島東住宅	直営	1,171	昭和58年度	平成42年度		鉄筋コンクリート造
	小出	13	羽根川住宅	直営	2,212	平成6年度	平成53年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	14	栃尾又住宅・1号棟	直営	277	昭和49年度	平成33年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	15	栃尾又住宅・2号棟	直営	277	昭和49年度	平成33年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	16	栃尾又住宅・3号棟	直営	514	平成2年度	平成36年度		鉄骨造
	湯之谷	17	中村住宅	直営	213	昭和53年度	平成37年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	18	笹沢住宅	直営	432	昭和53年度	平成37年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	19	大沢住宅	直営	210	平成1年度	平成23年度		木造
	湯之谷	20	吉田住宅	直営	554	昭和49年度	平成33年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	21	井口境住宅	直営	520	昭和58年度	平成17年度		木造
	湯之谷	22	大堀添住宅	直営	1,106	平成3年度	平成37年度		鉄骨造
	湯之谷	23	井口住宅	直営	3,221	昭和50年度	平成34年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	24	佐梨川端住宅	直営	130	昭和58年度	平成17年度		木造
	湯之谷	25	清水上住宅	直営	708	昭和54年度	平成38年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	26	浦堀添第2住宅	直営	1,584	平成12年度	平成46年度		鉄骨造
	湯之谷	27	松ヶ崎住宅	直営	1,260	平成13年度	平成47年度		鉄骨造
	広神	28	広神住宅A	直営	904	平成10年度	平成44年度		鉄骨造
	広神	29	広神住宅B	直営	2,304	平成11年度	平成58年度		鉄筋コンクリート造
	広神	30	広神住宅車庫	直営	647	平成11年度	平成42年度		鉄骨造
	広神	31	連日住宅	直営	350	昭和44年度	平成28年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	32	須原住宅1号棟	直営	464	昭和51年度	平成35年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	33	須原住宅2号棟	直営	786	昭和52年度	平成36年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	34	須原住宅3号棟	直営	576	昭和58年度	平成42年度		鉄筋コンクリート造
	守門	35	須原住宅4号棟	直営	548	昭和63年度	平成47年度		鉄筋コンクリート造
	守門	36	須原住宅5号棟	直営	548	平成1年度	平成48年度		鉄筋コンクリート造
	守門	37	上条住宅1号棟	直営	504	昭和53年度	平成37年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	38	上条住宅2号棟	直営	435	昭和55年度	平成39年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	39	上条住宅3号棟	直営	429	昭和56年度	平成40年度		鉄筋コンクリート造
	守門	40	須原住宅A	直営	581	平成9年度	平成56年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	41	清水住宅	直営	500	昭和44年度	平成28年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	42	中手原住宅	直営	500	昭和45年度	平成29年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	43	平野又住宅	直営	400	昭和46年度	平成30年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	44	田小屋住宅	直営	569	昭和54年度	平成38年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	45	第二大栃山住宅	直営	409	昭和53年度	平成37年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	46	第三大栃山住宅	直営	443	平成2年度	平成36年度		鉄骨造
	入広瀬	47	大白川住宅	直営	437	昭和55年度	平成39年度	※	鉄筋コンクリート造
	入広瀬	48	横根住宅	直営	543	平成12年度	平成46年度		鉄骨造
	入広瀬	49	穴沢住宅	直営	779	平成4年度	平成38年度		鉄骨造
	入広瀬	50	第五大栃山住宅	直営	747	平成4年度	平成38年度		鉄骨造
	入広瀬	51	メゾンおとちやま	直営	847	平成8年度	平成30年度		木造

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (m ²)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
市有住宅	堀之内	1	月岡住宅	直営	453	昭和49年度	平成8年度	※	木造
	小出	2	佐梨川住宅	直営	1,562	平成11年度	平成58年度		鉄筋コンクリート造
	小出	3	居平住宅	直営	340	昭和47年度	平成31年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	4	上ノ原住宅	直営	142	昭和58年度	平成17年度		木造
	湯之谷	5	大湯住宅	直営	722	平成4年度	平成38年度		鉄骨造
	広神	6	新保住宅	直営	3,244	平成5年度	平成52年度		鉄筋コンクリート造
	守門	7	西村住宅	直営	251	昭和45年度	平成29年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	8	福山住宅	直営	342	昭和62年度	平成46年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	9	メゾンいりひろせ	直営	749	平成17年度	平成39年度		木造

市営住宅は、市内に 51 施設あり、延床面積は合計 43,714 m²です。

市有住宅は、市内に 9 施設あり、延床面積は合計 7,805 m²です。

表 4-15-2 公営住宅の利用度とコストの一覧

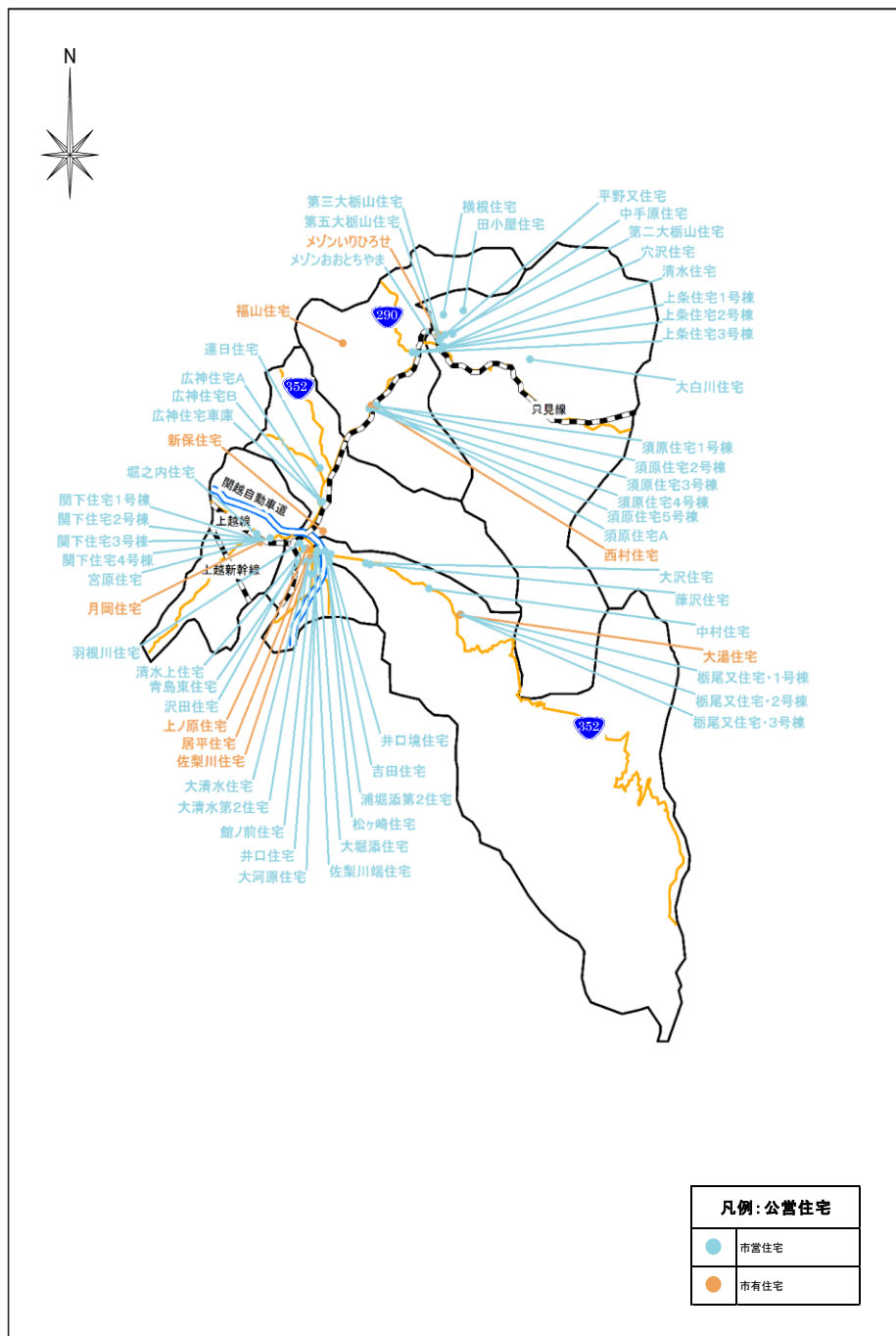
施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
市営住宅											
宮原住宅	1,498	234	1,732	—	—	10,295	12,027	—	6,433	5,594	—
関下住宅1号棟	1,202	234	1,436	—	—	4,078	5,515	—	2,025	3,489	—
関下住宅2号棟	958	234	1,192	—	—	7,739	8,931	—	5,521	3,410	—
関下住宅3号棟	289	234	523	—	—	7,800	8,324	—	4,184	4,139	—
関下住宅4号棟	1,503	234	1,737	—	—	5,482	7,220	—	3,551	3,669	—
堀之内住宅	817	234	1,051	—	—	11,466	12,518	—	5,990	6,528	—
沢田住宅	1,113	234	1,347	—	—	5,946	7,294	—	3,994	3,299	—
大清水住宅	624	936	1,560	—	—	0	1,560	—	332	1,228	—
大河原住宅	183	468	651	—	—	0	651	—	413	237	—
大清水第2住宅	512	936	1,448	—	—	3,273	4,722	—	2,280	2,441	—
館ノ前住宅	261	936	1,197	—	—	3,382	4,580	—	2,405	2,174	—
青島東住宅	783	234	1,017	—	—	4,761	5,779	—	4,315	1,463	—
羽根川住宅	1,177	234	1,411	—	—	8,998	10,410	—	6,410	3,999	—
栢尾又住宅・1号棟	15	234	249	—	—	944	1,194	—	415	779	—
栢尾又住宅・2号棟	15	234	249	—	—	944	1,194	—	388	805	—
栢尾又住宅・3号棟	462	234	696	—	—	2,775	3,472	—	899	2,772	—
中村住宅	80	468	548	—	—	544	1,093	—	153	939	—
碓氷住宅	330	1,170	1,500	—	—	995	2,496	—	1,368	1,127	—
大沢住宅	1,244	702	1,946	—	—	0	1,946	—	470	1,475	—
吉田住宅	861	468	1,329	—	—	1,889	3,218	—	1,118	2,100	—
井口境住宅	304	936	1,240	—	—	0	1,240	—	1,548	-307	—
大塚添住宅	890	234	1,124	—	—	6,452	7,577	—	2,853	4,723	—
井口住宅	2,143	468	2,611	—	—	13,497	16,109	—	5,575	10,533	—
佐梨川端住宅	7	234	241	—	—	0	241	—	422	-180	—
清水上住宅	692	234	926	—	—	2,881	3,807	—	1,492	2,315	—
浦根添第2住宅	505	234	739	—	—	8,379	9,118	—	3,165	5,953	—
松ヶ崎住宅	472	234	706	—	—	6,818	7,525	—	2,458	5,067	—
広神住宅A	449	234	683	—	—	7,859	8,543	—	2,352	6,190	—
広神住宅B	5,575	234	5,809	—	—	10,781	16,590	—	14,121	2,469	—
広神住宅車庫	64	468	532	—	—	767	1,299	—	0	1,299	—
連日住宅	271	702	973	—	—	1,193	2,167	—	520	1,647	—
須原住宅1号棟	287	234	521	—	—	1,898	2,419	—	3,556	-1,137	—
須原住宅2号棟	386	234	620	—	—	3,217	3,837	—	1,604	2,233	—
須原住宅3号棟	191	234	425	—	—	2,198	2,624	—	466	2,158	—
須原住宅4号棟	716	234	950	—	—	2,185	3,135	—	835	2,299	—
須原住宅5号棟	124	234	358	—	—	1,720	2,078	—	1,039	1,039	—
上条住宅1号棟	277	234	511	—	—	2,061	2,572	—	1,378	1,193	—
上条住宅2号棟	321	234	555	—	—	1,781	2,336	—	2,467	-130	—
上条住宅3号棟	195	234	429	—	—	2,210	2,639	—	1,501	1,138	—
須原住宅A	514	234	748	—	—	2,377	3,125	—	3,240	-114	—
清水住宅	116	468	584	—	—	1,760	2,344	—	404	1,940	—
中手原住宅	344	234	578	—	—	1,760	2,338	—	259	2,079	—
平野又住宅	433	234	667	—	—	1,408	2,075	—	259	1,816	—
田小屋住宅	514	234	748	—	—	2,002	2,750	—	220	2,529	—
第二大橋山住宅	459	234	693	—	—	1,673	2,367	—	3,652	-1,284	—
第三大橋山住宅	787	234	1,021	—	—	2,471	3,493	—	859	2,634	—
大白川住宅	168	234	402	—	—	1,788	2,190	—	244	1,946	—
横根住宅	177	234	411	—	—	3,029	3,441	—	1,297	2,144	—
穴沢住宅	343	468	811	—	—	4,348	5,159	—	1,408	3,751	—
第五大橋山住宅	713	234	947	—	—	4,633	5,581	—	2,262	3,319	—
メゾンおおとちやま	412	234	646	—	—	7,088	7,734	—	3,600	4,134	—
計	32,805	18,252	51,057	—	—	191,566	242,623	—	117,541	125,082	—

施設名称	維持 管理費 (千円)	事業 運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者 1人当たり のコスト (円/人)	減価 償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者 1人当たり のフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネット 収支差額 (千円)	指定 管理料 (千円)
市有住宅											
月岡住宅	57	1,638	1,695	—	—	0	1,695	—	600	1,095	—
佐梨川住宅	386	234	620	—	—	6,455	7,075	—	7,570	-494	—
居平住宅	81	234	315	—	—	1,383	1,699	—	504	1,194	—
上ノ原住宅	222	234	456	—	—	0	456	—	384	72	—
大湯住宅	2,759	234	2,993	—	—	3,898	6,892	—	1,515	5,377	—
新保住宅	2,676	1,404	4,080	—	—	14,846	18,926	—	12,231	6,695	—
西村住宅	14	234	248	—	—	852	1,100	—	320	780	—
福山住宅	251	234	485	—	—	1,391	1,877	—	195	1,681	—
メゾンいりひろせ	10,722	234	10,956	—	—	7,105	18,061	—	1,565	16,495	—
計	17,172	4,680	21,852	—	—	35,933	57,785	—	24,886	32,899	—

市営住宅の施設にかかるフルコストは 242,623 千円です。

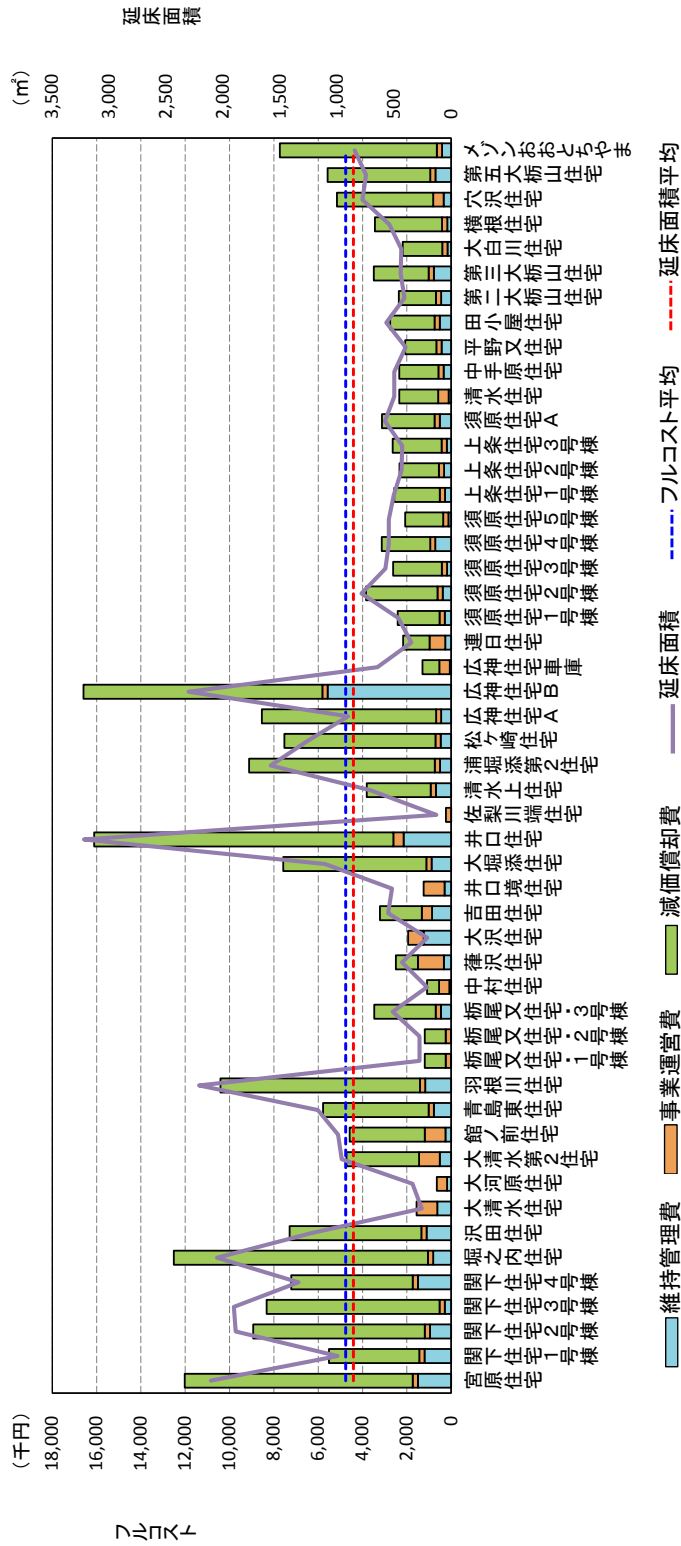
市有住宅の施設にかかるフルコストは 57,785 千円です。

図 4-15-1 公営住宅の配置状況



① 〔公営住宅〕市営住宅の状況

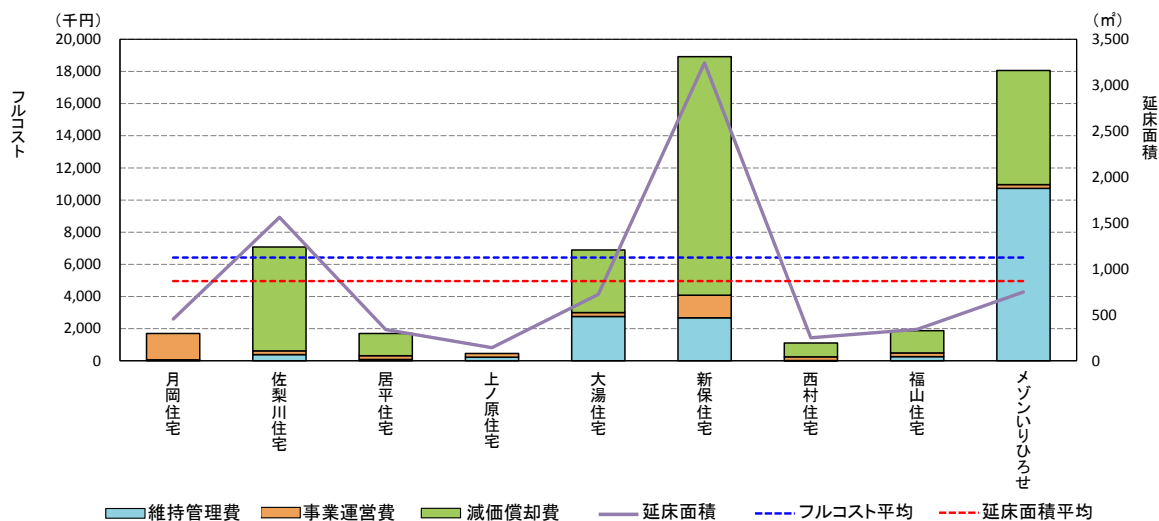
図 4-15-2 市営住宅のフルコストと延床面積



市営住宅のうち、延床面積が最も広い施設は、井口住宅の3,221㎡であり、2番目は広神住宅Bの2,304㎡です。また、市営住宅のうち、フルコストが最も高い施設は、広神住宅Bの16,590千円であり、2番目は井口住宅の16,109千円です。

② 【公営住宅】市有住宅の状況

図 4-15-3 市有住宅のフルコストと延床面積



市有住宅のうち、延床面積が最も広い施設は、新保住宅の 3,244 ㎡であり、2 番目は佐梨川住宅の 1,562 ㎡です。また、市有住宅のうち、フルコストが最も高い施設は、新保住宅の 18,926 千円であり、2 番目はメゾンいりひろせの 18,061 千円です。

公営住宅の数は多く、集合住宅のみならず一戸建てもありますが、建築年度は、古いものでは昭和 40 年代、新しいものでは平成 18 年代と差があります。

また、木造の建物も数箇所存在しています。

公営住宅 1 施設にかかるフルコストは多額ではありませんが、各住宅のフルコストを合計すると 300,409 千円にのびります。

16 公園の状況

表 4-16-1 公園の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
公園	堀之内	1	月岡公園	指定管理者	1,201	平成9年度	平成47年度		鉄骨造
	小出	2	魚野川ふれあい公園	直営	213	平成4年度	平成54年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	3	上ノ原児童公園	直営	90	昭和46年度	平成14年度	※	鉄骨造
	湯之谷	4	薬師農村公園	直営	67	昭和56年度	平成17年度		木造
	湯之谷	5	折立ふれあいの郷	指定管理者	1,093	昭和53年度	平成20年度	※	軽量鉄骨造
	広神	6	戸隠・溪流・歴史公園	指定管理者	82	平成7年度	平成31年度		木造
	守門	7	須原ゲートボールコート	直営	113	昭和59年度	平成46年度		鉄筋コンクリート造
	守門	8	福山峠緑のふるさと広場	直営	395	平成10年度	平成34年度		木造
	入広瀬	9	越後ハーブ香園入広瀬	直営	635	平成13年度	平成37年度		木造
	入広瀬	10	鏡ヶ池公園	指定管理者	82	平成5年度	平成55年度		鉄筋コンクリート造
	入広瀬	11	鷹待城址公園	指定管理者	68	昭和60年度	平成47年度		鉄筋コンクリート造

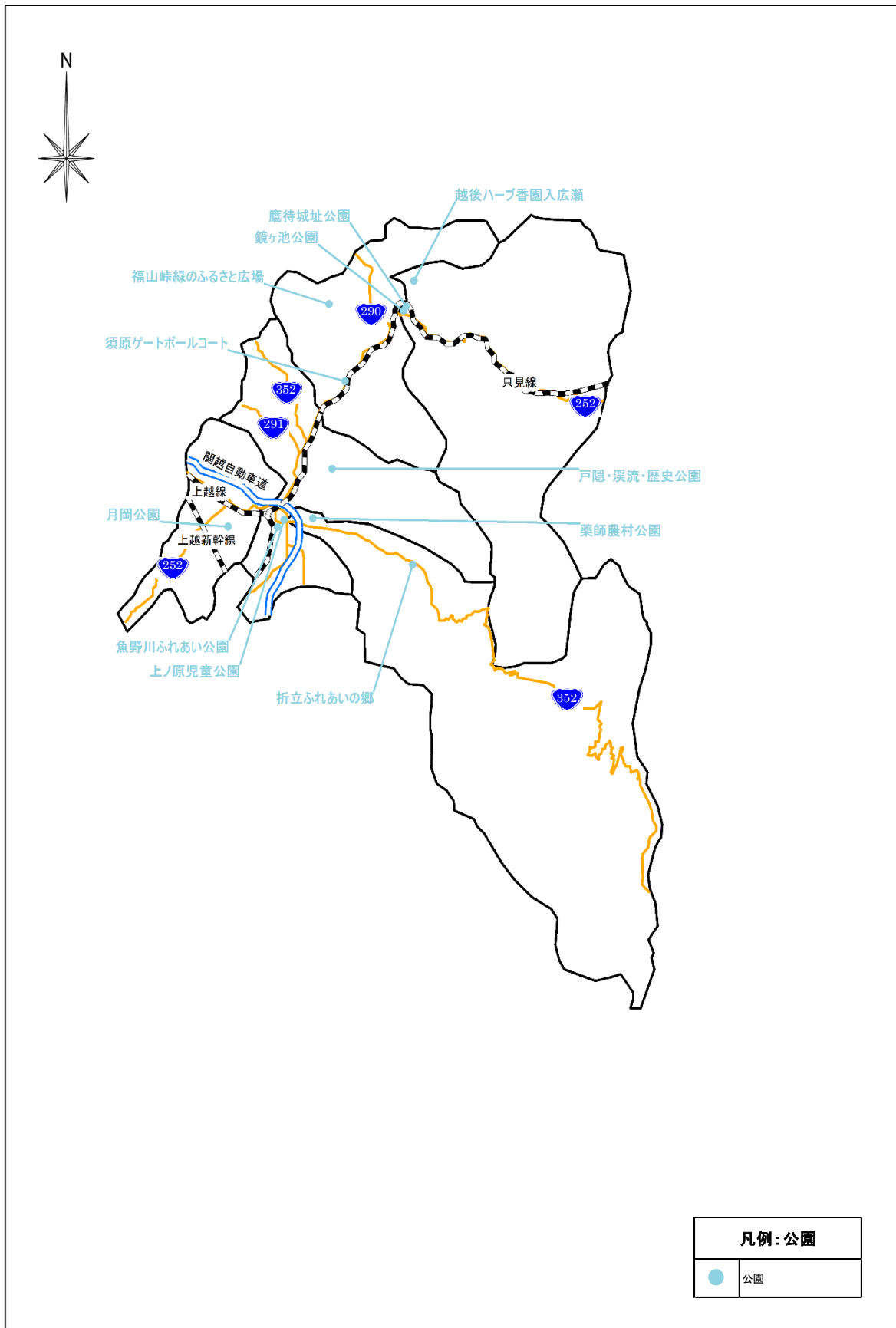
公園は、市内に 11 施設あり、延床面積は合計 4,039 ㎡です。

表 4-16-2 公園の利用度とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
公園											
月岡公園	5,519	11,242	16,761	20,246	827	3,659	20,421	1,008	19,878	543	0
魚野川ふれあい公園	810	0	810	0	0	1,002	1,812	0	0	1,812	—
上ノ原児童公園	2,442	0	2,442	0	0	0	2,442	0	0	2,442	—
薬師農村公園	0	0	0	—	—	0	0	—	0	0	—
折立ふれあいの郷	2,326	951	3,278	2,000	1,639	384	3,662	1,831	3,015	647	0
戸隠・溪流・歴史公園	14	0	14	—	—	310	324	—	0	324	0
須原ゲートボールコート	42	0	42	—	—	303	346	—	0	346	—
福山峠緑のふるさと広場	1,526	2,779	4,306	2,088	2,062	1,380	5,686	2,723	480	5,206	—
越後ハーブ香園入広瀬	4,627	12,045	16,672	4,583	3,637	2,109	18,781	4,098	1,241	17,540	—
鏡ヶ池公園	1	0	1	0	0	335	337	0	0	337	0
鷹待城址公園	0	0	0	—	—	184	184	—	0	184	5,000
計	17,312	27,018	44,331	28,917	—	9,669	54,000	—	24,614	29,386	5,000

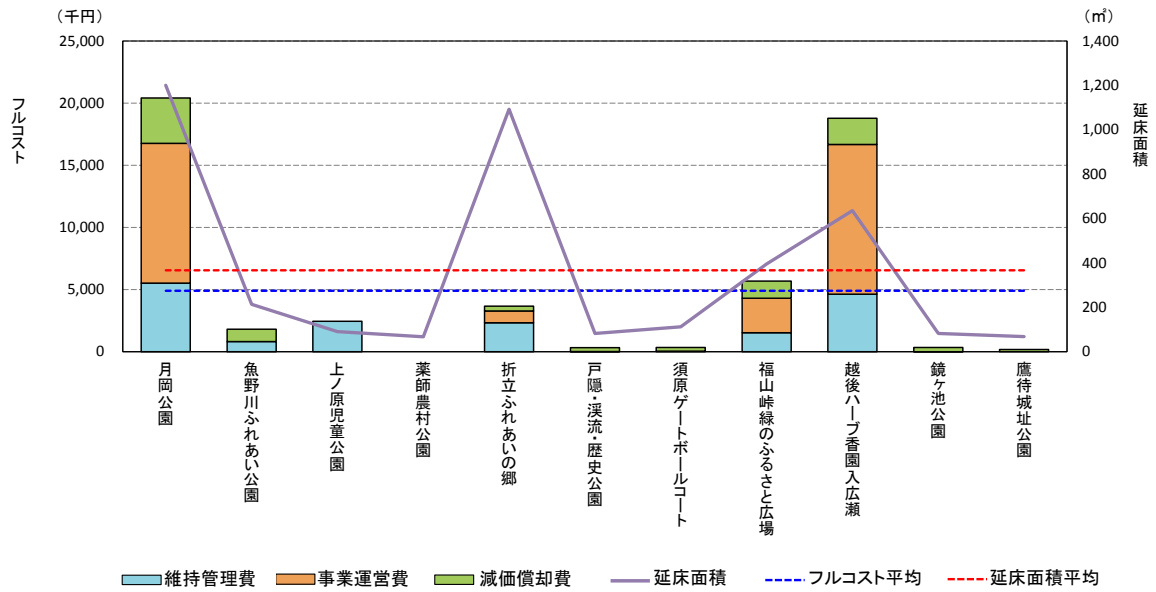
公園の延利用者数の合計は 28,917 人です。これらの施設にかかるフルコストは 54,000 千円です。

図 4-16-1 公園の配置状況



① 【公園】公園の状況

図 4-16-2 公園のフルコストと延床面積



公園のうち、延床面積が最も広い施設は、月岡公園の1,201㎡であり、2番目は折立ふれあいの郷の1,093㎡です。また、公園のうち、フルコストが最も高い施設は、月岡公園の20,421千円であり、2番目は越後ハーブ香園入広瀬の18,781千円です。

17 供給処理施設の状況

表 4-17-1 供給処理施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (㎡)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
ごみ処理場	広神	1	エコプラント魚沼	直営	5,747	平成6年度	平成44年度		鉄筋コンクリート造
その他供給処理施設	堀之内	1	バイオマス利活用施設	直営	4,927	平成20年度	平成51年度		鉄骨造

ごみ処理場は、市内に1施設あり、延床面積は5,747㎡です。

その他供給処理施設は、市内に1施設あり、延床面積は4,927㎡です。

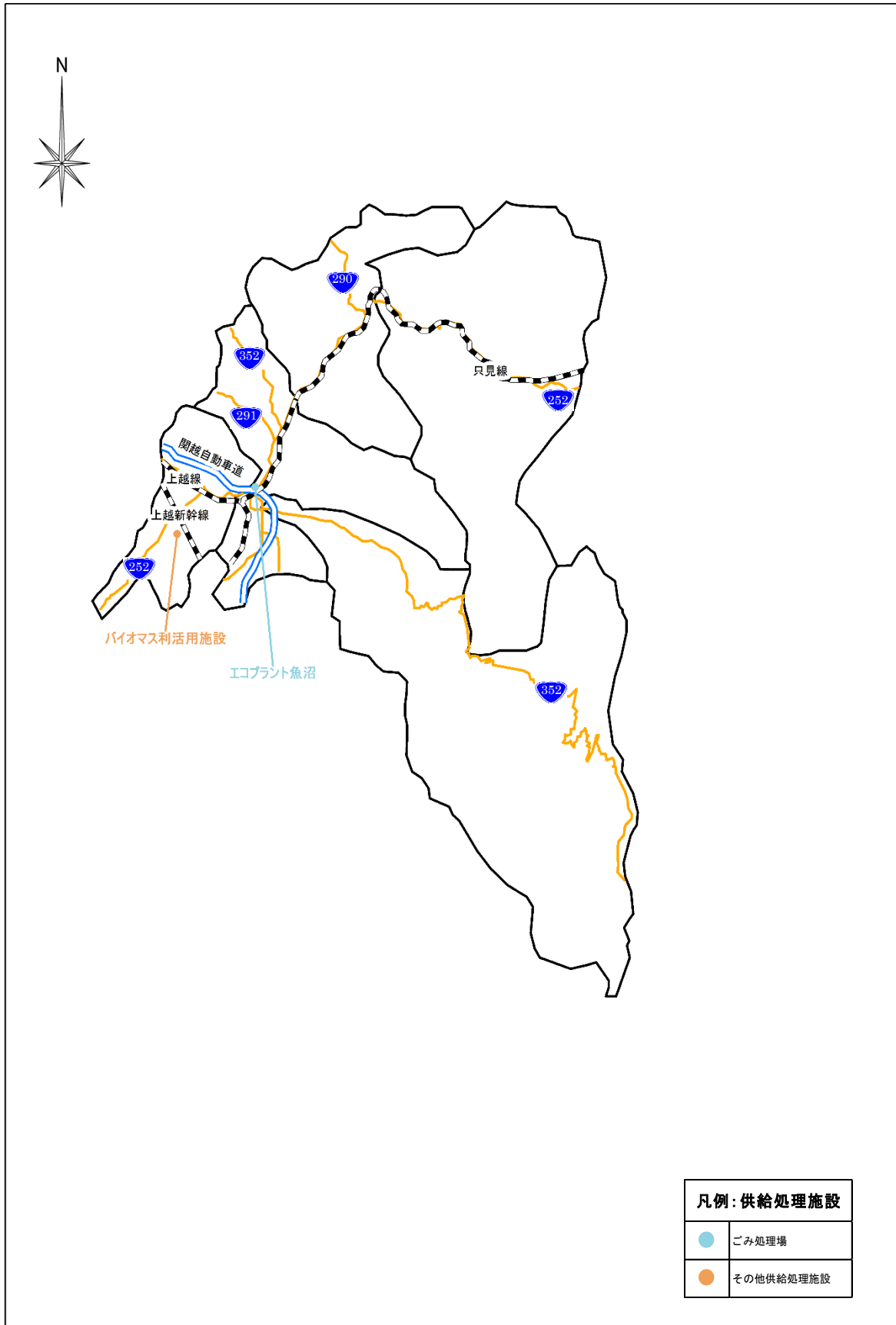
表 4-17-2 供給処理施設の利用率とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
ごみ処理場											
エコプラント魚沼	195,046	187,094	382,141	73,450	5,202	21,913	404,054	5,501	278,804	125,249	—
計	195,046	187,094	382,141	73,450	—	21,913	404,054	—	278,804	125,249	—
その他供給処理施設											
バイオマス利活用施設	9,992	10,085	20,078	—	—	14,512	34,591	—	24,919	9,671	—
計	9,992	10,085	20,078	—	—	14,512	34,591	—	24,919	9,671	—

ごみ処理場の延利用者数は73,450人です。また、フルコストは404,054千円です。

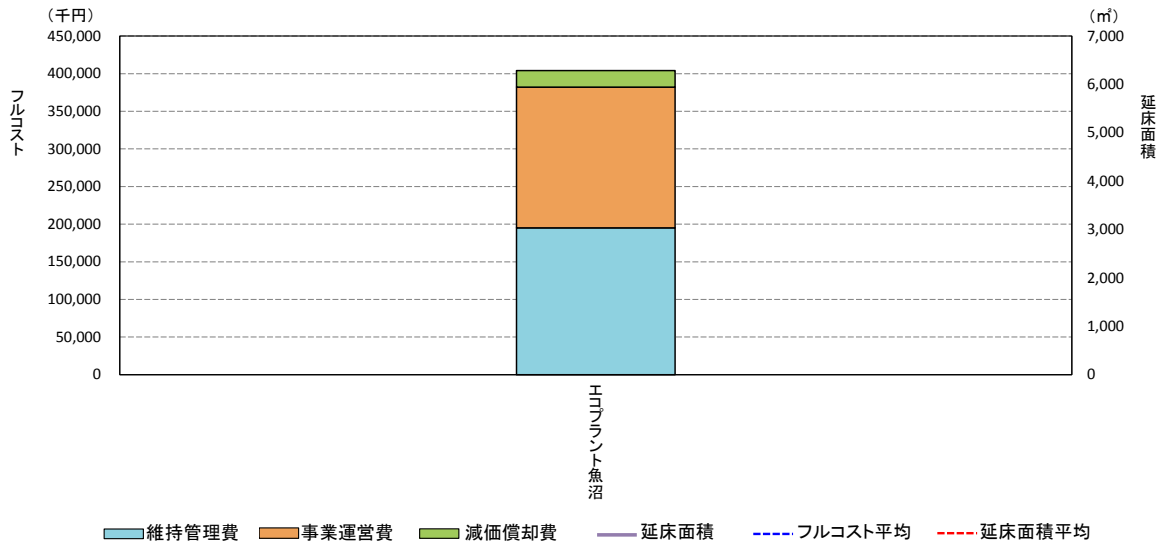
その他供給処理施設の施設にかかるフルコストは34,591千円です。

図 4-17-1 供給処理施設の配置状況



① 〔供給処理施設〕 ごみ処理場の状況

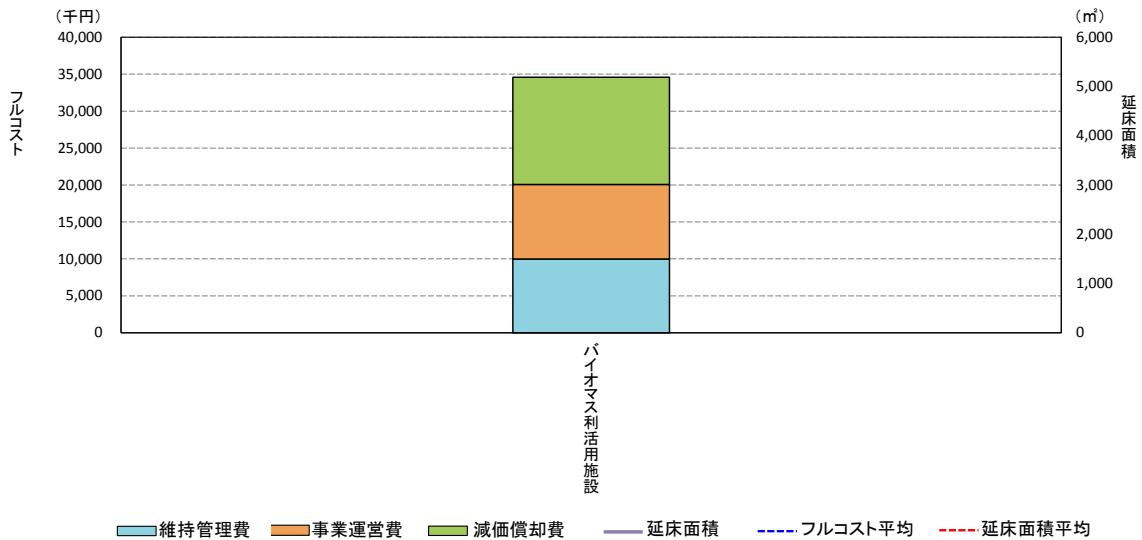
図 4-17-2 ごみ処理場のフルコストと延床面積



エコプラント魚沼の延床面積は、5,747 m²です。また、フルコストは404,054 千円です。

② 〔供給処理施設〕 その他供給処理施設の状況

図 4-17-3 その他供給処理施設のフルコストと延床面積



バイオマス利活用施設（有機センター）の延床面積は、4,927 m²です。また、フルコストは34,591 千円です。

エコプラント魚沼は魚沼市及び南魚沼市（大和地域）のごみを処理する施設であり、フルコストは404,054 千円と多額です。堀之内に設置されているバイオマス利活用施設は平成20年度に建設された新しい施設です。

18 その他施設の状況

表 4-18-1 その他施設の一覧

小分類	地域	No	施設名称	運営主体	延床面積 (m ²)	主要建物建築年度	耐用年数到来年度	未耐震施設	主要建物構造
職員住宅	堀之内	1	堀之内教員住宅	直営	1,251	平成9年度	平成56年度		鉄筋コンクリート造
	小出	2	小出第1教員住宅	直営	340	昭和48年度	平成32年度	※	鉄筋コンクリート造
	小出	3	小出第2教員住宅	直営	192	平成1年度	平成23年度		木造
	湯之谷	4	湯之谷第5教員住宅	直営	68	昭和62年度	平成21年度		木造
	湯之谷	5	湯之谷第6教員住宅	直営	60	昭和62年度	平成21年度		木造
	湯之谷	6	湯之谷第7教員住宅	直営	60	昭和62年度	平成21年度		木造
	広神	7	広神第1教員住宅	直営	159	昭和61年度	平成20年度		木造
	守門	8	守門第1教員住宅	直営	637	昭和53年度	平成37年度	※	鉄筋コンクリート造
	守門	9	守門第2教員住宅	直営	498	平成4年度	平成51年度		鉄筋コンクリート造
	守門	10	西村医師住宅	直営	194	平成2年度	平成24年度		木造
	入広瀬	11	入広瀬第1教員住宅	直営	849	平成6年度	平成53年度		鉄筋コンクリート造
斎場	湯之谷	1	魚沼市斎場	指定管理者	224	昭和43年度	平成30年度	※	鉄骨鉄筋コンクリート造
	入広瀬	2	入広瀬火葬場	指定管理者	193	平成18年度	平成68年度		鉄筋コンクリート造
その他	堀之内	1	貸物件作業小屋・堀之内	直営	113	昭和58年度	平成19年度		木造
	堀之内	2	旧原小学校	直営	3,223	昭和54年度	平成38年度	※	鉄筋コンクリート造
	小出	3	旧共同職業訓練施設・佐梨	直営	480	昭和43年度	平成30年度	※	鉄筋コンクリート造
	湯之谷	4	旧さくら保育園遊戯室	直営	125	昭和61年度	平成45年度		鉄筋コンクリート造
	湯之谷	5	銀山平格納庫	直営	209	平成4年度	平成42年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	湯之谷	6	鷹ノ巣バイオトイレ格納庫	直営	180	昭和60年度	平成35年度		鉄骨鉄筋コンクリート造
	広神	7	旧広神へき地診療所	直営	398	昭和53年度	平成40年度	※	鉄筋コンクリート造
	広神	8	旧広神へき地診療所・車庫	直営	81	平成15年度	平成46年度		鉄骨造
	守門	9	上条会館	直営	3,306	昭和55年度	平成39年度	※	鉄筋コンクリート造

職員住宅は、市内に 11 施設あり、延床面積は合計 4,308 m²です。

斎場は、市内に 2 施設あり、延床面積は合計 417 m²です。

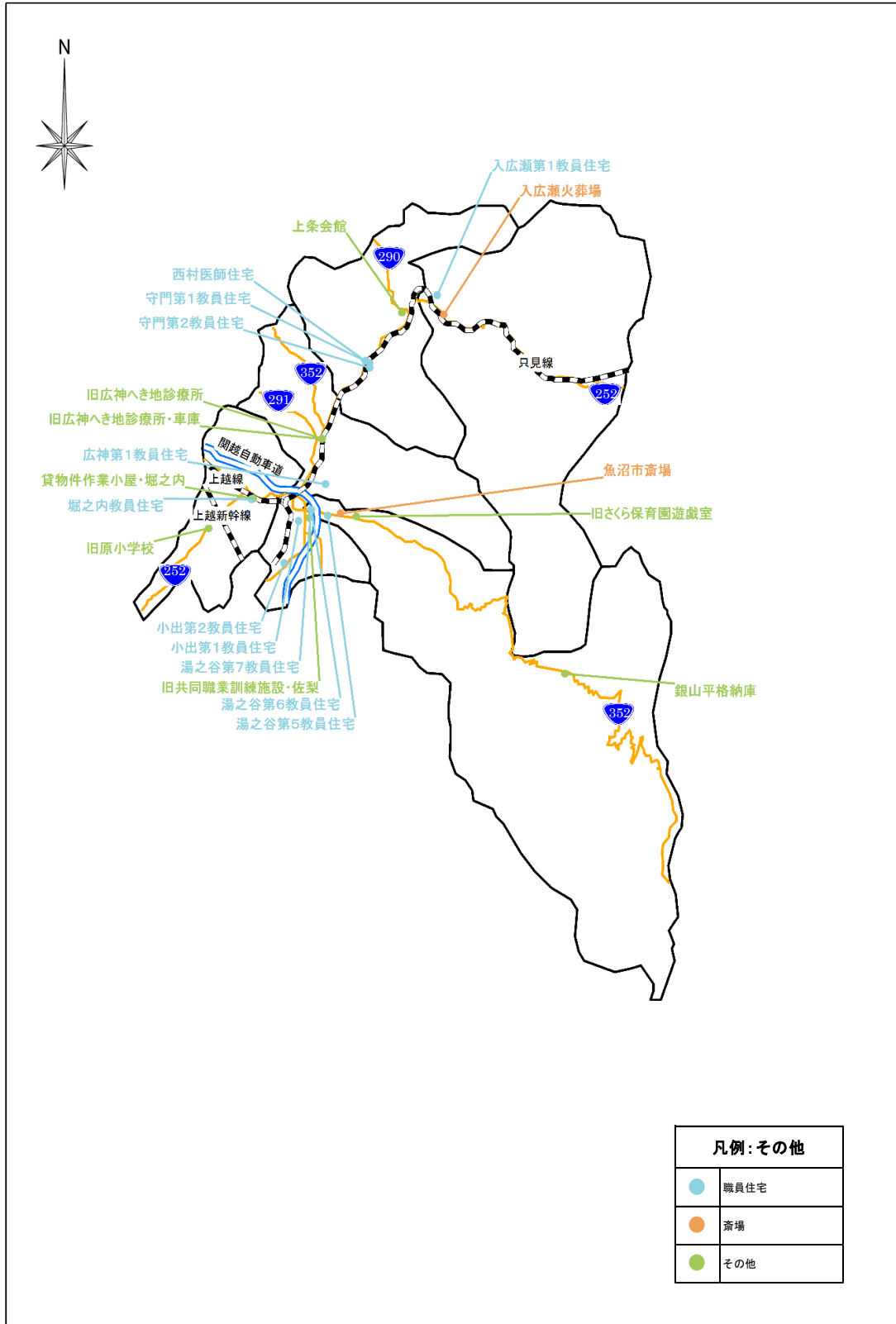
その他の施設は、市内に 9 施設あり、延床面積は合計 8,115 m²です。

表 4-18-2 その他施設の利用度とコストの一覧

施設名称	維持管理費 (千円)	事業運営費 (千円)	コスト (千円)	利用者数 (人)	利用者1人当たりのコスト (円/人)	減価償却費 (千円)	フルコスト (千円)	利用者1人当たりのフルコスト (円/人)	収入 (千円)	ネットコスト収支差額 (千円)	指定管理料 (千円)
職員住宅											
堀之内教員住宅	779	78	857	—	—	4,264	5,122	—	6,052	-930	—
小出第1教員住宅	199	78	277	—	—	1,159	1,437	—	875	561	—
小出第2教員住宅	244	78	322	—	—	0	322	—	1,334	-1,011	—
湯之谷第5教員住宅	0	78	78	—	—	0	78	—	216	-138	—
湯之谷第6教員住宅	98	78	176	—	—	0	176	—	123	52	—
湯之谷第7教員住宅	40	78	118	—	—	0	118	—	0	118	—
広神第1教員住宅	174	78	252	—	—	0	252	—	0	252	—
守門第1教員住宅	230	78	308	—	—	2,170	2,479	—	1,680	799	—
守門第2教員住宅	12	78	90	—	—	1,698	1,788	—	1,248	540	—
西村医師住宅	22	0	22	—	—	0	22	—	0	22	—
入広瀬第1教員住宅	477	78	555	—	—	2,895	3,450	—	1,692	1,758	—
計	2,280	780	3,060	—	—	12,188	15,248	—	13,222	2,026	—
斎場											
魚沼市斎場	2,724	15,948	18,672	566	32,991	916	19,589	34,610	8,763	10,826	11,000
入広瀬火葬場	874	4,110	4,985	104	47,936	597	5,582	53,682	1,545	4,037	0
計	3,599	20,058	23,658	670	—	1,514	25,172	—	10,308	14,864	11,000
その他											
貸物件作業小屋・堀之内	0	0	0	—	—	0	0	—	330	-330	—
旧原小学校	0	0	0	—	—	9,686	9,686	—	0	9,686	—
旧共同職業訓練施設・佐梨	4	0	4	—	—	1,726	1,730	—	4	1,726	—
旧さくら保育園遊戯室	0	0	0	—	—	370	370	—	0	370	—
銀山平格納庫	82	0	82	—	—	732	815	—	0	815	—
鷹ノ巣バイオトイレ格納庫	44	0	44	—	—	631	675	—	0	675	—
旧広神へき地診療所	200	0	200	—	—	1,432	1,632	—	193	1,439	—
旧広神へき地診療所・車庫	0	0	0	—	—	160	160	—	72	88	—
上条会館	3,112	0	3,112	—	—	10,119	13,232	—	0	13,232	—
計	3,445	0	3,445	—	—	24,859	28,304	—	599	27,704	—

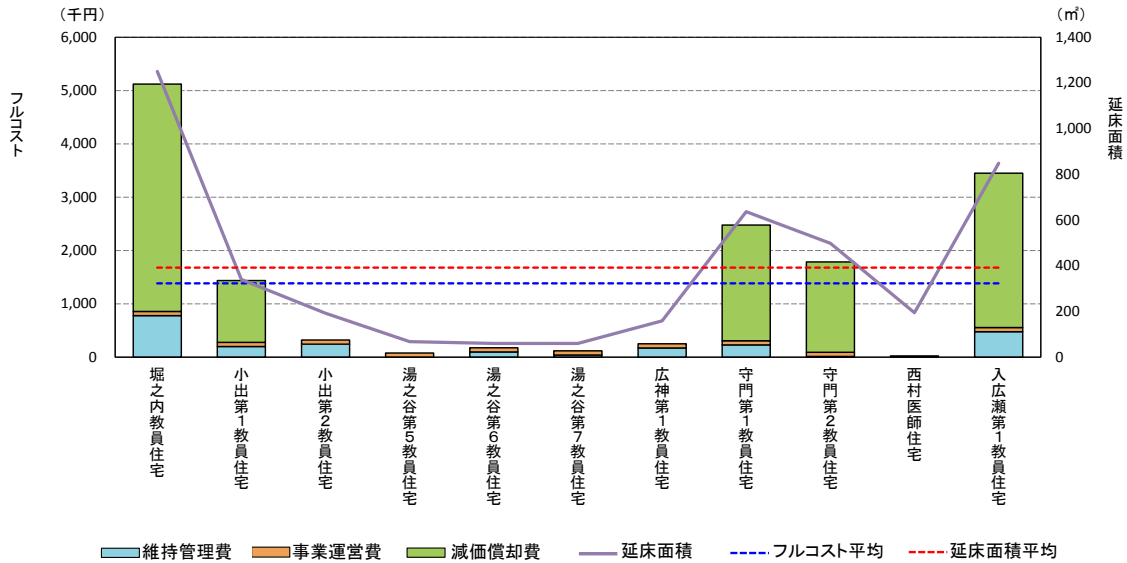
職員住宅の施設にかかるフルコストは 15,248 千円です。
 斎場の市内の延利用者数の合計は 670 人です。これらの施設にかかるフルコストは 25,172 千円です。
 その他の施設にかかるフルコストは 28,304 千円です。

図 4-18-1 その他施設の配置状況



① 〔その他施設〕職員住宅の状況

図 4-18-2 職員住宅のフルコストと延床面積

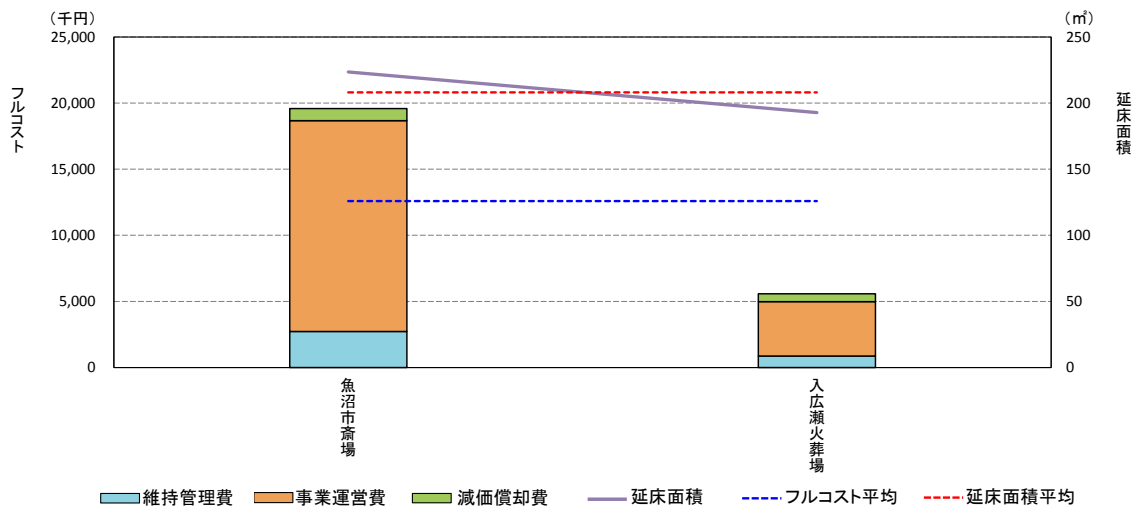


職員住宅のうち、延床面積が最も広い施設は、堀之内教員住宅の1,251㎡であり、2番目は入広瀬第1教員住宅の849㎡です。また、職員住宅のうち、フルコストが最も高い施設は、堀之内教員住宅の5,122千円であり、2番目は入広瀬第1教員住宅の3,450千円です。

入居者がいない職員住宅もあり、今後の施設のあり方について検討が必要です。

② 〔その他施設〕斎場の状況

図 4-18-3 斎場のフルコストと延床面積



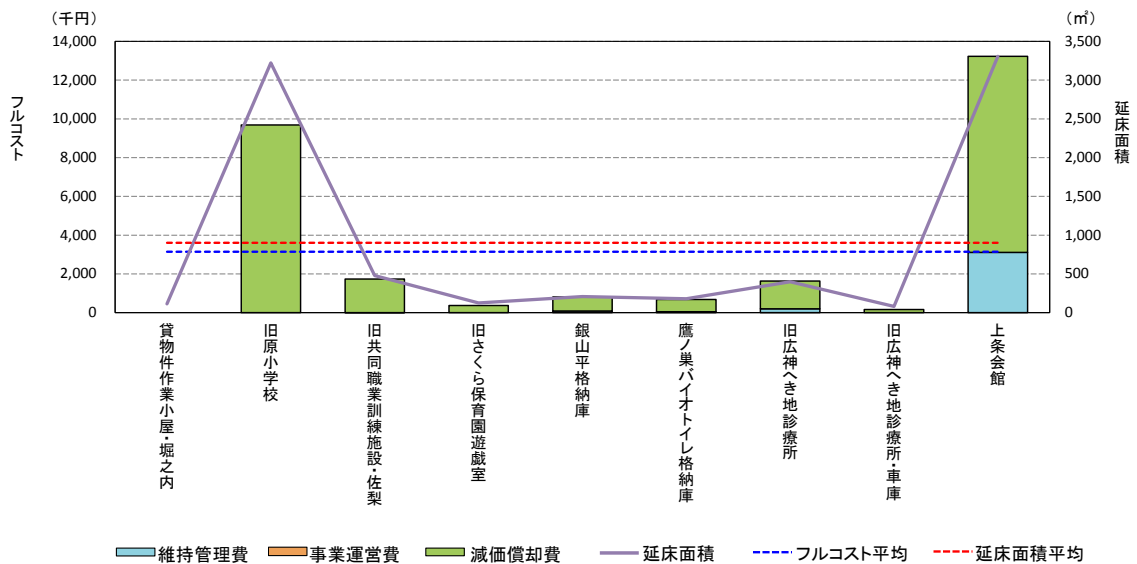
斎場のうち、延床面積が最も広い施設は、魚沼市斎場の 224 m²です。また、斎場のうち、フルコストが最も高い施設は、魚沼市斎場の 19,589 千円です。

魚沼市斎場が昭和 43 年に建設されていますが、新しい施設を建設中であり、完成後魚沼市斎場を移転させる予定です。

入広瀬火葬場は、旧守門村と旧入広瀬村にあった斎場を統合して新設された斎場です。両施設とも指定管理者制度を導入しています。

③ 〔その他施設〕 その他の状況

図 4-18-4 その他のフルコストと延床面積



その他の施設のうち、延床面積が最も広い施設は、上条会館の 3,306 m²であり、2 番目は旧原小学校の 3,223 m²です。また、その他の施設のうち、フルコストが最も高い施設は、上条会館の 13,232 千円であり、2 番目は旧原小学校の 9,686 千円です。